

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成22年度)

平成23年10月

名古屋市市民経済局

目 次

1 . 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2 . 調査の集計結果	6
2 - 1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2 - 2 宿泊客の現状	30
(1) 調査の概要	30
(2) 調査結果	31
2 - 3 宿泊施設調査	50
(1) 調査の概要	50
(2) 宿泊施設の現状	51
(3) 宿泊客数	53
2 - 4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	63
(1) 調査の概要	63
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	64
(3) 名古屋に対する評価	75
(4) 観光振興について	87
3 . 資料編	93
(1) 主要観光施設への入込動向	93
(2) 名古屋のまちの印象	97

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 22 年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成 17 年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成 22 年度については、全国観光統計基準に適合する 85 地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成 22 年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約 5,366 万人であり、平成 21 年度と比較して約 95 万人減少（対前年度比率 98.3%）した。

平成 22 年度は、「名古屋開府 400 年」、「あいちトリエンナーレ 2010」などの関連行・祭事で入込客数増加に影響したと思われる観光地点もあるが、スポーツ・レクリエーション施設（64 万人減）とイベント（38 万人減）の入込客数減少が大きい。主な減少理由として、屋外施設においては夏の記録的な猛暑と秋の厳しい残暑、冬から春にかけては気温の寒暖差が大きかったことなどの天候不順による影響が考えられる。また、東日本大震災の影響により、3 月開催の「旅まつり名古屋」や「名古屋国際女子マラソン」などの行・祭事が中止になったことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 21,075,363	(25) 20,510,622	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666
	産業観光	(6) 1,917,028	(5) 1,615,170	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(17) 12,300,363	(18) 11,231,946	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(14) 7,880,964	(15) 7,772,812	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392
	イベント	(22) 12,996,629	(19) 11,345,439	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221
計		(84) 56,170,347	(82) 52,475,989	(84) 54,604,761	(85) 53,655,002

注：調査した観光地点数は、年度によって変動します。

観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 22 年度の観光入込客実人数は 3,530 万人であり、平成 21 年度と比較して 241 万人増加（対前年度比率 107.3%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
観光入込客延べ人数（人）	56,170,347	52,475,989	54,604,761	53,655,002
平均訪問観光地点数	1.70	1.64	1.66	1.52
観光入込客実人数（万人）	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人	3,530 万人

居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	39.8%	60.2%
観光入込客実人数	3,530 万人	1,405 万人	2,125 万人

宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
延べ宿泊客数（人）	6,384,202	6,238,020	5,786,316	5,960,567
宿泊客実人数（人）	4,845,349	4,719,502	4,604,248	4,608,978
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.32	1.32	1.26	1.29

居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	7.2%	92.8%
宿泊客実人数	461 万人	33 万人	428 万人

居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 22 年度の名古屋市内客は 1,405 万人であり、平成 21 年度と比較して 135 万人増加した。また、名古屋市外客は 2,125 万人であり、前年度と比較して 106 万人増加した。

また、平成 22 年度の宿泊客実人数は 461 万人であり、前年度とほぼ同じであった。一方、平成 22 年度の日帰り客実人数は 3,069 万人であり、前年度と比較して 240 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
観光入込客実人数	計	3,304 万人	3,200 万人	3,289 万人	3,530 万人
	名古屋市内客	1,242 万人	1,142 万人	1,270 万人	1,405 万人
	名古屋市外客	2,062 万人	2,058 万人	2,019 万人	2,125 万人
宿泊客実人数	計	485 万人	472 万人	460 万人	461 万人
	名古屋市内客	38 万人	36 万人	29 万人	33 万人
	名古屋市外客	447 万人	436 万人	431 万人	428 万人
日帰り客実人数	計	2,819 万人	2,728 万人	2,829 万人	3,069 万人
	名古屋市内客	1,204 万人	1,106 万人	1,241 万人	1,372 万人
	名古屋市外客	1,615 万人	1,622 万人	1,588 万人	1,697 万人

(3) 観光消費額

観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 22 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,425 億円であり、平成 21 年度と比較して 70 億円減少している。

宿泊客の総消費額は 910 億円であり、前年度と比較して 80 億円減少している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較すると、名古屋市内は 41 億円名古屋市外は 28 億円ともに増加している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 21 年度	平成 22 年度
宿泊客実人数		460 万人	461 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,241 万人	1,372 万人
	名古屋市外客	1,588 万人	1,697 万人
宿泊客一人あたり消費額		21,518 円	22,016 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,585 円	3,540 円
	名古屋市外客	6,676 円	6,411 円
宿泊客総消費額		990 億円	1,015 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	445 億円	486 億円
	名古屋市外客	1,060 億円	1,088 億円
名古屋市内観光総消費額		2,495 億円	2,589 億円

観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

その他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

平成 21 年度に比べ、交通費は 30 億円、宿泊費は 25 億円、食事費は 23 億円、土産費は 5 億円程度増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 21 年度	平成 22 年度
食事費消費額	774 億円	797 億円
交通費消費額	300 億円	330 億円
土産費消費額	571 億円	576 億円
宿泊費消費額	455 億円	480 億円
その他消費額	395 億円	406 億円
総消費額	2,495 億円	2,589 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内客	名古屋市外客
食事費	7,818 円	1,126 円	1,668 円
交通費	1,977 円	381 円	1,102 円
土産費	4,985 円	544 円	1,594 円
宿泊費	10,418 円		

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		名古屋市内客	名古屋市外客	
食事費総消費額	360 億円	154 億円	283 億円	797 億円
交通費総消費額	91 億円	52 億円	187 億円	330 億円
土産費総消費額	230 億円	75 億円	271 億円	576 億円
宿泊費総消費額	480 億円			480 億円

2 . 調査の集計結果

2 - 1 観光客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

調査日時等

- 観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、名古屋港水族館）調査

- ・秋期調査：平成 22 年 11 月 2 日（火）9：30～16：30 天候：曇
11 月 6 日（土）9：30～16：30 天候：快晴
11 月 7 日（日）9：30～16：30 天候：曇後晴

- ・春期調査：平成 23 年 3 月 2 日（水）9：30～16：30 天候：快晴
3 月 5 日（土）9：30～16：30 天候：快晴
3 月 6 日（日）9：30～16：30 天候：曇後晴

- 名古屋まつり調査：平成 22 年 10 月 17 日（日）10：30～16：00 天候：曇後晴

- イベント会場（ポートメッセなごや）調査

- ・CROSS FIVE Vol.20 クリエーターズマーケット Vol.23：
平成 22 年 12 月 12 日（日）11：00～17：00 天候：晴後曇
- ・NAGOYA オートトレンド 2011：
平成 23 年 3 月 5 日（日）10：00～16：00 天候：快晴

調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10 歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	108	105	104	110	105	107	639
熱田神宮	104	104	103	105	105	104	625
ノリタケの森	105	105	106	107	105	104	632
名古屋港水族館	106	105	105	104	104	105	629
名古屋まつり	620						620
イベント会場	(C R O S S F I V E、クリエイターズ・マーケット) 315						627
(ポートメッセなごや)	(N A G O Y Aオートトレンド) 312						
全 体							3,772

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただきました。

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a . 居住地構成

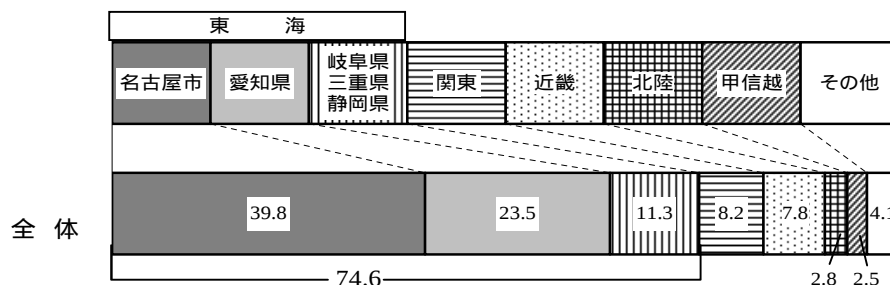
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が 39.8%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（23.5%）で、「岐阜県」（4.9%）「三重県」（3.2%）「静岡県」（3.2%）を合計した「東海」が 74.6%を占め、「関東」（8.2%）「近畿」（7.8%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で 25.4%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」（77.3%）「熱田神宮」（36.3%）の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が高く、また、「名古屋まつり」（97.5%）「イベント会場」（90.7%）の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「東海以外」の地域が 43.4%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

地 域	東 海	名 古 屋 市	愛 知 県 （名古屋市を除く）	岐 阜 県・三 重 県・静 岡 県	関 東	近 畿	北 陸	甲 信 越	そ の 他	合 計
観光地点										
名古屋城	56.6	31.1	16.1	9.4	14.6	12.2	4.5	5.5	6.6	100.0
熱田神宮	64.2	36.3	21.0	6.9	15.7	8.6	2.2	1.8	7.5	100.0
ノリタケの森	58.8	35.8	15.1	7.9	13.1	12.5	5.2	3.3	7.1	100.0
名古屋港水族館	80.6	32.4	32.0	16.2	2.4	7.6	4.0	3.3	2.1	100.0
名古屋まつり	97.5	77.3	16.8	3.4	1.1	0.5	0.3	0.1	0.5	100.0
イベント会場	90.7	26.3	40.3	24.1	2.1	5.1	0.6	1.0	0.5	100.0
全 体	74.6	39.8	23.5	11.3	8.2	7.8	2.8	2.5	4.1	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

東 海 - 名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸 - 福井県・石川県・富山県

甲信越 - 新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「30～39歳」(20.5%)、「20～29歳」(20.4%)が共に約2割と多く、「60～69歳」(16.4%)、「40～49歳」(15.6%)、「50～59歳」(13.8%)が13～16%で続き、以下「70歳以上」(8.5%)、「10～19歳」(4.8%)となっている。

性別は、男性が45.8%、女性が54.2%と、女性の方が男性より若干多い。男性は「20～29歳」、女性は「30～39歳」が最も多く、「60～69歳」も比較的多くなっている。

観光地点別にみると、「29歳以下」の若い世代の割合は「イベント会場」(41.0%)、「名古屋港水族館」(43.2%)で4割以上と高くなっている。一方、「60歳以上」の割合は「名古屋まつり」(40.4%)、「名古屋城」(34.9%)、「ノリタケの森」(30.5%)で高くなっている。

性別の割合は、全体では男性(45.8%)、女性(54.2%)となっており、女性の方が若干多くなっている。

「名古屋港水族館」では男女共にほぼ半数であり。「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋まつり」では若干女性が多く、「ノリタケの森」ではかなり女性の方が多くなっている。

一方、「イベント会場」では男性の方が多くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	年 齢	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
	観光地点								
全 体	名古屋城	5.0	22.5	13.6	12.2	11.8	20.0	14.9	100.0
	熱田神宮	1.3	15.8	23.9	16.3	16.8	16.0	9.9	100.0
	ノリタケの森	1.4	10.8	19.5	17.2	20.6	20.2	10.3	100.0
	名古屋港水族館	13.8	29.4	26.1	11.1	8.1	8.6	2.9	100.0
	名古屋まつり	2.4	7.8	15.2	17.3	16.9	28.5	11.9	100.0
	イベント会場	4.8	36.2	24.9	19.6	8.6	4.8	1.1	100.0
	合 計	4.8	20.4	20.5	15.6	13.8	16.4	8.5	100.0
男 性	名古屋城	4.7	23.9	10.7	11.4	11.1	18.9	19.3	43.8
	熱田神宮	1.0	18.3	27.3	16.0	14.3	14.7	8.4	48.0
	ノリタケの森	0.4	14.9	19.3	18.0	16.7	19.3	11.4	36.1
	名古屋港水族館	12.8	29.9	25.5	11.1	7.0	10.7	3.0	47.4
	名古屋まつり	3.3	6.6	11.8	14.7	15.1	32.0	16.5	43.9
	イベント会場	5.4	35.1	24.5	22.2	9.1	2.6	1.1	56.0
	合 計	4.8	22.3	20.3	15.7	11.9	15.6	9.4	45.8
女 性	名古屋城	5.3	21.4	15.9	12.8	12.3	20.9	11.4	56.2
	熱田神宮	1.6	13.5	20.6	16.6	19.1	17.2	11.4	52.0
	ノリタケの森	2.0	8.4	19.5	16.8	22.8	20.8	9.7	63.9
	名古屋港水族館	14.8	29.0	26.6	11.2	9.1	6.6	2.7	52.6
	名古屋まつり	1.7	8.6	17.8	19.3	18.4	25.9	8.3	56.1
	イベント会場	4.0	37.7	25.3	16.3	8.0	7.6	1.1	44.0
	合 計	4.8	18.9	20.7	15.5	15.4	17.0	7.7	54.2

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」(48.2%)が半数近くを占め、次いで「イベント」(34.5%)が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて88.7%を占めている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別では、「名古屋港水族館」(94.4%)、「名古屋城」(70.3%)、「ノリタケの森」(63.4%)、「熱田神宮」(57.1%)の入込客では「観光施設の見学」目的が多く、「イベント会場」(98.6%)と「名古屋まつり」(90.6%)の入込客では大半が「イベント」目的である。また、「ノリタケの森」では「ショッピング」(7.3%)や「飲食」(3.6%)目的の割合が相対的にやや高く、「熱田神宮」では「七五三」を主とした「その他」(27.8%)目的の割合も高い。

(%)

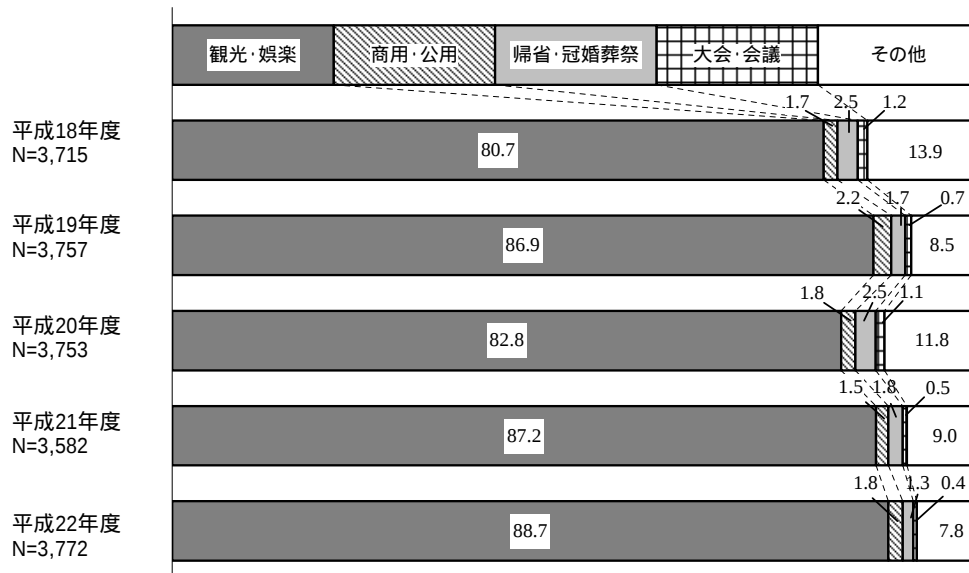


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的 観光地点	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
名古屋城	70.3	0.8	3.0	12.5	1.7	4.2	1.7	2.6	0.2	3.0	100.0
熱田神宮	57.1	1.6	1.5	1.8	0.8	0.8	5.4	1.8	1.4	27.8	100.0
ノリタケの森	63.4	7.3	1.3	2.7	3.6	3.2	3.0	2.4	0.2	12.9	100.0
名古屋港水族館	94.4	0.6	0.2	2.1	0.3	0.6	0.3	0.2	0.5	0.8	100.0
名古屋まつり	2.6	1.5	0.3	90.6	0.0	1.8	0.5	0.5	0.3	1.9	100.0
イベント会場	0.0	0.3	0.3	98.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	100.0
全 体	48.2	2.0	1.1	34.5	1.1	1.8	1.8	1.3	0.4	7.8	100.0

ｂ．名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 88.7％）の目的地として名古屋を選んだきっかけは、「前に来たことがあり良かったから」が 38.1％と最も多い。以下、「友人・知人に薦められたから」（22.2％）、「雑誌・新聞をみて」（13.0％）、「インターネットホームページの情報から」（9.3％）、「テレビやラジオ番組の情報から」（9.2％）、「特になし」（8.0％）となっている。

観光地点別にみると、「前に来たことがあり良かったから」は「名古屋港水族館」や「名古屋まつり」では半数前後と多く、「ノリタケの森」と「名古屋城」では「友人・知人に薦められたから」が比較的高くなっている。また、「名古屋まつり」と「名古屋城」では「雑誌・新聞をみて」や「テレビやラジオ番組の情報から」などが比較的高く、「イベント会場」では「友人・知人に薦められたから」（40.0％）が最も高くなっている。

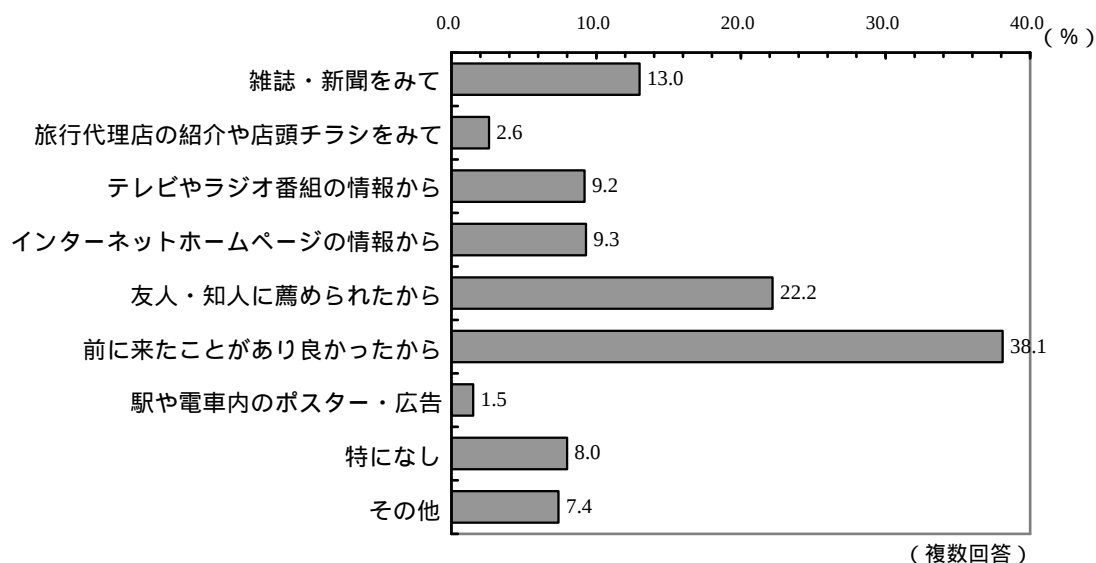


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	きっかけ	雑誌・新聞をみて	旅行代理店の紹介や店頭 チラシをみて	情報から	テレビやラジオ番組の 情報から	インターネットホーム ページの情報から	友人・知人に薦められた から	前に来たことがあり 良かったから	駅や電車内のポスター・ 広告	特になし	その他	合 計
名古屋城		15.1	3.4	21.0	9.0	22.2	26.7	3.2	11.5	8.0	120.1	
熱田神宮		6.5	2.0	4.5	3.8	14.6	27.2	0.5	23.4	21.9	104.4	
ノリタケの森		13.6	8.7	2.7	9.5	24.3	31.8	0.4	5.8	6.6	103.4	
名古屋港水族館		7.9	0.5	4.0	6.3	15.5	64.1	0.3	7.3	3.7	109.6	
名古屋まつり		24.7	0.7	14.8	4.8	14.0	49.8	3.2	4.0	4.5	120.5	
イベント会場		8.7	1.3	6.3	20.1	40.0	24.1	1.1	1.4	5.0	108.0	
全 体		13.0	2.6	9.2	9.3	22.2	38.1	1.5	8.0	7.4	111.3	

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況をみると、「名古屋まつり」や「ノリタケの森」、「熱田神宮」の入込客は「名古屋城」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」にも訪れる人が多い。観光地点ごとに他の観光施設への訪問状況をみると、上記のほか「名古屋城」の入込客は「徳川園」、「テレビ塔」、「徳川美術館」にも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.56施設である。「熱田神宮」の入込客では「名古屋城」以外に「徳川美術館」に訪れる人が多く、訪問施設数は1.66と「名古屋まつり」に次いで多い。「ノリタケの森」の入込客は「産業技術記念館」、「徳川美術館」、「徳川園」、「熱田神宮」、「テレビ塔」などにも訪れる人が多く、一人あたりの訪問施設数は1.61施設と3番目に多い。「名古屋港水族館」の入込客では「名古屋港」、「名古屋城」、「シートレインランド」を訪れる人が多く、訪問施設数は1.53施設となった。「名古屋まつり」の入込客では「名古屋城」が最も多いが「ランの館」をはじめ当日無料開放される施設にも訪れる人も多く、一人あたりの訪問施設数は今回最も多い1.67施設である。「イベント会場」の入込客では一人あたりの訪問施設数は1.11施設となっており、他の観光施設へも立ち寄り入込客は少ない。全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館
名古屋城		3.3	1.6	5.3	7.7	9.4	1.1	2.3	0.5	5.6	0.6	1.3
熱田神宮	15.8	1.1	1.8	4.5	2.7		1.8	1.6	0.3	2.6	0.8	0.2
ノリタケの森	15.5	7.4		5.9	4.6	4.1	0.2	1.1	0.0	4.1	0.6	0.2
名古屋港水族館	5.2	0.5	1.3	1.3	0.5	3.2	0.5	0.6	0.0	1.3	0.5	0.0
名古屋まつり	35.3	0.5	0.3	0.6	1.8	1.0	0.6	1.3	0.3	2.7	0.6	0.2
イベント会場	0.5	0.0	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2

訪問施設 観光地点	名古屋ポストン美術館	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	平均訪問施設数
名古屋城	0.3	0.5	0.6	1.1	0.6	3.0	1.6	0.5	0.3	1.4	7.7	1.56
熱田神宮	0.2	0.0	0.3	0.3	0.8	3.0	1.0	0.3	0.0	1.4	25.3	1.66
ノリタケの森	0.9	0.0	0.2	1.7	0.6	2.2	0.9	0.0	0.3	1.7	8.9	1.61
名古屋港水族館	0.2	0.5	0.5	0.0	0.5		22.1	5.1	0.0	2.1	7.2	1.53
名古屋まつり	0.2	0.8	0.3	0.2	5.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	14.2	1.67
イベント会場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.0	0.2	0.0	1.3	6.7	1.11

（複数回答）

一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.52 = \{ 3,772 (a) + 1,974 (b) \} \div 3,772 (a)$$

d．旅行形態

全体では、「友人・知人」が 30.7%で、「幼児・小学生連れ」(18.8%) や「夫婦」(15.0%) など「家族連れ」が合計で 46.6%、「ひとり」が 18.9%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「ノリタケの森」、「名古屋港水族館」、「イベント会場」の入込客は「友人・知人」の割合が最も多く、次いで「名古屋城」は「夫婦」、「ノリタケの森」と「イベント会場」は「ひとり」、「名古屋港水族館」は「幼児・小学生連れ」となっている。「熱田神宮」、「名古屋まつり」の入込客は「ひとり」が最も多く、次いで「熱田神宮」は「友人・知人」、「名古屋まつり」は「幼児・小学生連れ」となっている。全体で最も多い「友人・知人」以外は比較的分散している。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		12.1	44.0	6.4	18.0	14.5	4.1	0.3	0.6	100.0
熱田神宮		32.2	23.0	17.0	15.4	7.3	3.7	0.0	1.4	100.0
ノリタケの森		20.7	23.7	14.9	13.8	17.2	9.4	0.0	0.3	100.0
名古屋港水族館		3.0	35.6	35.0	11.9	11.8	2.1	0.0	0.6	100.0
名古屋まつり		27.3	15.0	21.9	20.3	15.3	0.0	0.0	0.2	100.0
イベント会場		18.3	42.7	17.7	10.4	10.7	0.2	0.0	0.0	100.0
全 体		18.9	30.7	18.8	15.0	12.8	3.2	0.1	0.5	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では 4.5%である。

観光地点別にみると、「パッケージ旅行」の割合は「ノリタケの森」の入込客では 13.3%と調査地点の中で最も多く、「名古屋城」(6.1%) 「熱田神宮」(4.8%) 「名古屋港水族館」(2.5%) となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほぼ全員が「パッケージ旅行ではない」としている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「甲信越」(28.4%) 「北陸」(19.6%) 「その他」(17.0%) からの入込客が多く、「関東」 「近畿」でも 1 割前後が利用している。

宿泊客だけでなく、日帰り客でも「パッケージ旅行」を 2.9%が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

旅行形態		パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
観光地点・地域・宿泊				
観 光 地 点	名古屋城	6.1	93.9	100.0
	熱田神宮	4.8	95.2	100.0
	ノリタケの森	13.3	86.7	100.0
	名古屋港水族館	2.5	97.5	100.0
	名古屋まつり	0.2	99.8	100.0
	イベント会場	0.0	100.0	100.0
地 域	東 海	1.1	98.9	100.0
	名古屋市	0.0	100.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	2.5	97.5	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	2.3	97.7	100.0
	関 東	11.7	88.3	100.0
	近 畿	9.5	90.5	100.0
	北 陸	19.6	80.4	100.0
	甲信越	28.4	71.6	100.0
	その他	17.0	83.0	100.0
	宿 泊			
宿 泊	宿泊客	12.5	87.5	100.0
	日帰り客	2.9	97.1	100.0
全 体		4.5	95.5	100.0

旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000 円未満」が 51.0%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」(20.5%)、「10,000～30,000 円未満」(16.8%)となっている。旅行予算の平均額は 12,379 円である。昨年度(11,852 円)と比較すると 527 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「10,000 円以上」の割合は合わせて「名古屋城」(45.6%)や「ノリタケの森」(43.1%)の入込客では 4 割以上と多く、平均額は 19,000 円程度となっている。一方、「名古屋まつり」の入込客では「5,000 円未満」が 8 割を占める。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000 円未満」が最も多く、かつ「30,000 円以上」が半数みられ、平均額は 38,026 円と高額である。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000 円未満」が最も多いものの半数未満であり、平均額は 10,345 円である。一方、「名古屋市内」では「5,000 円未満」が 8 割以上を占め、平均額は 4,128 円となっている。

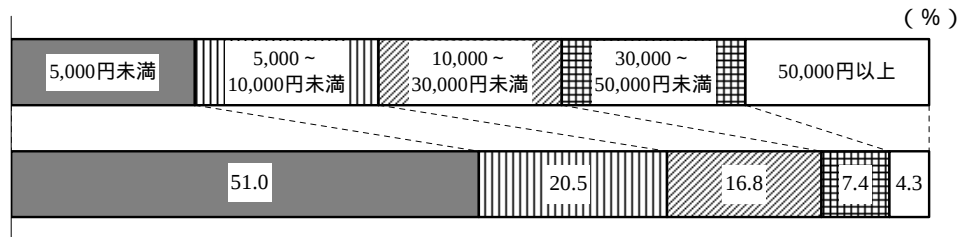


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	37.8	16.6	26.3	10.2	9.1	100.0	18,350
	熱田神宮	46.6	14.7	20.0	13.1	5.6	100.0	15,716
	ノリタケの森	39.1	17.8	19.4	14.5	9.2	100.0	18,895
	名古屋港水族館	55.5	25.6	13.5	4.0	1.4	100.0	8,672
	名古屋まつり	83.2	11.8	3.7	1.0	0.3	100.0	4,335
	イベント会場	44.2	36.5	17.5	1.6	0.2	100.0	8,110
地域×宿泊	名古屋市内	81.2	15.1	3.0	0.4	0.3	100.0	4,128
	宿泊客	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	11,250
	日帰り客	81.2	15.2	2.9	0.4	0.3	100.0	4,119
	名古屋市外	31.0	24.1	25.9	12.0	7.0	100.0	17,817
	宿泊客	1.1	3.1	39.8	34.8	21.2	100.0	38,026
	日帰り客	42.1	31.8	20.8	3.6	1.7	100.0	10,345
全体		51.0	20.5	16.8	7.4	4.3	100.0	12,379

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b．名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「5,000 円未満」が 46.5%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」が 26.3%、「10,000～20,000 円未満」が 14.7%、「20,000～30,000 円未満」が 6.6%、「30,000 円以上」が 5.9%となっている。名古屋市内消費額の平均額は 7,802 円である。昨年度（7,827 円）と比較すると 25 円の減額となっている。

観光地点別にみると、平均額は、「名古屋城」の入込客では 11,229 円、「ノリタケの森」の入込客では 9,970 円と比較的高額である。一方、「名古屋まつり」（3,484 円）の入込客では相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では過半数が「20,000 円以上」で、平均額は 22,061 円と高額となっている。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000 未満」が最も多く、平均額は 6,411 円である。一方、「名古屋市内」では 7 割が「5,000 円未満」である。

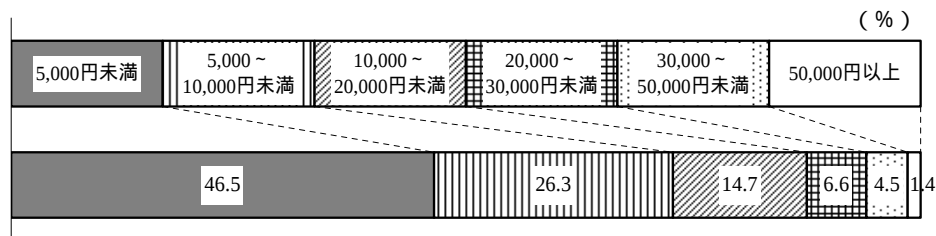


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

（単位：％）

市内消費額		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	38.2	19.5	20.4	10.8	8.2	2.9	100.0	11,229
	熱田神宮	45.6	23.2	15.5	9.0	5.1	1.6	100.0	8,586
	ノリタケの森	42.1	21.0	17.2	7.5	9.4	2.8	100.0	9,970
	名古屋港水族館	34.8	42.3	13.9	5.0	3.2	0.8	100.0	7,150
	名古屋まつり	77.7	15.6	4.2	1.8	0.7	0.0	100.0	3,484
	イベント会場	41.2	35.8	17.0	5.2	0.5	0.3	100.0	6,262
地域×宿泊	名古屋市内	72.4	20.3	6.3	0.7	0.1	0.2	100.0	3,547
	宿泊客	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	8,500
	日帰り客	72.4	20.4	6.2	0.7	0.1	0.2	100.0	3,540
	名古屋市外	29.4	30.2	20.3	10.4	7.5	2.2	100.0	10,617
	宿泊客	2.8	6.4	31.4	27.5	25.0	6.9	100.0	22,061
	日帰り客	39.1	38.9	16.3	4.2	1.0	0.5	100.0	6,411
全 体		46.5	26.3	14.7	6.6	4.5	1.4	100.0	7,802

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」が 50.9%と最も多く、次いで、「交通費はかからない」が 21.7%、「1,000～3,000 円未満」が 20.0%となっている。市内交通費の平均額は 946 円であり、昨年度（906 円）と比較すると 40 円の増額となっている。

観光地点別にみると、全地点とも「1,000 円未満」が最も多くなっている。「名古屋城」の入込客では「3,000 円以上」の割合が 13.3%あり、平均額は 1,493 円と最も高額である。また、「イベント会場」では「1,000～3,000 円未満」の割合が相対的に多く、平均額は 1,326 円である。一方、「名古屋まつり」では「交通費はかからない」（40.0%）の割合が比較的多く、平均額は 468 円と低額になっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000 円未満」の割合が最も多く、平均額も 1,984 円となっている。一方、「名古屋市内」では「交通費はかからない」（40.2%）の割合が比較的多く、平均額は 381 円である。

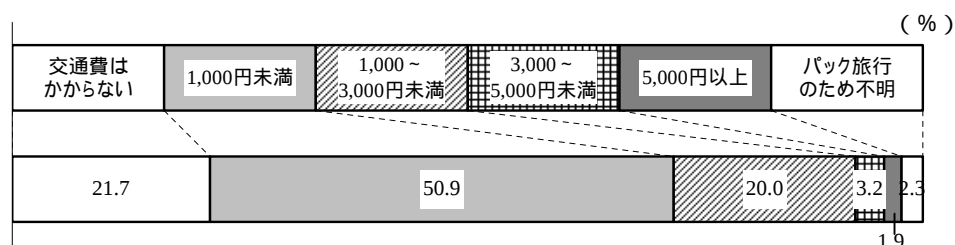


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内交通費		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	バック旅行のため不明	合 計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	18.2	39.7	24.3	7.4	5.9	4.5	100.0	1,493
	熱田神宮	28.5	45.2	19.9	2.9	0.6	2.9	100.0	810
	ノリタケの森	29.3	50.5	12.6	2.2	1.1	4.3	100.0	707
	名古屋港水族館	11.8	62.2	21.1	2.5	0.2	2.2	100.0	865
	名古屋まつり	40.0	50.6	8.6	0.5	0.3	0.0	100.0	468
	イベント会場	2.7	57.5	33.2	3.4	3.2	0.0	100.0	1,326
地域×宿泊	名古屋市内	40.2	54.5	5.2	0.1	0.0	0.0	100.0	381
	宿泊客	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0
	日帰り客	40.1	54.6	5.2	0.1	0.0	0.0	100.0	381
	名古屋市外	9.4	48.5	29.8	5.2	3.2	3.9	100.0	1,335
	宿泊客	8.0	31.0	37.0	11.1	7.0	5.9	100.0	1,984
	日帰り客	10.0	55.0	27.1	3.0	1.8	3.1	100.0	1,102
全 体		21.7	50.9	20.0	3.2	1.9	2.3	100.0	946

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{ 円}) \times (\text{「1,000 円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{ 円}) \times (\text{「1,000～3,000 円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{ 円}) \times (\text{「3,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では 47.0% とほぼ半数あり、支出額としては、「2,000 円未満」(21.8%) や「2,000～5,000 円未満」(16.9%) の割合が多い。土産代の平均額は 1,729 円であり、昨年度(1,785 円)と比較すると 56 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」(64.2%) と「ノリタケの森」(61.6%) の入込客では特に多く、「熱田神宮」(49.6%) や「名古屋港水族館」(42.6%) 及び「イベント会場」(40.8%) は 4 割～5 割を占める。一方、「名古屋まつり」の入込客では購入する割合は約 2 割と低く、平均額は 486 円となった。

地域・宿泊別にみると、「土産を購入する」割合、金額とも、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が、「名古屋市外」からの入込客では「日帰り客」より「宿泊客」の方がかなり多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「購入する」割合は 9 割弱を占め、平均額は 5,001 円と高額である。

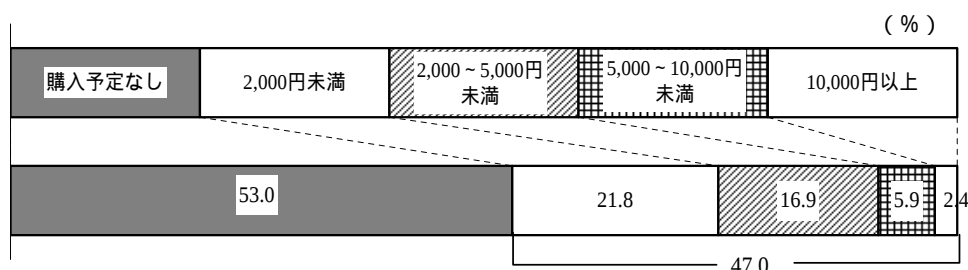


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

土産代		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合計	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	35.8	26.3	23.5	9.4	5.0	100.0	2,795
	熱田神宮	50.4	21.7	21.2	5.4	1.3	100.0	1,624
	ノリタケの森	38.4	21.7	24.4	11.0	4.5	100.0	2,783
	名古屋港水族館	57.4	24.5	13.5	3.8	0.8	100.0	1,163
	名古屋まつり	77.6	16.1	4.7	1.3	0.3	100.0	486
	イベント会場	59.2	20.0	13.9	4.7	2.2	100.0	1,483
地域×宿泊	名古屋市	73.9	18.6	5.8	1.5	0.2	100.0	544
	宿泊客	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0
	日帰り客	73.9	18.6	5.8	1.5	0.2	100.0	544
	名古屋市外	39.2	23.8	24.3	8.9	3.8	100.0	2,513
	宿泊客	10.8	19.1	40.3	20.5	9.3	100.0	5,001
	日帰り客	49.6	25.6	18.4	4.6	1.8	100.0	1,594
全体		53.0	21.8	16.9	5.9	2.4	100.0	1,729

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～ 5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 ～ 10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(49.0%) が最も多く、次いで「2,000～5,000 円未満」が 21.3%、「ジュース程度」が 19.5%となっている。なお、食事代の平均額は 2,454 円であり、昨年度(2,429 円)と比較すると 25 円の増額となっている。

観光地点別の入込客数を見ると、全て「2,000 円未満」の割合が最も多くなっている。

また、次いで多いのは、「名古屋城」、「熱田神宮」、「水族館」の入込客数は「2,000～5,000 円未満」となり、「ノリタケの森」、「名古屋まつり」、「イベント」の入込客数は「ジュース程度」となった。

地域・宿泊別にみると、「宿泊客」では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000 円以上」も 5 割以上と多く、平均額は 7,838 円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000 円未満」の割合が約 6 割となっている。

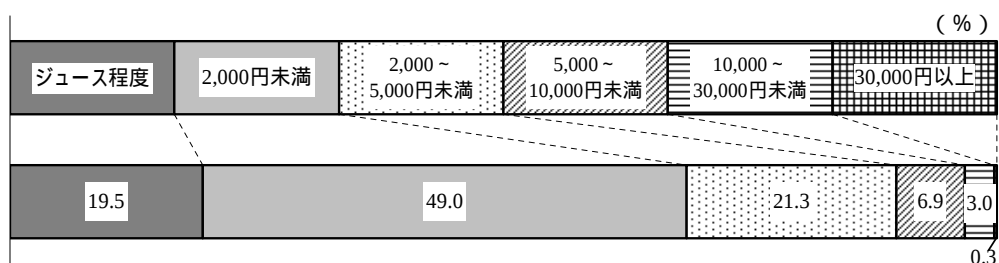


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合計	平均額（円）
地点・地域×宿泊									
観光地点	名古屋城	12.7	38.4	33.0	9.5	5.3	1.1	100.0	3,757
	熱田神宮	20.5	36.0	24.3	14.1	4.8	0.3	100.0	3,355
	ノリタケの森	24.9	35.7	24.3	10.8	4.1	0.2	100.0	2,906
	名古屋港水族館	15.3	53.1	23.8	4.8	3.0	0.0	100.0	2,328
	名古屋まつり	25.8	60.0	12.6	1.4	0.2	0.0	100.0	1,181
	イベント会場	18.3	71.3	9.3	0.8	0.3	0.0	100.0	1,160
地域×宿泊	名古屋市	28.6	57.3	13.1	0.9	0.1	0.0	100.0	1,127
	宿泊客	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1,750
	日帰り客	28.6	57.4	13.0	0.9	0.1	0.0	100.0	1,126
	名古屋市外	13.6	43.6	26.7	10.9	4.8	0.4	100.0	3,331
	宿泊客	3.9	11.1	32.5	33.9	17.0	1.6	100.0	7,838
	日帰り客	17.1	55.6	24.5	2.4	0.4	0.0	100.0	1,668
全 体		19.5	49.0	21.3	6.9	3.0	0.3	100.0	2,454

注：平均額の計算式：{(0 円)×(「ジュース程度」の回答者数)+(1,000 円)×(「2,000 円未満」の回答者数)+(3,500 円)×(「2,000～5,000 円未満」の回答者数)+(7,500 円)×(「5,000～10,000 円未満」の回答者数)+(20,000 円)×(「10,000～30,000 円未満」の回答者数)+(40,000 円)×(「30,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 16.2%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000 円未満」(8.8%)の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は10,418円であり、昨年度(9,883円)と比較すると535円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は「名古屋城」の入込客で29.1%と最も多く、次いで「ノリタケの森」で27.1%、「熱田神宮」(24.0%)、「名古屋港水族館」(11.6%)となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客ではほとんどが「宿泊しない」としている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000 円未満」の割合は54.2%と多い。また、「友人・知人の家に宿泊」が14.1%みられる。

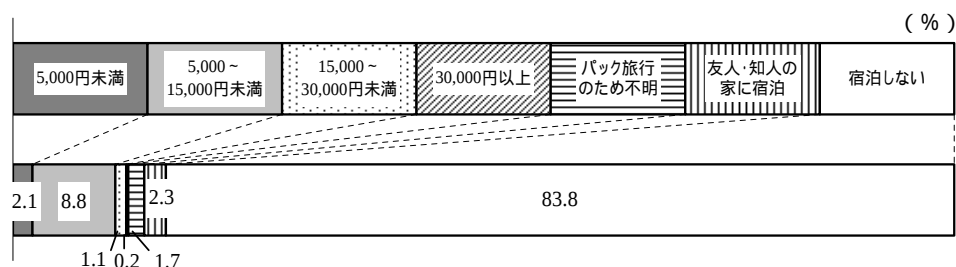


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	パック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない	合計	平均額 (円)
地点・地域×宿泊										
観光地点	名古屋城	3.4	16.4	3.6	0.5	2.7	2.5	70.9	100.0	11,389
	熱田神宮	3.0	15.4	0.3	0.0	2.4	2.9	76.0	100.0	8,996
	ノリタケの森	2.7	11.9	2.2	0.6	4.8	4.9	72.9	100.0	11,523
	名古屋港水族館	2.7	6.7	0.3	0.1	0.5	1.3	88.4	100.0	8,831
	名古屋まつり	0.2	0.8	0.2	0.0	0.0	1.4	97.4	100.0	10,714
	イベント会場	0.3	1.5	0.2	0.0	0.0	0.6	97.4	100.0	9,792
地域×宿泊	名古屋市内	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	99.9	100.0	10,000
	宿泊客	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	10,000
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	-
	名古屋市外	3.3	14.6	1.9	0.4	2.9	3.8	73.1	100.0	10,418
	宿泊客	12.8	54.2	7.0	1.3	10.6	14.1	0.0	100.0	10,418
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	-
全 体		2.1	8.8	1.1	0.2	1.7	2.3	83.8	100.0	10,418

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数}) - (\text{「友人・知人の家に宿泊」の回答者数}) - (\text{「宿泊しない」の回答者数})\}$

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の 60.2％）の来名回数としては、「10 回以上」が 58.0％と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は 13.5％である。

「10 回以上」の割合は、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客や「愛知県（名古屋市を除く）」居住者では 8 割以上を占める。一方、「今回はじめて」訪れた割合は、「名古屋城」（24.1％）の入込客や「東海以外」（29.2％）からの入込客では比較的多い。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

回 数		はじめて	2 回目	3 回目	4 ～ 9 回目	10回以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	24.1	16.1	13.2	11.4	35.2	100.0
	熱田神宮	16.6	10.8	9.0	12.3	51.3	100.0
	ノリタケの森	19.2	11.1	11.3	16.0	42.4	100.0
	名古屋港水族館	9.2	7.5	6.6	14.1	62.6	100.0
	名古屋まつり	3.5	2.1	4.3	5.7	84.4	100.0
	イベント会場	3.0	0.7	3.2	6.3	86.8	100.0
地 域	東 海	2.1	1.7	3.0	6.4	86.8	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.8	0.7	1.3	3.6	93.6	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.9	3.8	6.3	12.2	72.8	100.0
	東海以外	29.2	18.3	15.6	18.5	18.4	100.0
全 体		13.5	8.7	8.3	11.5	58.0	100.0

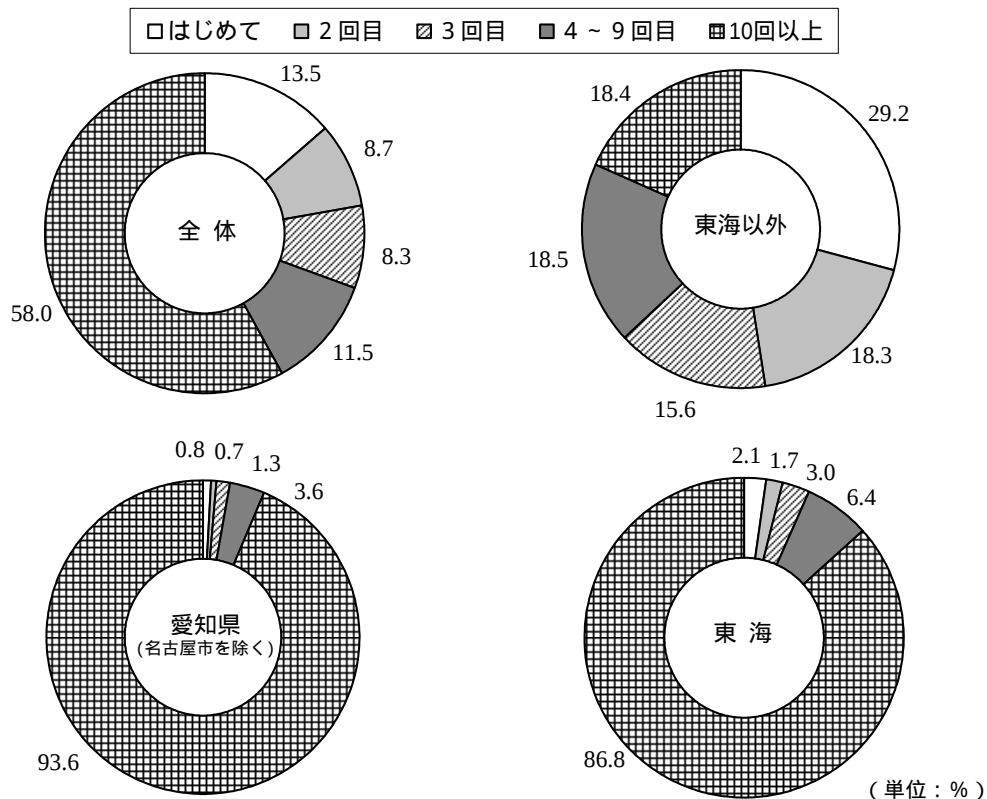


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

交通機関

名古屋市外居住者の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が52.1%と半数みられ、次いで「ＪＲ」(22.0%)、「名鉄電車」(10.9%)、「観光バス」(6.8%)となっている。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」の入込客では「ＪＲ」の割合が最も高く、また、「名古屋まつり」では「名鉄電車」が最も高くなっているが、そのほかでは「自家用車」の割合が最も高く、特に「イベント会場」の入込客では7割を超えている。また、「ノリタケの森」の入込客では「観光バス」の割合が、「名古屋まつり」の入込客では「ＪＲ」の割合が相対的に多くなっている。

居住地別にみると、各地域とも「自家用車」が最も多く、特に「東海」内の「岐阜県」、「三重県」、「静岡県」では6割を超えている。また、「愛知県(名古屋市を除く)」では「名鉄電車」、「岐阜県」と「静岡県」では「ＪＲ」、「三重県」では「近鉄電車」が多い。一方、「東海以外」からの入込客では「ＪＲ」も34.0%と多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」の割合が、「団体旅行」では「観光バス」の割合が、「ひとり」などでは「ＪＲ」の割合が最も多くなっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関(地点・地域・旅行形態別)

(単位: %)

交通機関 地点・地域・旅行形態		Ｊ	名	近	自	航	路	観	地	そ	合
		Ｒ	鉄	鉄	家	空	線	光	下	の	計
観 光 地 点	名古屋城	21.4	10.7	1.8	52.7	2.0	0.9	8.9	0.0	3.2	101.6
	熱田神宮	31.2	10.8	2.3	40.7	4.8	2.5	5.3	0.0	4.0	101.6
	ノリタケの森	31.8	6.2	4.4	27.8	6.7	1.2	19.5	0.0	3.7	101.3
	名古屋港水族館	14.1	10.8	1.6	67.5	0.2	1.6	3.5	0.0	0.7	100.0
	名古屋まつり	24.8	36.2	7.1	27.7	0.0	2.1	0.0	0.0	5.7	103.6
	イベント会場	12.3	7.6	1.9	76.0	0.0	0.4	0.2	0.0	2.8	101.2
地 域	東 海	13.2	18.4	3.2	60.9	0.0	0.7	2.7	0.0	2.3	101.4
	愛知県(名古屋市を除く)	11.5	23.9	1.0	58.3	0.0	0.9	2.8	0.0	3.0	101.4
	岐阜県	16.8	15.7	0.5	64.9	0.0	0.0	2.2	0.0	1.1	101.2
	三重県	4.2	0.8	26.7	69.2	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	101.7
	静岡県	28.7	0.0	0.0	65.6	0.0	0.0	4.9	0.0	0.8	100.0
	東海以外	34.0	0.5	2.0	40.1	5.8	2.3	12.5	0.0	4.1	101.3
旅 行 形 態	ひとり	42.8	20.0	3.4	24.8	5.6	1.7	0.3	0.0	5.1	103.7
	友人・知人	22.3	13.3	3.3	50.4	1.3	2.5	4.1	0.0	3.9	101.1
	家族	11.4	5.8	2.0	79.8	0.3	0.3	0.3	0.0	1.2	101.1
	夫婦	16.2	7.6	1.9	67.2	3.5	0.3	2.2	0.0	1.6	100.5
	その他	20.6	8.0	2.8	60.1	3.4	0.9	3.1	0.0	2.1	101.0
	団体旅行	8.2	0.0	0.0	4.1	1.6	0.0	83.6	0.0	2.5	100.0
	その他	14.4	0.0	7.1	57.2	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	100.0
全 体		22.0	10.9	2.7	52.1	2.5	1.4	6.8	0.0	3.0	101.4

(複数回答)

名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では 19.1% である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(5.2%) が最も多く、以下、「伊勢・志摩」(2.9%) 「明治村・犬山」(2.7%) 「知多・常滑・セントレア」(2.5%) 「豊田・岡崎・足助」(2.2%) 「岐阜・関ヶ原」(1.5%) となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「名古屋城」の入込客では 38.2% と高く、「ノリタケの森」(32.3%) 「熱田神宮」(31.8%) と 3 割を超える。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では大半が「名古屋市内のみ」としている。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が 34.9% と高く、訪問先としては「明治村・犬山」(8.8%) が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

（単位：％）

訪問地		名古屋市 市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	下呂・高山	豊田・岡崎・足助	蒲郡・西浦・三谷	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他	訪問地 合計
観光 地点	観光地点・宿泊																
	名古屋城	72.7	7.7	4.8	4.8	3.2	1.6	5.2	0.5	3.2	2.0	1.6	0.2	2.0	0.5	0.9	38.2
	熱田神宮	73.4	4.5	4.8	3.0	3.5	0.3	3.8	1.5	2.3	0.3	0.0	0.8	0.5	0.5	6.0	31.8
	ノリタケの森	69.2	10.6	4.2	5.7	3.7	1.2	0.5	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.2	3.7	32.3
	名古屋港水族館	86.8	4.2	1.2	0.9	2.4	0.2	1.2	0.2	1.6	0.5	0.0	0.7	0.7	0.2	0.9	14.9
	名古屋まつり	94.3	0.7	1.4	1.4	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
	イベント会場	95.7	1.1	0.2	0.0	0.6	0.0	0.9	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.2	0.0	0.9	4.5
宿泊	宿泊客	65.1	7.0	6.5	8.8	2.6	1.3	5.2	1.1	2.8	1.5	0.5	0.5	1.5	0.8	3.8	43.9
	日帰り客	86.7	4.6	1.5	0.5	2.5	0.4	1.1	0.4	1.0	0.5	0.3	0.2	0.4	0.1	1.7	15.2
全 体		80.9	5.2	2.9	2.7	2.5	0.6	2.2	0.6	1.5	0.7	0.4	0.3	0.7	0.3	2.2	22.8

（複数回答）

旅行日程

名古屋市以外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が66.7%であり、「2日」(22.9%)、「3日」(7.3%)など「2日以上」の割合は合わせて33.3%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では53.6%と高く、「ノリタケの森」(50.0%)、「熱田神宮」(48.5%)の入込客でも比較的高い。一方、「日帰り」の入込客の割合について「名古屋港水族館」では約8割、「名古屋まつり」では約9割、「イベント会場」においては9割以上となった。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」(89.5%)、「関東」(86.1%)からの入込客では9割弱、「甲信越」(76.8%)からの入込客では8割弱が「2日以上」であり、「北陸」(58.9%)、「近畿」(53.1%)からの入込客でも「2日以上」の割合は半数以上を占めている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

日 程		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	合 計
観光地点・地域							
観 光 地 点	名古屋城	46.4	38.2	12.5	1.8	1.1	100.0
	熱田神宮	51.5	36.4	8.1	1.5	2.5	100.0
	ノリタケの森	50.0	30.0	12.3	5.7	2.0	100.0
	名古屋港水族館	78.4	15.8	4.0	0.9	0.9	100.0
	名古屋まつり	88.7	3.5	7.1	0.7	0.0	100.0
	イベント会場	96.3	3.0	0.5	0.0	0.2	100.0
地 域	東 海	95.3	3.9	0.8	0.0	0.0	100.0
	関 東	13.9	54.0	19.4	9.4	3.3	100.0
	近 畿	46.9	46.3	5.1	0.7	1.0	100.0
	北 陸	41.1	42.1	15.9	0.9	0.0	100.0
	甲信越	23.2	63.2	12.6	0.0	1.0	100.0
	その他	10.5	39.9	34.0	6.5	9.1	100.0
全 体		66.7	22.9	7.3	1.9	1.2	100.0

市内での宿泊数

名古屋市以外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方のうち、名古屋市内に宿泊する割合は81.0%である。その泊数としては、「1泊」する割合が56.8%と最も高く、「2泊」する割合が17.4%となっている。また、「名古屋まつり」を除く全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「名古屋城」、「熱田神宮」、「名古屋港水族館」では約2割となっている。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は、「その他」以外の地域においてすべて2割前後となっている。また、「2泊以上」する割合は「東海」、「近畿」、「甲信越」からの入込客では1割前後と低い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		市内宿泊数					合 計
		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	
観 光 地 点	名古屋城	21.6	59.3	16.1	1.7	1.3	100.0
	熱田神宮	21.8	61.1	11.9	1.1	4.1	100.0
	ノリタケの森	15.7	49.3	22.2	9.8	3.0	100.0
	名古屋港水族館	20.6	56.5	16.3	3.3	3.3	100.0
	名古屋まつり	0.0	37.5	56.2	6.3	0.0	100.0
	イベント会場	0.0	82.3	11.8	0.0	5.9	100.0
地 域	東 海	25.8	69.4	4.8	0.0	0.0	100.0
	関 東	18.4	52.3	18.1	8.6	2.6	100.0
	近 畿	23.1	65.4	9.0	0.6	1.9	100.0
	北 陸	17.5	58.7	22.2	1.6	0.0	100.0
	甲信越	23.3	67.1	8.2	0.0	1.4	100.0
	その他	10.9	43.8	34.3	3.7	7.3	100.0
全 体		19.0	56.8	17.4	4.0	2.8	100.0

名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外居住者の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が48.6%と半数を占め、「大変満足」が26.4%で合わせた75.0%が満足と評価している。「普通」が23.1%であり、「やや不満」(1.7%)、「不満」(0.2%)が僅かであった。

観光地点別にみると、「名古屋城」の入込客では「大変満足」が31.6%と施設の中で最も高く、「ほぼ満足」を合わせると83.6%となっている。「熱田神宮」、「ノリタケの森」、「名古屋港水族館」、「名古屋まつり」でも合わせて7割～8割であり満足と評価は高いが、「イベント会場」については満足は合わせて61.1%と6割は占めているものの、「普通」(34.3%)が比較的多い。

居住地別にみると、「東海」の各地域より「東海以外」からの入込客の方が満足度は高く、「近畿」以外では満足の割合は8割以上となっている。性別による大きな差異はみられない。

年齢別にみると、「大変満足」の割合は29歳以下の若い年代と70歳以上の高年齢層で3割～4割と多い。また、昨年度には0.0%であった「不満」と答えた回答が、僅かながら今回は全体で0.2%あった。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
地点・地域・性別・年齢							
観光地点	名古屋城	31.6	52.0	15.4	0.5	0.5	100.0
	熱田神宮	25.8	47.8	25.6	0.8	0.0	100.0
	ノリタケの森	30.4	53.7	14.9	0.8	0.2	100.0
	名古屋港水族館	24.2	47.8	26.1	1.9	0.0	100.0
	名古屋まつり	23.2	57.3	18.1	0.7	0.7	100.0
	イベント会場	21.3	39.8	34.3	4.6	0.0	100.0
地域	東 海	23.5	47.5	26.7	2.1	0.2	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	23.2	46.7	27.4	2.7	0.0	100.0
	岐阜県	23.8	48.1	26.0	1.6	0.5	100.0
	三重県	20.8	50.0	29.2	0.0	0.0	100.0
	静岡県	27.3	50.4	20.7	0.8	0.8	100.0
	関 東	29.4	53.9	16.0	0.7	0.0	100.0
	近 畿	24.3	50.0	23.6	1.7	0.4	100.0
	北 陸	37.4	43.9	17.8	0.9	0.0	100.0
	甲信越	33.7	50.5	14.7	0.0	1.1	100.0
	その他	37.2	47.1	14.4	1.3	0.0	100.0
性別	男 性	24.9	46.7	25.8	2.3	0.3	100.0
	女 性	27.8	50.5	20.6	1.1	0.0	100.0
年 齢	10～19歳	44.2	36.1	19.7	0.0	0.0	100.0
	20～29歳	30.9	46.9	20.5	1.4	0.3	100.0
	30～39歳	22.8	48.9	26.6	1.7	0.0	100.0
	40～49歳	22.8	51.0	25.1	1.1	0.0	100.0
	50～59歳	21.8	48.9	26.6	2.7	0.0	100.0
	60～69歳	24.2	51.9	20.8	2.8	0.3	100.0
	70歳以上	29.7	53.2	15.3	0.9	0.9	100.0
全 体		26.4	48.6	23.1	1.7	0.2	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外居住者が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が 35.5%と最も高く、「お祭り・イベント」が 20.4%、「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が 17.6%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が 14.5%で続き、「グルメ・なごやめし」が 8.6%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が 3.4%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「熱田神宮」の入込客では「歴史的な施設」、「ノリタケの森」の入込客では「産業観光・ものづくり施設」、「名古屋港水族館」の入込客では「レジャー施設」、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「お祭り・イベント」の割合がかなり高く、訪れた施設についての評価は良好である。そのほか「名古屋城」、「熱田神宮」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が 1 割以上みられる。

居住地別にみると、全体的に「歴史的な施設」、「産業観光・ものづくり施設」、「レジャー施設」が多く、「関東」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの入込客では「グルメ・なごやめし」が 1 割を超える。また「近畿」からの入込客では「お祭り・イベント」が 1 割を超えている。

観光施設以外の観光資源について年齢別にみると、20～30 歳代では「レジャー施設」、「お祭り・イベント」が、40～70 歳代では「歴史的な施設」、「産業観光・ものづくり施設」の割合が相対的に高くなっている。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

満足した観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	84.5	3.6	5.7	5.2	16.4	2.5	2.0	0.9	1.4	10.2	132.4
	熱田神宮	76.9	1.3	1.3	3.3	13.6	0.0	0.8	1.8	0.8	17.6	117.4
	ノリタケの森	15.8	74.6	1.5	2.7	8.4	1.5	0.7	0.0	0.7	12.6	118.5
	名古屋港水族館	4.7	1.4	83.3	4.0	6.6	0.5	0.5	0.5	0.2	11.5	113.2
	名古屋まつり	31.2	0.0	5.7	5.0	1.4	63.1	1.4	1.4	0.0	16.3	125.5
	イベント会場	0.0	0.0	0.6	1.3	1.3	77.1	0.4	0.0	0.2	19.9	100.8
地域	東海	25.0	9.0	20.1	2.7	4.3	30.6	0.8	0.2	0.7	16.4	109.8
	愛知県	24.9	8.2	19.6	2.1	3.3	29.5	0.8	0.3	0.8	18.4	107.9
	岐阜県	22.2	11.9	18.9	2.7	4.3	30.3	0.5	0.0	0.5	17.8	109.1
	三重県	20.8	13.3	18.3	3.3	2.5	43.3	1.7	0.0	0.8	6.7	110.7
	静岡県	34.4	5.7	27.0	6.6	13.9	26.2	0.0	0.0	0.0	9.8	123.6
	関東	57.6	21.4	6.8	3.9	19.1	4.5	2.3	2.3	1.0	12.6	131.5
	近畿	43.2	19.7	17.3	5.1	14.3	10.2	0.7	0.3	0.3	11.9	123.0
	北陸	43.9	25.2	26.2	3.7	11.2	6.5	1.9	0.0	0.0	13.1	131.7
	甲信越	50.5	20.0	21.1	4.2	11.6	5.3	0.0	1.1	1.1	7.4	122.3
その他	50.3	27.5	11.1	3.9	9.8	3.9	0.0	2.0	0.0	12.4	120.9	
性別	男性	33.6	11.5	17.2	3.1	8.0	22.8	0.6	0.6	0.5	16.5	114.4
	女性	37.3	17.4	18.1	3.7	9.2	18.2	1.2	0.7	0.8	12.6	119.2
年齢	10～19歳	21.3	4.1	45.1	4.1	7.4	21.3	0.0	0.0	0.0	11.5	114.8
	20～29歳	31.6	9.3	22.1	4.7	13.4	27.6	0.7	0.5	0.7	11.2	121.8
	30～39歳	29.7	11.7	21.4	3.4	6.8	23.4	1.7	1.3	0.0	15.7	115.1
	40～49歳	36.6	14.0	13.1	2.2	10.6	23.2	2.0	0.6	0.8	14.8	117.9
	50～59歳	35.6	23.1	10.4	4.5	6.2	12.2	0.6	0.3	0.9	19.9	113.7
	60～69歳	51.4	21.9	9.2	1.4	5.1	12.0	0.0	0.7	0.7	14.4	116.8
	70歳以上	50.0	21.4	7.1	1.8	2.7	8.0	0.0	0.9	1.8	13.4	107.1
全体		35.5	14.5	17.6	3.4	8.6	20.4	0.9	0.7	0.6	14.5	116.7

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外居住者が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 94.4%と大半を占め、個別の観光資源としては不満を感じた割合は「お祭り・イベント」(1.1%)以外は全て1%未満であった。

各属性別にみても、全ての階層で「特になし」は9割以上と大半を占め、個別の観光資源として不満を感じた割合が目立つものは皆無である。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

不満を感じた 観光資源 地点・地域・ 性別・年齢		施設 歴史的な	産業観光・も のづくり施設	施設 レジャー	グ ャ 街 歩 き	シ ョ ッ ピ ン	グル メ・ な ご や め し	お祭り・ イベ ン ト	や観劇鑑賞 コンサ ー ト	観戦 スポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
観光 地点	名古屋城	1.8	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	2.3	94.0	100.0
	熱田神宮	0.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	0.3	0.5	5.8	92.5	100.7	
	ノリタケの森	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.2	0.0	0.0	6.2	92.6	100.0	
	名古屋港水族館	0.5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	97.9	100.3	
	名古屋まつり	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	3.5	95.0	100.6	
	イベント会場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	4.3	0.0	0.0	1.3	94.4	100.2	
地 域	東 海	0.3	0.1	0.2	0.0	0.3	1.7	0.2	0.1	2.3	95.3	100.5	
	愛知県	0.5	0.1	0.2	0.0	0.5	1.6	0.1	0.0	2.1	95.2	100.3	
	岐阜県	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	2.7	0.5	0.5	3.2	94.1	101.5	
	三重県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	3.3	95.9	100.0	
	静岡県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.8	97.6	100.0	
	関 東	1.3	0.0	0.3	0.6	0.3	1.0	0.0	0.3	5.2	91.0	100.0	
	近 畿	0.7	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	5.4	92.9	100.0	
	北 陸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	96.3	100.0	
	甲信越	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	96.8	100.0	
	その他	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	3.9	93.5	100.0	
性 別	男 性	0.5	0.1	0.3	0.1	0.7	1.5	0.1	0.1	3.7	93.1	100.2	
	女 性	0.5	0.1	0.1	0.1	0.2	0.7	0.1	0.1	2.8	95.6	100.3	
年 齢	10～19歳	0.0	0.8	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	96.7	100.0	
	20～29歳	0.2	0.0	0.3	0.2	0.5	1.2	0.0	0.0	2.4	95.2	100.0	
	30～39歳	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	3.0	96.0	100.0	
	40～49歳	0.3	0.3	0.0	0.3	0.6	2.0	0.0	0.3	5.6	90.8	100.2	
	50～59歳	0.9	0.0	0.6	0.0	0.6	1.5	0.6	0.3	5.0	91.4	100.9	
	60～69歳	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	2.4	96.6	100.4	
	70歳以上	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	95.5	100.9	
	全 体	0.5	0.1	0.2	0.1	0.4	1.1	0.1	0.1	3.3	94.4	100.3	

（複数回答）

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は73.1%であり、「歴史的な施設」の割合が28.0%と最も多く、「グルメ・なごやめし」(17.8%)と「ショッピングや街歩き」(17.7%)が2割弱程度、「レジャー施設」(15.2%)と「お祭り・イベント」(14.0%)が1割台で、そのほかの観光資源は1割以下となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「イベント会場」以外の入込客は、「特になし」を除いて「歴史的な施設」の割合が最も高くなっている。「名古屋城」は「グルメ・なごやめし」、「イベント会場」は「特になし」を除いて「ショッピングや街歩き」が最も高い。また、「特になし」は全体的に2割弱～3割と多い。

居住地別にみると、「特になし」を除いた全ての地域で「歴史的な施設」が最も多い。次いで「関東」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの入込客では「グルメ・なごやめし」が2割前後みられる。

年齢別にみると、19歳以下では「ショッピングや街歩き」が、20歳代では「グルメ・なごやめし」の割合が最も高くなっている。30歳以上の階層では、「特になし」を除いて「歴史的な施設」が最も高く、30～40歳代では「レジャー施設」、「ショッピングや街歩き」の割合も相対的に高くなっている。一方、「特になし」の割合は全体的に高く、特に70歳以上では半数近い。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		施設	歴史的な	産業観光・もの づくり施設	レジャー	施設	グ ャ 街 歩 き	シ ョ ッ ピ ン	な ご や め し	グ ル メ ・ イ ベ ン ト	お 祭 り ・ イ ベ ン ト	や 観 劇 鑑 賞	コ ン サ ー ト	観 戦	ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
観光 地点	名古屋城	30.5	8.2	14.8	19.3	33.6	16.4	11.4	6.6	1.6	22.7	165.1						
	熱田神宮	31.2	8.5	12.1	11.6	11.1	6.0	3.0	7.5	6.0	31.9	128.9						
	ノリタケの森	29.8	7.6	12.3	7.6	5.9	3.9	3.4	2.2	3.9	34.2	110.8						
	名古屋港水族館	32.7	6.4	17.9	23.1	20.5	16.7	7.5	10.6	1.9	18.4	155.7						
	名古屋まつり	31.2	13.5	19.1	17.7	12.1	13.5	10.6	7.1	0.0	27.7	152.5						
	イベント会場	16.2	5.2	17.3	25.5	18.4	25.1	11.5	9.1	2.4	27.9	158.6						
地 域	東 海	24.3	7.1	17.0	21.6	16.4	16.7	9.7	8.2	3.0	27.2	151.2						
	愛知県	23.0	7.6	17.1	21.6	15.7	16.8	9.2	8.2	3.3	28.4	150.9						
	岐阜県	28.6	6.5	21.1	20.0	14.6	17.8	8.6	11.9	3.8	24.9	157.8						
	三重県	25.0	7.5	14.2	24.2	21.7	20.0	12.5	7.5	1.7	21.7	156.0						
	静岡県	26.2	4.1	12.3	21.3	18.9	10.7	12.3	3.3	1.6	27.9	138.6						
	関 東	35.0	6.8	9.4	9.7	17.8	9.7	4.9	7.4	3.6	27.5	131.8						
	近 畿	29.6	8.2	16.0	14.3	21.8	9.9	5.4	5.1	1.7	28.2	140.2						
	北 陸	30.8	6.5	13.1	20.6	24.3	18.7	5.6	7.5	3.7	22.4	153.2						
	甲信越	38.9	5.3	13.7	14.7	25.3	8.4	3.2	4.2	3.2	24.2	141.1						
	その他	34.6	13.7	13.1	7.2	13.7	7.8	5.2	4.6	2.0	25.5	127.4						
性 別	男 性	27.6	7.4	14.1	14.6	16.8	14.6	5.6	9.7	3.5	27.0	140.9						
	女 性	28.5	7.6	16.3	20.7	18.8	13.4	9.7	5.0	2.3	26.8	149.1						
年 齢	10～19歳	19.7	6.6	14.8	31.1	23.0	21.3	12.3	17.2	0.8	22.1	168.9						
	20～29歳	25.0	5.3	15.9	20.7	26.4	18.4	8.4	10.2	1.2	21.4	152.9						
	30～39歳	26.1	7.4	21.2	21.0	16.8	13.2	5.7	7.4	3.8	23.6	146.2						
	40～49歳	28.5	10.6	17.0	17.9	16.2	14.2	8.9	6.4	3.4	26.3	149.4						
	50～59歳	32.9	8.9	11.6	15.1	12.2	11.0	10.4	5.0	1.8	30.6	139.5						
	60～69歳	32.9	8.6	8.9	8.6	13.7	9.6	4.1	3.4	5.5	34.9	130.2						
	70歳以上	32.1	3.6	8.9	5.4	5.4	6.3	5.4	0.0	5.4	45.5	118.0						
全 体		28.0	7.5	15.2	17.7	17.8	14.0	7.7	7.3	2.9	26.9	145.0						

（複数回答）

2 - 2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

調査日時等

- 秋期調査：平成 22 年 11 月 1 日 ~ 11 月 30 日
- 春期調査：平成 23 年 3 月 1 日 ~ 3 月 31 日

調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の 20 施設に協力していただきました。

・登録ホテル 12 施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、名古屋マリオットアソシアホテル
ホテルキャッスルプラザ、サイプレスガーデンホテル、ANA クラウンプラザホテルグランコ
ート名古屋、名古屋観光ホテル、名古屋東急ホテル、ヒルトン名古屋、東京第一ホテル錦、ホ
テルサンルートプラザ名古屋、名鉄ニューグランドホテル

・ホテル 4 施設

名古屋ガーデンパレス、K K R ホテル名古屋、メルパルク名古屋、名古屋国際ホテル

・登録旅館 1 施設

つちやホテル

・旅館 3 施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

調査件数

- 秋 期：362 サンプル
- 春 期：329 サンプル
- 合 計：691 サンプル

(2) 調査結果

居住地構成、性・年齢構成

a . 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が 7.1%、「愛知県（名古屋市を除く）」が 8.1%、「岐阜県、三重県、静岡県」が 21.4%であり、合わせて「東海」地域が 36.6%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が 27.2%と多く、「近畿」地域は 11.1%、「北陸」地域は 5.8%、「甲信越」地域は 2.9%、その他の地域が 16.4%である。また、その他のうち「九州」が 4.5%である。

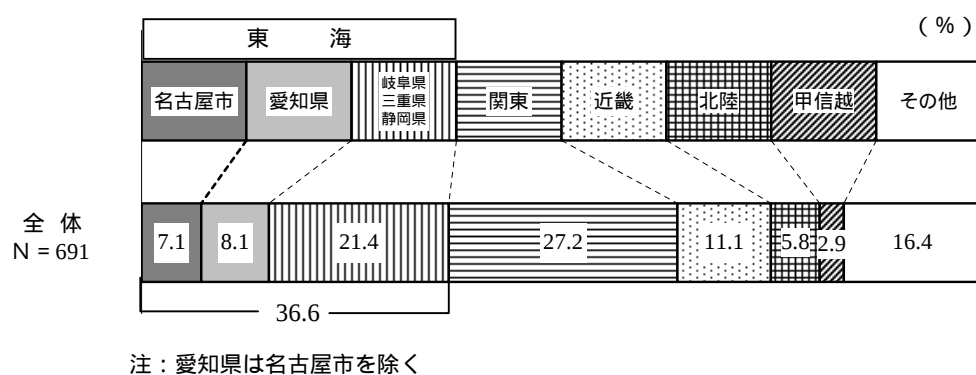


図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b . 性・年齢構成

年齢は、全体では 20 歳代から 50 歳代まで分散しており、「30～39 歳」は 25.2%、「20～29 歳」は 23.1%、「40～49 歳」は 17.1%、「50～59 歳」は 16.7%となっている。「60～69 歳」は 10.8%、「10～19 歳」は 3.8%、「70 歳以上」は 3.3%である。

性別は、男性が 47.7%、女性が 52.3%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性では 30・40 歳代を中心としている。一方、女性では「20～29 歳」(27.1%) が多く、次いで「30～39 歳」(26.5%) である。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位 : %)

	10～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上	合計
全 体	3.8	23.1	25.2	17.1	16.7	10.8	3.3	100.0
男 性	1.4	19.1	25.3	19.8	16.7	13.6	4.1	47.7
女 性	4.3	27.1	26.5	15.6	16.2	7.8	2.5	52.3

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(21.7%)をはじめ「観劇・コンサート」(8.7%)、「ショッピング」(7.1%)、「イベント」(4.8%)、「飲食」(4.7%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて50.5%と半数近くを占め、「商用・公用」が13.7%、「帰省・冠婚葬祭」が12.2%、「大会・会議に参加」が7.4%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は5割前後、「商用・公用」は2割前後、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後、「大会・会議」は1割弱で推移している。

性別にみると、男性では「観光施設の見学」(19.4%)に続いて「商用・公用」の割合が18.7%と多い。女性では「観光施設の見学」(24.4%)、「観劇・コンサート」(12.2%)など観光・娯楽の割合が男性に比べ高い。

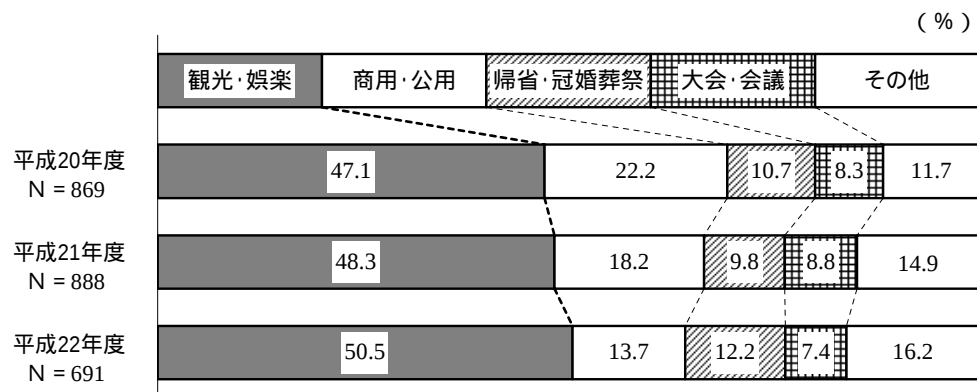


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的 (性別)

(単位: %)

旅行目的 性別	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
男性	19.4	4.4	6.1	4.8	5.8	3.4	18.7	13.3	6.8	17.3	100.0
女性	24.4	8.4	12.2	5.0	3.1	3.1	8.8	11.2	7.2	16.6	100.0
全体	21.7	7.1	8.7	4.8	4.7	3.5	13.7	12.2	7.4	16.2	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（348人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「インターネットホームページの情報から」（20.7％）と「雑誌・新聞をみて」（18.6％）が多く、以下「前に来たことがあり良かったから」（17.8％）「友人・知人に薦められたから」（14.5％）「テレビやラジオ番組の情報から」（7.1％）「旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて」（7.1％）となっている。

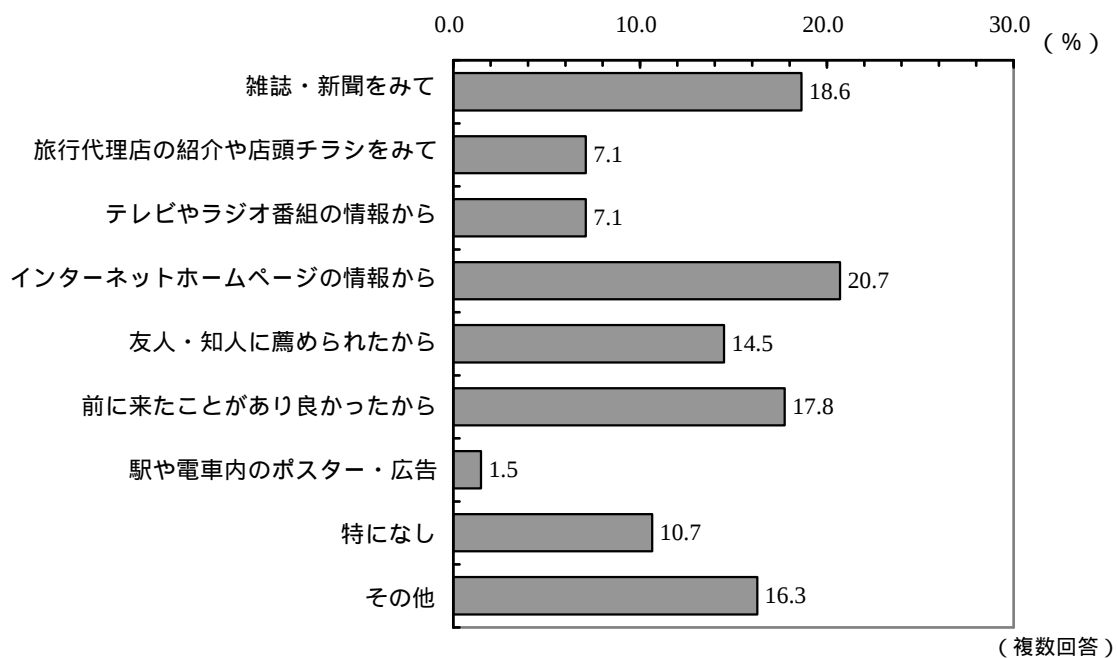


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問するとした回答者は、691 人中 510 人（73.8%）であり、全体では「名古屋城」が 29.5%と最も多く、次いで「熱田神宮」（14.3%）「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」（12.0%）「名古屋港水族館」（10.0%）が 1 割台、「テレビ塔」（7.5%）「徳川美術館」（6.9%）「徳川園」（6.7%）「名古屋港」（4.9%）「東山動植物園」（4.5%）「ノリタケの森」（4.3%）と続いている。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合は「東海」より「東海以外」で 2 ポイント高くなっているが、平均訪問施設数はほぼ同じである。訪問施設としては、「東海」からの宿泊客では「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」（17.8%）や「熱田神宮」（12.3%）を訪れる割合が相対的に高い。一方、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」（34.7%）を訪れる割合が特に高く、「熱田神宮」（15.5%）「名古屋港水族館」（11.2%）「テレビ塔」（8.9%）「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」（8.7%）「徳川園」（7.1%）などを訪れる割合が相対的に高い。

なお、宿泊客 1 人あたりの平均訪問施設数は 1.40 施設である。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

（単位：％）

訪問施設 地 域	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ホストン美術館
東 海	20.6	1.6	2.4	7.1	5.9	12.3	2.0	4.7	3.6	5.1	2.8	2.0	5.1
東海以外	34.7	2.7	5.5	6.8	7.1	15.5	0.7	4.3	1.6	8.9	2.5	0.5	2.5
全 体	29.5	2.3	4.3	6.9	6.7	14.3	1.2	4.5	2.3	7.5	2.6	1.0	3.5

訪問施設 地 域	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	その他	なし	平均訪問施設数
東 海	5.1	2.0	0.4	2.4	7.9	5.5	0.8	0.0	17.8	21.7	20.2	1.39
東海以外	2.7	0.5	0.2	0.9	11.2	4.6	0.9	0.7	8.7	17.1	29.7	1.41
全 体	3.6	1.0	0.3	1.4	10.0	4.9	0.9	0.4	12.0	18.8	26.2	1.40

（複数回答）

注：平均訪問施設数の計算式：{ 訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数 } / （全回答者数）

d．旅行形態

全体では「友人・知人」(30.9%)と「ひとり」(24.7%)とが多く、「家族連れ」の割合は「家族(夫婦)」(15.3%)など合わせて38.0%となっている。

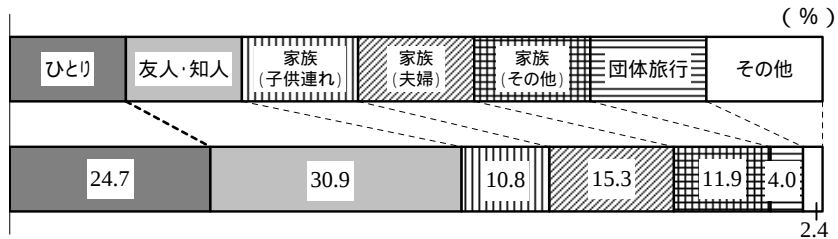


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では13.1%となっている。

居住地別にみると「その他」の地域からの宿泊客では33.3%が、「関東」(14.8%)「北陸」(11.1%)からの宿泊客でも1割以上が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無(居住地別)

(単位: %)

旅行形態 地 域	パッケージ 旅行	パッケージ 旅行ではない	合 計
東 海	5.9	94.1	100.0
名古屋市	2.2	97.8	100.0
愛知県(名古屋市を除く)	0.0	100.0	100.0
岐阜県・三重県・静岡県	9.4	90.6	100.0
関 東	14.8	85.2	100.0
近 畿	9.2	90.8	100.0
北 陸	11.1	88.9	100.0
甲信越	5.3	94.7	100.0
その他	33.3	66.7	100.0
全 体	13.1	86.9	100.0

旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 45.3%と最も多く、次いで「30,000～50,000 円未満」(24.0%)、「5,000～10,000 円未満」(16.3%)、「50,000 円以上」(11.6%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「30,000～50,000 円未満」の割合が最も多い。「関東」と「その他」を除く地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多い。また、「関東」では 30,000 円以上も 5 割以上みられ、遠方からの宿泊客では高額の予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 28,656 円であり、昨年度(28,775 円)と比較して 119 円の減額となっている。

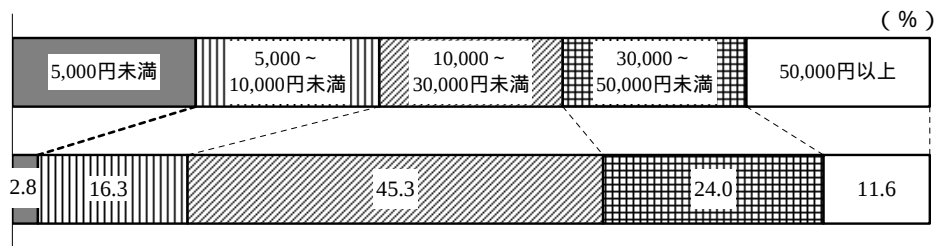


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算（居住地別）

(単位：%)

地 域	旅行予算	5,000円 未満	5,000～ 10,000円 未満	10,000～ 30,000円 未満	30,000～ 50,000円 未満	50,000円 以上	合 計	平均額 (円)
東 海		6.9	29.8	47.0	11.6	4.7	100.0	20,011
名古屋市		12.8	31.9	46.8	4.3	4.2	100.0	16,968
愛知県(名古屋市を除く)		3.9	27.4	56.9	5.9	5.9	100.0	20,294
岐阜県・三重県・静岡県		6.0	29.8	43.3	16.4	4.5	100.0	20,970
関 東		0.0	9.5	37.5	38.7	14.3	100.0	34,405
近 畿		0.0	10.8	64.6	13.8	10.8	100.0	27,346
北 陸		0.0	9.4	62.5	25.0	3.1	100.0	25,547
甲信越		0.0	11.8	52.9	23.5	11.8	100.0	29,706
その他		0.0	0.0	30.8	39.7	29.5	100.0	44,167
全 体		2.8	16.3	45.3	24.0	11.6	100.0	28,656

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000 円未満」が 32.9%と最も多く、次いで「20,000～30,000 円未満」(26.6%)、「30,000～50,000 円未満」(16.6%)、「5,000～10,000 円未満」(14.5%)、「50,000 円以上」(7.4%)となっており、平均額は 19,978 円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」からの宿泊客では 19,000 円程度、「関東」、「甲信越」からの宿泊客では 21,000 円前後であり、「その他」からの宿泊客では 23,000 円程度と消費額は高額となっている。

なお、平均額は、昨年度(20,940 円)と比較して 962 円の減額となっている。

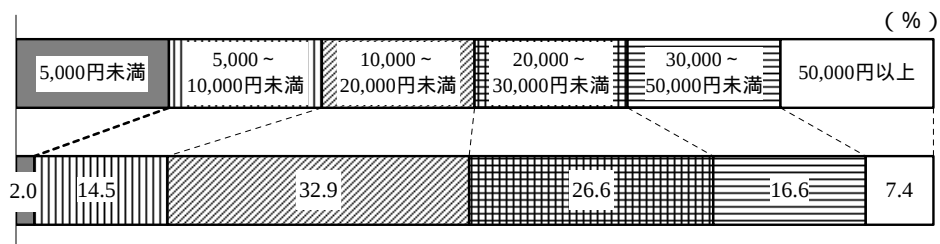


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
地 域								
東 海	3.0	15.4	34.3	23.4	17.9	6.0	100.0	19,087
名古屋市	5.0	25.0	37.5	20.0	10.0	2.5	100.0	14,138
愛知県 (名古屋市を除く)	4.5	11.4	38.6	18.2	20.5	6.8	100.0	18,318
岐阜県・三重県・静岡県	1.7	13.7	31.6	26.5	19.7	6.8	100.0	21,068
関 東	0.6	13.6	34.8	25.2	16.1	9.7	100.0	20,906
近 畿	4.6	26.2	32.3	21.5	10.8	4.6	100.0	15,892
北 陸	3.3	10.0	40.0	26.7	20.0	0.0	100.0	17,000
甲信越	0.0	6.6	20.0	46.7	20.0	6.7	100.0	21,733
その他	0.0	6.9	30.1	34.3	16.4	12.3	100.0	23,110
全 体	2.0	14.5	32.9	26.6	16.6	7.4	100.0	19,978

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000 円未満」が 43.5%と最も多く、次いで「1,000 円未満」(24.8%)、「3,000～5,000 円未満」(13.4%)、「交通費はかからない」(9.6%)、「5,000 円以上」(7.1%)となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」居住の宿泊客では「1,000 円未満」の割合が最も多く、その他の地域では「1,000～3,000 円未満」が最も多くなっており、県外からの宿泊客では平均金額は 1,900～3,000 円となっている。

なお、市内交通費の平均額は 2,097 円であり、昨年度(2,279 円)と比較して 182 円の減額となっている。

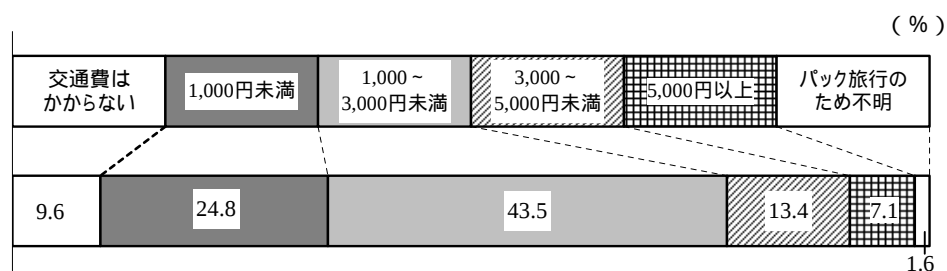


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費(居住地別)

(単位: %)

地 域	市内交通費						合 計	平均額 (円)
	交通費は かからない	1,000円 未満	1,000～ 3,000円 未満	3,000～ 5,000円 未満	5,000円 以上	バック旅 行のため 不明		
東 海	11.4	31.5	39.7	10.5	5.2	1.7	100.0	1,796
名古屋市	21.7	37.0	28.3	6.5	6.5	0.0	100.0	1,500
愛知県(名古屋市を除く)	13.7	27.5	51.0	3.9	3.9	0.0	100.0	1,608
岐阜県・三重県・静岡県	6.8	31.1	39.4	14.4	5.3	3.0	100.0	1,977
関 東	7.8	22.9	49.4	10.3	7.8	1.8	100.0	2,138
近 畿	11.9	22.4	46.3	14.9	4.5	0.0	100.0	1,970
北 陸	10.0	16.7	46.6	20.0	6.7	0.0	100.0	2,317
甲信越	0.0	23.5	29.4	35.3	11.8	0.0	100.0	3,000
その他	7.9	15.8	42.1	19.7	10.5	4.0	100.0	2,603
全 体	9.6	24.8	43.5	13.4	7.1	1.6	100.0	2,097

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{ 円}) \times (\text{「1,000 円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{ 円}) \times (\text{「1,000～3,000 円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{ 円}) \times (\text{「3,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円以上」の回答者数})\} / \{(\text{全回答者数}) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数}) \}$

d．市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 74.8%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 33.7%と最も多く、以下「2,000 円未満」(19.7%) 「5,000～10,000 円未満」(13.4%) 「10,000 円以上」(8.0%) となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(58.7%) 居住の宿泊客で多く、「愛知県 (名古屋市を除く)」(51.0%) 「岐阜県・三重県・静岡県」(29.8%) からの宿泊客でも比較的多く、遠方からの宿泊客の方が土産を購入している割合は多い。

購入額としては、「その他」からの宿泊客では「5,000 円以上」が 4 割程度みられ、平均額は 6,000 円以上と高い。

なお、土産代の平均額は 3,987 円である。昨年度と比較して購入する割合 (昨年度 74.9%) は 74.8%とほぼ同じで、平均額 (同 3,770 円) は 217 円の増額となっている。

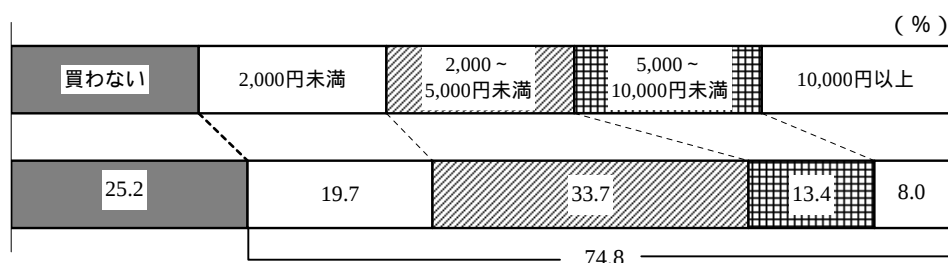


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代 (居住地別)

(単位: %)

土産代		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	合計	平均額 (円)
地 域								
東 海		40.3	21.6	22.9	8.7	6.5	100.0	2,968
	名古屋市	58.7	13.0	19.6	6.5	2.2	100.0	1,739
	愛知県 (名古屋市を除く)	51.0	17.7	13.7	9.8	7.8	100.0	2,961
	岐阜県・三重県・静岡県	29.8	26.1	27.6	9.0	7.5	100.0	3,392
関 東		18.8	24.2	36.4	13.3	7.3	100.0	3,970
近 畿		19.4	17.9	44.8	14.9	3.0	100.0	3,463
北 陸		18.7	3.1	46.9	18.8	12.5	100.0	5,578
甲信越		11.8	5.9	58.8	23.5	0.0	100.0	3,882
その他		10.1	15.2	35.4	20.3	19.0	100.0	6,709
全 体		25.2	19.7	33.7	13.4	8.0	100.0	3,987

注: 平均額の計算式: { (0 円) × (「買わない」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000 円以上」の回答者数) } / (全回答者数)

e . 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000 円未満」(34.8%)と「5,000～10,000 円未満」(32.8%)が多く、以下「10,000～30,000 円未満」(14.6%)、「2,000 円未満」(12.7%)となっている。

居住地別にみると、「北陸」、「甲信越」、「その他」からの宿泊客では「5,000～10,000 円未満」が、「関東」、「近畿」からの宿泊客では「2,000～5,000 円未満」が最も多くなっている。

なお、食事代の平均額は 7,585 円であり、昨年度 (7,323 円) と比較して 262 円の増額となっている。

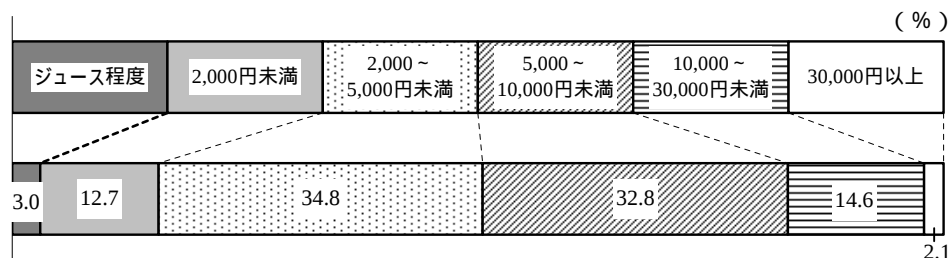


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代 (居住地別)

(単位 : %)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合 計	平均額 (円)
地 域									
東 海		3.9	14.9	36.2	30.1	14.0	0.9	100.0	6,821
	名古屋市	4.4	20.0	24.5	33.3	15.6	2.2	100.0	7,556
	愛知県 (名古屋市を除く)	5.8	9.6	36.6	36.5	11.5	0.0	100.0	6,423
	岐阜県・三重県・静岡県	3.0	15.2	40.1	26.5	14.4	0.8	100.0	6,727
関 東		3.0	10.2	36.2	31.9	14.5	4.2	100.0	8,340
近 畿		0.0	13.0	39.1	31.9	16.0	0.0	100.0	7,080
北 陸		6.2	6.2	31.3	34.4	21.9	0.0	100.0	8,109
甲信越		0.0	5.9	23.5	64.7	0.0	5.9	100.0	8,088
その他		0.0	10.5	30.3	40.8	14.5	3.9	100.0	8,697
全 体		3.0	12.7	34.8	32.8	14.6	2.1	100.0	7,585

注：平均額の計算式：{ (0 円) × (「ジュース程度」の回答者数) + (1,000 円) × (「2,000 円未満」の回答者数) + (3,500 円) × (「2,000～5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数) } / (全回答者数)

f．宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000 円未満」が 69.5%を占めていて、次いで「15,000～30,000 円未満」(19.6%)となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000 円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は 13,271 円であり、昨年度(12,108 円)と比較して 1,163 円の増額となっている。

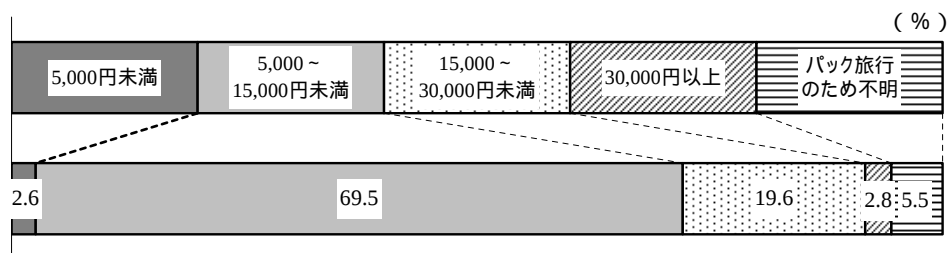


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代（居住地別）

(単位：%)

地 域	市内宿泊代					合 計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 15,000円 未満	15,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	バック旅行 のため不明		
東 海	1.5	74.7	18.3	3.5	2.0	100.0	13,283
名古屋市	6.1	60.6	30.3	3.0	0.0	100.0	14,242
愛知県(名古屋市を除く)	0.0	71.7	19.6	6.5	2.2	100.0	14,500
岐阜県・三重県・静岡県	0.8	79.7	14.6	2.5	2.4	100.0	12,563
関 東	3.0	67.1	21.5	2.4	6.0	100.0	13,392
近 畿	4.5	73.1	16.4	4.5	1.5	100.0	13,106
北 陸	3.1	62.5	28.1	0.0	6.3	100.0	13,500
甲信越	0.0	82.3	11.8	0.0	5.9	100.0	11,563
その他	2.6	56.6	21.1	2.6	17.1	100.0	13,889
全 体	2.6	69.5	19.6	2.8	5.5	100.0	13,271

注：平均額の計算式： $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000 円未満」の回答者数}) + (10,000 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～15,000 円未満」の回答者数}) + (22,500 \text{ 円}) \times (\text{「15,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「バック旅行のため不明」の回答者数})\}$

来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市の宿泊客 642 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 37.4%と最も多い。今回「はじめて」の割合は 18.3%であり、以下「2 回目」(16.7%)、「4～9 回目」(15.5%)、「3 回目」(12.1%)となっている。

居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」(57.7%) が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合は 1 割に満たないが、「東海以外」からの宿泊客では 25.1%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数					合 計
	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10回以上	
東 海	4.3	10.7	11.8	15.5	57.7	100.0
愛知県（名古屋市を除く）	0.0	6.0	6.0	12.0	76.0	100.0
岐阜県・三重県・静岡県	5.8	12.4	13.9	16.8	51.1	100.0
東海以外	25.1	19.6	12.3	15.5	27.5	100.0
全 体	18.3	16.7	12.1	15.5	37.4	100.0

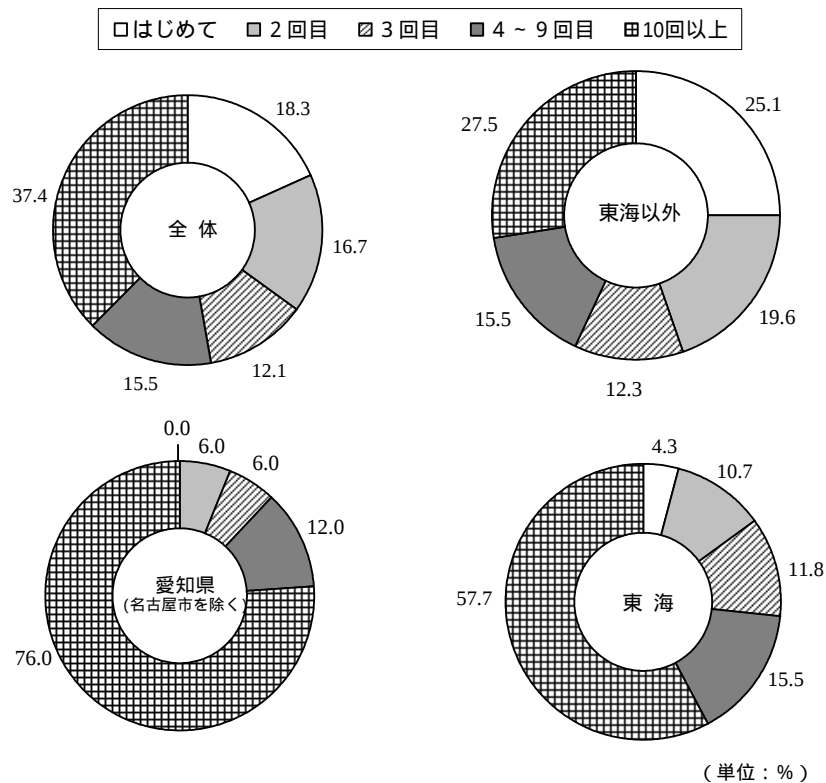


図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「ＪＲ」が49.9%と最も多く、次いで「自家用車」(25.1%)であり、「航空機」(8.6%)「近鉄電車」(6.9%)「名鉄電車」(6.7%)となっている。

居住地別にみると、「愛知県」からの宿泊客では「名鉄電車」(40.0%)「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」(71.8%)が最も多い。「北陸」(46.9%)「甲信越」(41.2%)からの宿泊客では「自家用車」が最も多く、「関東」(76.2%)「近畿」(50.0%)からの宿泊客では「ＪＲ」が半数以上と最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」が50.6%と最も多い。

旅行形態別にみると、家族では「幼児・小学生連れ」(56.3%)は「自家用車」が最も多いが、「夫婦」(40.7%)「その他」(54.3%)は「ＪＲ」が最も多い。

昨年度と比較すると、「自家用車」の割合は昨年度(29.6%)と比較して今年度(25.1%)は4.5ポイント減少している。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		Ｊ Ｒ	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	市 地 下 鉄 ・ バ ス	そ の 他	合 計
地域・旅行形態											
地 域	東 海	35.3	15.5	15.5	29.9	0.5	1.6	1.6	0.0	2.7	102.6
	愛知県(名古屋市を除く)	18.0	40.0	2.0	34.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0	102.0
	岐阜県	44.9	14.3	0.0	36.7	0.0	2.0	2.0	0.0	4.1	104.0
	三重県	10.3	0.0	71.8	20.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	102.6
	静岡県	63.3	4.1	0.0	26.5	2.0	0.0	4.1	0.0	2.0	102.0
	関 東	76.2	0.0	0.6	17.9	1.8	0.6	0.6	0.0	4.2	101.9
	近 畿	50.0	1.5	8.8	36.8	0.0	1.5	0.0	0.0	4.4	103.0
	北 陸	40.6	0.0	0.0	46.9	3.1	0.0	9.4	0.0	6.3	106.3
	甲信越	29.4	5.9	0.0	41.2	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9	100.0
	その他	37.7	5.2	1.3	10.4	50.6	0.0	0.0	0.0	3.9	109.1
旅 行 形 態	ひとり	62.4	5.0	5.0	13.5	9.2	2.8	0.7	0.0	3.5	102.1
	友人・知人	45.3	11.8	11.8	19.4	9.4	0.6	1.8	0.0	4.1	104.2
	家族										
	幼児・小学生連れ	35.9	4.7	4.7	56.3	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	104.8
	夫婦	40.7	4.9	3.7	35.8	13.6	1.2	0.0	0.0	2.5	102.4
	その他	54.3	4.3	4.3	34.3	4.3	0.0	0.0	0.0	5.7	107.2
	団体旅行	61.1	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	22.2	0.0	0.0	105.7
	その他	66.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0
全 体		49.9	6.7	6.9	25.1	8.6	1.4	1.4	0.0	3.9	103.9

（複数回答）

名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は 37.3% であった。その方（206 人）の訪問地としては、「明治村・犬山」（22.8%）「長島温泉・湯の山・鈴鹿」（17.0%）「伊勢・志摩」（16.5%）が多く、以下「知多・常滑・セントレア」（13.6%）「下呂・高山」（13.1%）「豊田・岡崎・足助」（11.7%）「岐阜・関ヶ原」（10.7%）「長久手・モリコロパーク」（8.7%）と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

（単位：％）

訪問地	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	伊勢・志摩	岐阜・関ヶ原	下呂・高山	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	蒲郡・西浦・三谷	多治見・恵那・中津川	豊川・鳳来寺	瀬戸・小原	その他
	22.8	13.6	16.5	10.7	13.1	17.0	11.7	8.7	6.8	4.4	7.8	0.5	3.4	17.0

（複数回答）

旅行日程

居住地が名古屋市の宿泊客のうち、旅行日程は、「2 日」である割合が 70.4% と最も多く、次いで「3 日」が 21.4% となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「甲信越」からの宿泊客では「2 日」の割合は 7 割以上を占めている。一方、「3 日以上」の割合は、「その他」（58.8%）からの宿泊客では 6 割と多く、「関東」（30.8%）「北陸」（30.5%）「甲信越」（30.0%）からの宿泊客でも 3 割みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

（単位：％）

日程	2 日	3 日	4 日	5 日以上	合 計
地 域					
東 海	83.0	12.6	1.7	2.7	100.0
関 東	69.2	22.5	4.4	3.9	100.0
近 畿	78.9	15.5	2.8	2.8	100.0
北 陸	69.5	22.2	8.3	0.0	100.0
甲信越	70.0	25.0	5.0	0.0	100.0
その他	41.2	41.2	8.2	9.4	100.0
全 体	70.4	21.4	4.4	3.8	100.0

市内での宿泊日数

居住地が名古屋市の宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が77.2%と多く、「2泊」が18.9%となっている。

居住地別にみると、「近畿」からの宿泊客では名古屋市内で「1泊」の割合が87.1%と高い。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では44.1%、「北陸」では27.8%、「甲信越」では25.0%となっている。

表 2-2-15 名古屋市内からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地 域	市内宿泊数	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊以上	合 計
東 海		84.9	12.3	2.2	0.6	100.0
関 東		78.0	17.0	2.2	2.8	100.0
近 畿		87.1	12.9	0.0	0.0	100.0
北 陸		72.2	25.0	2.8	0.0	100.0
甲信越		75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
その他		55.9	35.7	3.6	4.8	100.0
全 体		77.2	18.9	2.2	1.7	100.0

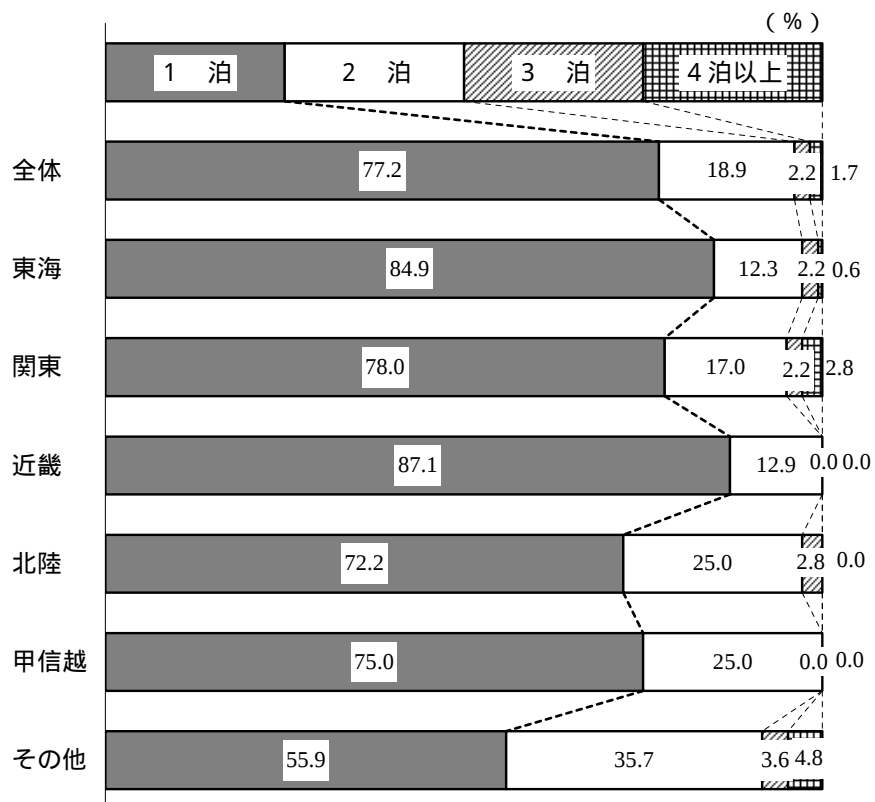


図 2-2-12 名古屋市内からの宿泊客の市内での宿泊日数

名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの宿泊客（642 名）の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が 46.6%と半数近くを占め、「大変満足」（14.1%）を合わせた 60.7%が満足と評価している。「普通」が 36.5%であり、「やや不満」（2.1%）と「不満」（0.7%）は僅かである。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「甲信越」（70.6%）「近畿」（68.2%）からの宿泊客で高い。一方、「岐阜県」（50.0%）「関東」（57.9%）からの宿泊客では満足の割合が相対的に低く、「普通」の割合が多い。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別による大きな差異はみられない。

旅行形態別にみると、満足の割合は「団体旅行」が 8 割、「友人・知人」、「幼児・小学生連れの家族」では 7 割と高い。一方、「ひとり」では「普通」が半数近くを占めている。

表 2-2-16 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態		印象・満足度					合 計
		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	
地 域	東 海	14.1	45.7	36.4	2.2	1.6	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	7.8	54.9	37.3	0.0	0.0	100.0
	岐阜県	12.5	37.5	41.6	4.2	4.2	100.0
	三重県	12.8	53.8	30.8	0.0	2.6	100.0
	静岡県	23.9	37.0	34.8	4.3	0.0	100.0
	関 東	11.6	46.3	40.9	1.2	0.0	100.0
	近 畿	21.8	46.4	30.4	1.4	0.0	100.0
	北 陸	9.1	54.6	33.3	3.0	0.0	100.0
	甲信越	17.7	52.9	29.4	0.0	0.0	100.0
	その他	13.7	45.3	35.8	4.2	1.0	100.0
性 別	男 性	10.6	44.9	41.1	3.0	0.4	100.0
	女 性	17.4	49.6	31.5	1.1	0.4	100.0
年 齢	10～19歳	33.3	38.1	14.3	4.8	9.5	100.0
	20～29歳	15.3	50.0	33.9	0.0	0.8	100.0
	30～39歳	14.1	47.9	33.8	3.5	0.7	100.0
	40～49歳	12.5	44.2	41.4	1.9	0.0	100.0
	50～59歳	9.9	49.4	40.7	0.0	0.0	100.0
	60～69歳	12.7	38.2	43.6	5.5	0.0	100.0
	70歳以上	21.0	47.4	31.6	0.0	0.0	100.0
旅 行 形 態	ひとり	9.5	37.2	48.9	3.7	0.7	100.0
	友人・知人	14.8	54.4	27.8	1.8	1.2	100.0
	幼児・小学生連れ	17.7	50.0	32.3	0.0	0.0	100.0
	夫婦	14.8	44.5	39.5	1.2	0.0	100.0
	その他	17.4	39.1	37.7	4.3	1.5	100.0
	団体旅行	25.0	55.0	20.0	0.0	0.0	100.0
	その他	0.0	60.0	40.0	0.0	0.0	100.0
全 体		14.1	46.6	36.5	2.1	0.7	100.0

ｂ．満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」が30.8%で最も高く、「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が23.7%、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が20.7%となっており、「特になし」は36.8%である。観光施設を訪れていない割合は26.2%（P34 参照）であり、訪れた方の大半は何らかの観光資源に満足しているといえる。

「愛知県」、「岐阜県」、「三重県」からの宿泊客では「ショッピングや街歩き」が、「関東」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「グルメ・なごやめし」が最も高い。50歳代以上では「歴史的な施設」が、そのほかの殆どの階層では「グルメ・なごやめし」が最も高く、特に「近畿」、「甲信越」からの宿泊客や、「30～39歳」、「友人・知人」では4割以上となっている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-17 宿泊客の満足した名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞やコンサート	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東 海		17.6	4.9	8.8	25.0	23.0	2.5	7.8	1.5	2.9	35.8	129.8
	愛知県		16.1	1.8	5.4	26.8	25.0	1.8	8.9	3.6	1.8	33.9	125.1
	岐阜県		18.9	1.9	3.8	22.6	18.9	1.9	9.4	0.0	1.9	41.5	120.8
	三重県		12.2	9.8	12.2	24.4	17.1	4.9	4.9	0.0	4.9	46.3	136.7
	静岡県		22.2	7.4	14.8	25.9	29.6	1.9	7.4	1.9	3.7	24.1	138.9
	関 東		29.8	5.3	9.0	17.0	33.5	1.6	4.8	1.6	3.7	38.3	144.6
	近 畿		26.0	2.6	6.5	20.8	44.2	2.6	3.9	3.9	2.6	27.3	140.4
	北 陸		15.0	0.0	12.5	20.0	37.5	2.5	0.0	0.0	5.0	52.5	145.0
	甲信越		25.0	5.0	20.0	20.0	40.0	5.0	20.0	5.0	0.0	30.0	170.0
	その他		25.7	4.4	12.4	19.5	27.4	1.8	5.3	1.8	0.9	38.1	137.3
性別	男 性		22.9	3.3	9.2	17.0	25.1	1.8	4.4	3.7	3.7	42.1	133.2
	女 性		23.5	5.0	10.6	26.2	38.4	3.0	7.6	0.3	2.0	29.1	145.7
年 齢	10～19歳		18.2	0.0	13.6	27.3	36.4	0.0	18.2	0.0	4.5	18.2	136.4
	20～29歳		22.1	1.5	9.2	26.0	39.7	3.1	5.3	2.3	3.8	29.8	142.8
	30～39歳		21.6	2.6	15.0	26.8	40.5	3.3	5.2	2.0	2.6	28.8	148.4
	40～49歳		25.9	5.4	9.8	16.1	30.4	0.9	7.1	3.6	0.9	38.4	138.5
	50～59歳		30.2	7.5	8.5	16.0	25.5	1.9	1.9	0.0	3.8	37.7	133.0
	60～69歳		15.9	5.8	1.4	14.5	13.0	0.0	8.7	0.0	1.4	58.0	118.7
	70歳以上		47.6	9.5	9.5	23.8	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	23.8	166.5
旅行形態	ひとり		17.9	3.3	2.6	18.5	22.5	2.6	4.0	2.6	4.6	48.3	126.9
	友人・知人		27.2	4.4	11.1	26.7	42.8	3.9	9.4	2.2	2.8	21.1	151.6
	家族		28.6	1.4	28.6	20.0	38.6	0.0	2.9	0.0	1.4	30.0	151.5
	夫婦		25.5	7.4	9.6	23.4	25.5	2.1	6.4	3.2	2.1	35.1	140.3
	その他		30.3	3.9	7.9	18.4	34.2	1.3	3.9	1.3	2.6	38.2	142.0
	団体旅行		20.0	8.0	4.0	16.0	12.0	0.0	8.0	0.0	4.0	36.0	108.0
	その他		0.0	0.0	6.3	6.3	25.0	0.0	6.3	0.0	0.0	62.5	106.4
満足度	大変満足		34.2	6.3	15.2	34.2	48.1	3.8	11.4	5.1	5.1	8.9	172.3
	ほぼ満足		34.4	6.5	14.9	29.8	43.5	2.3	6.5	1.1	2.7	18.3	160.0
	普通		16.1	2.4	4.9	12.2	20.5	2.4	4.9	2.4	2.9	47.3	116.0
	やや不満		8.3	0.0	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	8.3	50.0	124.9
全 体			23.7	4.4	9.8	20.7	30.8	2.2	5.9	1.9	2.8	36.8	139.0

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 81.5%と 8 割以上を占める。個別の観光資源としては「ショッピングや街歩き」の割合が一番高いものの 3.9%にすぎない。

各属性別にみても、「岐阜県」からの宿泊客で「ショッピングや街歩き」(11.3%)、「甲信越」からの宿泊客で「グルメ・なごやめし」(10.0%) が 1 割以上みられるほかは 1 割以下である。

満足度別にみると、普通以上の評価では 1 割に達するものはみられず、やや不満とした意見があった観光資源は「歴史的な施設」(16.7%)、「グルメ・なごやめし」(8.3%) であった。

表 2-2-18 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた 観光資源	施設 歴史的な	産業観光・もの づくり施設	施設 レジャー	ショッピング や街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦 スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東 海	3.9	1.0	4.9	4.4	3.9	2.5	1.0	0.5	4.9	77.5	104.5		
	愛知県	1.8	0.0	7.1	1.8	3.6	3.6	1.8	0.0	1.8	80.4	101.9		
	岐阜県	3.8	3.8	7.5	11.3	0.0	3.8	1.9	0.0	5.7	73.6	111.4		
	三重県	2.4	0.0	0.0	4.9	9.8	2.4	0.0	0.0	7.3	75.6	102.4		
	静岡県	7.4	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	1.9	5.6	79.6	101.9		
	関 東	3.7	0.0	0.5	3.2	3.2	0.0	0.5	0.5	6.4	84.6	102.6		
	近 畿	3.9	1.3	2.6	3.9	0.0	2.6	0.0	0.0	5.2	81.8	101.3		
	北 陸	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	92.5	100.0		
	甲信越	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	20.0	55.0	100.0		
	その他	0.9	0.0	0.9	5.3	2.7	0.0	1.8	0.0	5.3	84.1	101.0		
性別	男 性	2.6	0.4	3.0	3.3	2.6	1.1	1.5	1.1	5.9	81.2	102.7		
	女 性	3.3	0.7	2.3	4.3	4.0	1.0	0.3	0.0	5.3	81.8	103.0		
年 齢	10～19歳	4.5	0.0	0.0	13.6	0.0	9.1	9.1	0.0	4.5	59.1	99.9		
	20～29歳	3.8	0.0	3.8	4.6	3.8	1.5	1.5	1.5	3.1	79.4	103.0		
	30～39歳	3.3	1.3	2.0	2.6	2.0	1.3	0.7	0.7	11.1	77.8	102.8		
	40～49歳	3.6	0.0	2.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	5.4	82.1	101.0		
	50～59歳	0.9	0.9	0.9	3.8	1.9	0.0	0.9	0.0	2.8	90.6	102.7		
	60～69歳	1.4	0.0	1.4	4.3	8.7	1.4	0.0	0.0	5.8	81.2	104.2		
	70歳以上	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	100.0		
旅行形態	ひとり	0.0	0.0	4.0	4.0	2.6	0.0	1.3	0.7	4.6	83.4	100.6		
	友人・知人	5.0	0.6	3.3	5.6	2.8	1.7	2.2	1.1	5.6	75.0	102.9		
	家族	子ども連れ	1.4	0.0	1.4	4.3	2.9	0.0	0.0	0.0	12.9	78.6	101.5	
		夫婦	3.2	1.1	0.0	4.3	5.3	1.1	0.0	0.0	6.4	84.0	105.4	
		その他	6.6	1.3	1.3	2.6	3.9	2.6	0.0	0.0	2.6	84.2	105.1	
	団体旅行	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	84.0	100.0		
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	93.8	100.1		
満足度	大変満足	1.3	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5	88.6	99.9		
	ほぼ満足	1.9	0.4	1.1	3.4	2.3	1.5	1.5	0.4	5.0	84.0	101.5		
	普通	5.4	1.0	4.9	6.8	4.9	0.5	1.0	1.0	8.3	71.7	105.5		
	やや不満	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	108.3		
全 体		3.0	0.5	2.3	3.9	3.1	1.1	0.9	0.5	5.8	81.5	102.6		

（複数回答）

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市内居住者が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は58.9%であり、「歴史的な施設」の割合が19.0%と最も多い。次いで「レジャー施設」(13.9%)、「ショッピングや街歩き」(12.6%)、「産業観光・ものづくり施設」(12.3%)と観光施設が上位を占め、「グルメ・なごやめし」は11.5%となっている。

「近畿」、「甲信越」からの宿泊者と「10～19歳」の年齢層では、次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」の割合が7割以上と高い。

全般に満足度が高いほど割合は高く、今回の訪問での満足感が次回の訪問意向につながるといえる。

表 2-2-19 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）（単位：％）

訪れてみたい 観光資源		施設 歴史的な	産業観光・も のづくり施設	施設 レジャー	グ や シ ョ ッ ピ ン グ や 街 歩 き	グ ル メ ・ な ご や め し	お祭り・ イベント	や 観 劇 鑑 賞	コ ン サ ー ト	観 戦 ス ポ ー ツ	そ の 他	特 に な し	合 計
地域・ 性別・年齢・ 旅行形態・満足度	東海 愛知県 岐阜県 三重県 静岡県 関東 近畿 北陸 甲信越 その他	11.8	6.9	13.7	10.8	7.8	9.3	7.4	7.8	2.0	43.1	120.6	
		14.3	5.4	19.6	7.1	10.7	8.9	10.7	7.1	0.0	39.3	123.1	
		9.4	5.7	5.7	11.3	7.5	7.5	9.4	7.5	0.0	47.2	111.2	
		7.3	7.3	12.2	7.3	2.4	9.8	4.9	12.2	2.4	48.8	114.6	
		14.8	9.3	16.7	16.7	9.3	11.1	3.7	5.6	5.6	38.9	131.7	
		17.6	13.8	14.9	10.6	11.7	7.4	2.7	6.4	1.1	46.3	132.5	
		26.0	19.5	15.6	15.6	14.3	7.8	5.2	9.1	2.6	27.3	143.0	
		15.0	12.5	12.5	17.5	7.5	2.5	12.5	5.0	2.5	45.0	132.5	
		30.0	25.0	5.0	20.0	25.0	10.0	15.0	5.0	0.0	25.0	160.0	
		29.2	12.4	13.3	14.2	15.0	11.5	2.7	4.4	2.7	39.8	145.2	
性別	男性	16.2	10.3	10.3	8.9	8.1	10.0	4.4	8.9	2.6	44.3	124.0	
	女性	24.8	14.6	18.9	17.9	14.9	7.3	6.6	5.3	1.3	33.8	145.4	
年齢	10～19歳	18.2	4.5	13.6	18.2	13.6	9.1	4.5	13.6	0.0	27.3	122.6	
	20～29歳	13.0	11.5	13.7	14.5	13.0	12.2	4.6	5.3	2.3	41.2	131.3	
	30～39歳	22.2	12.4	19.6	13.7	9.2	9.2	6.5	5.9	2.6	34.6	135.9	
	40～49歳	22.3	9.8	14.3	14.3	13.4	5.4	8.9	8.0	0.0	41.1	137.5	
	50～59歳	19.8	18.9	13.2	13.2	13.2	7.5	3.8	9.4	1.9	39.6	140.5	
	60～69歳	24.6	14.5	7.2	7.2	10.1	4.3	4.3	4.3	4.3	46.4	127.2	
	70歳以上	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5	19.0	4.8	9.5	0.0	38.1	123.8	
旅行形態	ひとり	19.2	12.6	11.3	8.6	11.3	7.3	4.0	6.0	2.0	45.7	128.0	
	友人・知人	13.3	9.4	12.8	16.1	15.0	13.3	6.1	6.7	2.8	35.0	130.5	
	家族	子ども連れ	24.3	17.1	22.9	21.4	7.1	2.9	1.4	10.0	1.4	32.9	141.4
		夫婦	24.5	18.1	12.8	9.6	14.9	7.4	5.3	7.4	3.2	38.3	141.5
		その他	22.4	15.8	14.5	14.5	6.6	9.2	11.8	7.9	0.0	35.5	138.2
	団体旅行	24.0	8.0	20.0	4.0	8.0	4.0	4.0	8.0	0.0	52.0	132.0	
	その他	25.0	0.0	25.0	18.8	18.8	6.3	12.5	0.0	0.0	50.0	156.4	
満足度	大変満足	27.8	20.3	19.0	22.8	15.2	10.1	3.8	6.3	0.0	26.6	151.9	
	ほぼ満足	22.9	16.0	16.0	15.6	16.4	10.3	7.3	9.5	2.3	27.5	143.8	
	普通	18.5	10.2	14.1	10.2	7.3	9.3	4.9	5.4	2.0	42.9	124.8	
	やや不満	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7	8.3	16.7	0.0	8.3	41.7	133.4	
全 体		19.0	12.3	13.9	12.6	11.5	8.6	5.5	6.7	1.9	41.1	133.1	

（複数回答）

2 - 3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 22 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

調査対象・方法

平成 21 年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成 22 年度新規開業した施設を加え、178 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成 22 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成 23 年 5 月～6 月
- 回答状況：調査対象数 178 施設
有効回答数 167 施設
（全問回答 50 施設、準全問回答 45 施設、部分回答 72 施設）
廃休業数 11 施設
新規開業数 6 施設

(2) 宿泊施設の現状

回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした 178 (平成 22 年度新規開業した 6 施設を含む) 施設のうち、調査で廃休業などが判明した 11 施設を除く 167 施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは 50 施設 (対有効回答数比 29.9%)、準全問回答 (宿泊者数の回答有り) が得られたのは 45 施設 (対有効回答数比 27.0%)、部分回答が得られたのは 72 施設 (対有効回答数比 43.1%) であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数 (規模) をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：100 室以上、50 室以上 100 室未満、50 室未満の 3 区分

表 2-3-1 回答状況 (タイプ、規模別)

回答状況 施設規模		有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	5	8	3	0	(0)	16
ホテル (登録 ホテル を除く)	100 室以上	67	21	21	25	2	(5)	69
	50 室以上 100 室未満	27	10	7	10	2	(1)	29
	50 室未満	17	4	2	11	2	(0)	19
	計	111	35	30	46	6	(6)	117
旅館		40	10	7	23	5	(0)	45
全 体		167	50	45	72	11	(6)	178
回収率 : (%)		93.8	-	-	-	6.2	-	100.0
回答状況 : (%)		100.0	29.9	27.0	43.1	0.0	(3.6)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 16 施設、登録ホテルを除くホテルは 111 施設、旅館は 40 施設となっている。また、室数の合計は 21,102 室、収容人数の合計は 29,592 人で、昨年度調査時点より合計施設数では 11 施設の減少、部屋数では 615 室、収容人数では 270 人の減少となった。

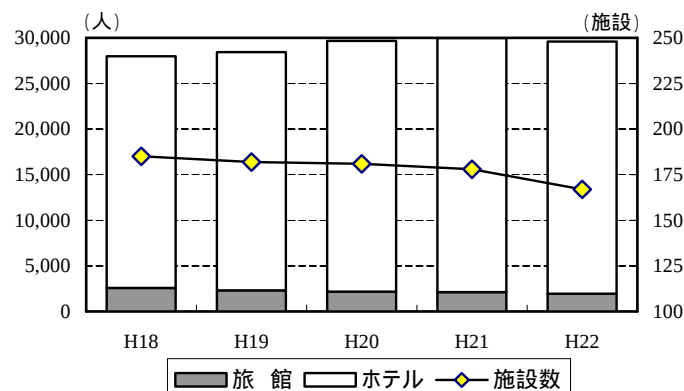
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模 室・人員		回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	55	4,901	7,633	4,918	7,688
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	67	23	81	12,903	16,205	12,926	16,286
	50 室以上 100 室未満	27	26	85	2,043	2,788	2,069	2,873
	50 室未満	17	54	157	452	632	506	789
	計	111	103	323	15,398	19,625	15,501	19,948
旅 館		40	591	1,809	92	147	683	1,956
全 体		167	711	2,187	20,391	27,405	21,102	29,592

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 18 年度		平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度	
	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数	室 数	収容人数
登録ホテル	5,974	8,963	5,952	8,995	5,952	9,054	5,952	9,064	4,918	7,688
ホ テ ル	13,305	16,446	13,894	17,154	14,753	18,449	15,006	18,678	15,501	19,948
旅 館	945	2,568	844	2,317	790	2,174	759	2,120	683	1,956
全 体	20,224	27,977	20,690	28,466	21,495	29,677	21,717	29,862	21,102	29,592
施 設 数	185		182		181		178		167	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

年間宿泊者数

ア：宿泊者数

平成 22 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 596 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 164 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 415 万人泊、旅館が約 17 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 461 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 61 万人泊、実人数は約 40 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 8.6% が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.5 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、旅館が宿泊者一人あたりの宿泊数 1.9 泊と最も多く、次いで、登録ホテルが 1.8 泊、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.3 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数 (人泊)	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数 (人泊)	全施設の 年間総実人数 (人)	うち全施設の 年間外国人 総実人数 (人)
登録ホテル		1,643,650	323,799	1,239,312	175,499
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	3,481,818	261,136	2,750,636	204,992
	50 室以上 100 室未満	525,883	9,992	429,646	6,695
	50 室未満	141,423	8,768	99,279	6,304
	計	4,149,124	279,896	3,279,561	217,991
旅 館		167,793	5,705	90,105	3,018
全 体		5,960,567	609,400	4,608,978	396,508

イ：宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数は平成 19 年度をピークとし減少傾向にあるが、年間総実人数と総延べ宿泊者数は昨年度より増加している。

年間定員稼働率については、平成 18 年度以降低下傾向にあるが、昨年度より 3 ポイント増加している。

外国人宿泊者数については、総実人数は昨年度に比べ 5 万人程度の増加で、総延べ宿泊者数は 11 万人増えており、外国人一人あたりの宿泊数は 0.1 日多くなっている。外国人宿泊者数が増加した主な理由については、10 月に C O P 10 が開催されて、海外から多くの国際会議参加者が訪れたことが寄与している。

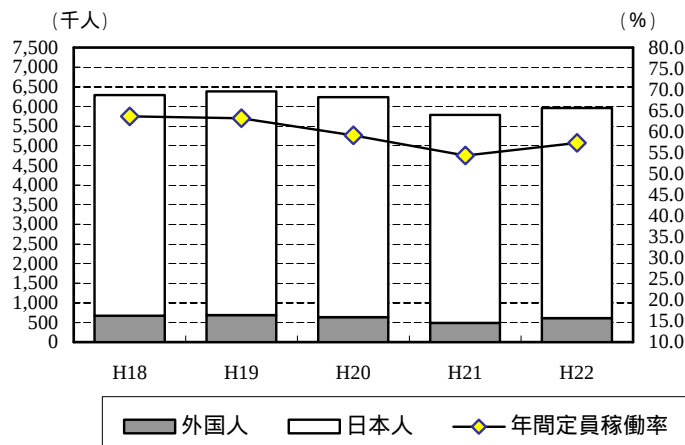
表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

年 度		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
区 分	年間総実人数（人）	4,752,837	4,845,349	4,719,502	4,604,248	4,608,978
	うち外国人	286,704	378,730	377,532	344,847	396,508
年間総延べ宿泊者数（人泊）	年間総延べ宿泊者数（人泊）	6,288,947	6,384,202	6,238,020	5,786,316	5,960,567
	うち外国人	675,238	688,805	634,900	494,002	609,400
年間定員稼働率（％）		63.6	63.2	59.1	54.3	57.3

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成 22 年度の営業日数（通年営業施設は 365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a . 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として 57.3% の値を得た。区分別にみると、登録ホテル及び 100 室以上のホテルでは 60% 前後であるが、旅館では 23.5% とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり施設 の 1 日収容可 能人数 (人)	回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		13	1,353,615	6,332	2,311,180	58.6
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	42	2,239,057	10,465	3,684,507	60.8
	50 室以上 100 室未満	17	316,132	1,744	621,107	50.9
	50 室未満	6	59,701	333	121,545	49.1
	計	65	2,614,890	12,542	4,427,159	59.1
旅館		17	74,899	873	318,645	23.5
全 体		95	4,043,404	19,747	7,056,984	57.3

注： = × 365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

= ÷

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,917,163 人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数	回答なし施設の 1 日収容 可能人数	回答なし施設の 年間収容 可能人数	回答あり施設 で求めた 稼働率	回答なし施設の 年間延べ 宿泊者数の 推計値
		(施設)	(人)	(人)	(%)	(人泊)
登録ホテル		3	1,356	494,940	58.6	290,035
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	25	5,821	2,044,015	60.8	1,242,761
	50 室以上 100 室未満	10	1,129	412,085	50.9	209,751
	50 室未満	11	456	166,440	49.1	81,722
	計	46	7,406	2,622,540		1,534,234
旅 館		23	1,083	395,295	23.5	92,894
全 体		72	9,845	3,512,775		1,917,163

注： $\text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値} = \text{回答なし施設の年間収容可能人数} \times \text{稼働率}$ （年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$\text{稼働率} = \frac{\text{稼働日数}}{\text{年間日数}} \times 100$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（5,960,567 人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		回答あり施設		回答なし施設		全施設	
		回答数	年間延べ 宿泊者数	回答数	年間延べ 宿泊者数	回答数	年間総延べ 宿泊者数
		(施設)	(人泊)	(施設)	(人泊)	(施設)	(人泊)
登録ホテル		13	1,353,615	3	290,035	16	1,643,650
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	42	2,239,057	25	1,242,761	67	3,481,818
	50 室以上 100 室未満	17	316,132	10	209,751	27	525,883
	50 室未満	6	59,701	11	81,722	17	141,423
	計	65	2,614,890	46	1,534,234	111	4,149,124
旅 館		17	74,899	23	92,894	40	167,793
全 体		95	4,043,404	72	1,917,163	167	5,960,567

注： $\text{全施設の年間総延べ宿泊者数} = \text{回答あり施設の年間延べ宿泊者数} + \text{回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値}$

ｂ．全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（4,608,978 人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 実人数比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の年間 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		5	465,188	617,319	75.4	1,643,650	1,239,312
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	21	903,266	1,143,126	79.0	3,481,818	2,750,636
	50 室以上 100 室未満	10	154,817	189,401	81.7	525,883	429,646
	50 室未満	4	33,806	48,128	70.2	141,423	99,279
	計	35	1,091,889	1,380,655		4,149,124	3,279,561
旅 館		10	20,042	37,312	53.7	167,793	90,105
全 体		50	1,577,119	2,035,286		5,960,567	4,608,978

注： = ÷

= ×

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ｃ．全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の年間 延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)
登録ホテル		11	236,633	1,199,891	19.7	1,643,650	323,799
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	35	150,935	2,023,750	7.5	3,481,818	261,136
	50 室以上 100 室未満	11	3,443	178,322	1.9	525,883	9,992
	50 室未満	6	3,673	59,701	6.2	141,423	8,768
	計	52	158,051	2,261,773		4,149,124	279,896
旅館		11	2,194	64,582	3.4	167,793	5,705
全 体		74	396,878	3,526,246		5,960,567	609,400

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (人)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		5	69,732	128,583	54.2	323,799	175,499
ホテル (登録ホテル を除く)	100 室以上	19	57,677	73,429	78.5	261,136	204,992
	50 室以上 100 室未満	8	1,498	2,235	67.0	9,992	6,695
	50 室未満	5	1,756	2,441	71.9	8,768	6,304
	計	32	60,931	78,105		279,896	217,991
旅館		5	291	550	52.9	5,705	3,018
全 体		42	130,954	207,238		609,400	396,508

注： $\div$
 $\times$

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 94 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 87 施設であり、その割合は 92.6%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 6 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数を見ると、中国が全体の 29.7%（69,059 人）と最も多く、台湾 23.9%（55,553 人）韓国 11.5%（26,783 人）米国 9.8%（22,715 人）タイ 8.3%（19,335 人）が 8～11%で続き、香港 3.8%（8,934 人）ドイツ 2.4%（5,615 人）インドネシア 2.2%（5,068 人）シンガポール 1.8%（4,119 人）となっている。

施設分類別にみると、登録ホテルとホテル（登録ホテルを除く）でも中国第 1 位、台湾第 2 位であるが、旅館は中国第 1 位、韓国第 2 位となっている。また、100 室以上のホテルを利用する中国、台湾、韓国の団体客が多くなっている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）				旅 館	全 体	
		100室 以上	50室以上 100室 未満	50室未満	計		人数 （人）	割合 （%）
回答数（施設）	9	46	16	6	68	17	94	
中国	21,438	46,258	857	206	47,321	300	69,059	29.7
香港	4,156	4,652	108	10	4,770	8	8,934	3.8
台湾	18,086	37,214	155	33	37,402	65	55,553	23.9
米国	16,007	5,926	559	99	6,584	124	22,715	9.8
タイ	11,753	7,451	73	39	7,563	19	19,335	8.3
韓国	14,580	11,568	355	117	12,040	163	26,783	11.5
ドイツ	4,638	768	34	116	918	59	5,615	2.4
インドネシア	5,000	50	1	0	51	17	5,068	2.2
シンガポール	2,765	1,282	24	11	1,317	37	4,119	1.8
ベトナム	3,500	35	0	0	35	0	3,535	1.5
英国	1,814	771	100	46	917	38	2,769	1.2
フランス	1,088	1,177	39	66	1,282	108	2,478	1.1
オーストラリア	1,313	852	33	27	912	134	2,359	1.0
カナダ	769	954	14	16	984	59	1,812	0.8
マレーシア	1,234	53	5	1	59	0	1,293	0.6
ロシア	111	412	0	5	417	0	528	0.2
インド	57	95	10	2	107	0	164	0.1
オランダ	127	0	3	0	3	15	145	0.1
ニュージーランド	0	82	1	0	83	0	83	0.0
イタリア	0	47	13	0	60	24	84	0.0
フィリピン	0	2	24	1	27	35	62	0.0
スウェーデン	0	44	0	0	44	2	46	0.0
スイス	0	5	7	0	12	34	46	0.0
アルゼンチン	0	36	2	0	38	0	38	0.0
メキシコ	0	17	10	0	27	10	37	0.0
南アフリカ	0	31	0	0	31	0	31	0.0
ザンビア	0	29	0	0	29	0	29	0.0
ブラジル	0	18	10	0	28	0	28	0.0
スペイン	0	6	0	0	6	22	28	0.0
スコットランド	0	0	0	0	0	20	20	0.0
ペルー	0	11	0	0	11	0	11	0.0
ベルギー	0	0	0	0	0	8	8	0.0
フィンランド	0	0	0	0	0	7	7	0.0
ガンビア	0	0	7	0	7	0	7	0.0
イラン	0	0	0	0	0	6	6	0.0
ナイジェリア	0	5	0	0	5	0	5	0.0
デンマーク	0	2	2	0	4	0	4	0.0
ブルUNDI	0	0	4	0	4	0	4	0.0
コスタリカ	0	4	0	0	4	0	4	0.0
モロッコ	0	0	3	0	3	0	3	0.0
クロアチア	0	2	0	0	2	0	2	0.0
セネガル	0	0	2	0	2	0	2	0.0
ベナン	0	2	0	0	2	0	2	0.0
スリランカ	0	2	0	0	2	0	2	0.0
ヨルダン	0	0	0	1	1	0	1	0.0
ネパール	0	0	1	0	1	0	1	0.0
トルコ	0	0	1	0	1	0	1	0.0
ウズベキスタン	0	0	1	0	1	0	1	0.0
東ティモール	0	0	1	0	1	0	1	0.0
グアテマラ	0	0	1	0	1	0	1	0.0
スリナム	0	1	0	0	1	0	1	0.0
バングラデシュ	0	0	1	0	1	0	1	0.0
合 計	108,436	119,864	2,461	796	123,121	1,314	232,871	100.0

修学旅行団体の受入状況

ア：修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 22 年度に修学旅行を受け入れた宿泊施設は 6 施設（対有効回答 167 施設比 3.6%）である。学校数は 39 校、宿泊者数は 2,969 人であり、昨年度（40 校、2,697 人）に比べると、学校数はほぼ同じで、宿泊者数は 272 人増加している。

宿泊施設分類別にみると、旅館（12 校減、532 人減）の減少が目立つ。

学校分類別では、その他（8 校増、1,067 人増）、中学校（5 校増、629 人増）が増加しているものの、小学校（14 校減、1,547 人減）の減少が著しい。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数	学校数	宿泊者数	1 校あたり修学 旅行宿泊者数
		（施設）	（校）	（人）	（人）
登録ホテル		2	13	1,285	99
ホテル （登録ホテルを除く）	100 室以上	3	13	1,129	87
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	0	0	0	0
	計	3	13	1,129	87
旅館		1	13	555	43
全 体		6	39	2,969	76

注： = ÷

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	18 年度		19 年度		20 年度		21 年度		22 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	26	1,464	25	1,411	21	1,081	22	1,814	8	267
中学校	6	371	9	696	12	939	5	149	10	778
高 校	16	1,028	14	2,053	8	730	6	549	6	672
その他	25	3,106	11	1,005	19	1,682	7	185	15	1,252
全 体	73	5,969	59	5,165	60	4,432	40	2,697	39	2,969

イ：地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 39 校中 14 校（35.9％）が近畿地域から、10 校（25.6％）が関東・甲信越地域からの修学旅行団体であった。以下東海・北陸地域 5 校（12.8％）、北海道・東北地域 2 校（5.1％）、中国・四国地域 1 校（2.5％）、九州・沖縄地域 1 校（2.5％）であった。昨年度と比較すると、関東・甲信越地域が 2 校、近畿地域が 2 校増加しているものの、東海・北陸地域が 6 校、中国・四国地域が 5 校、北海道・東北地域が 1 校減少している。また、海外からは昨年度なしから 6 校と増加し、中国が 4 校、台湾が 1 校、マレーシアが 1 校となっている。

学校分類別では、その他（15 校、38.5％）が最も多く、次いで中学校（10 校、25.6％）、小学校（8 校、20.5％）、高校（6 校、15.4％）となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	2			2	
		関東・甲信越	5		1	1	3
		東海・北陸	3		3		
		近畿	3	2	1		
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	0				
		海外	0				
		計	13	2	4	2	3
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	3			1	2
		東海・北陸	1			1	
		近畿	3				3
		中国・四国	0				
		九州・沖縄	0				
		海外	6	1	4	1	
		計	13	1	4	2	5
旅館		北海道・東北	0				
		関東・甲信越	2				2
		東海・北陸	1				1
		近畿	8	5			3
		中国・四国	1				1
		九州・沖縄	1		1		
		海外	0				
		計	13	5	1		4
全 体		北海道・東北	2	0	0	2	0
		関東・甲信越	10	0	1	2	7
		東海・北陸	5	0	3	1	1
		近畿	14	7	1	0	6
		中国・四国	1	0	0	0	1
		九州・沖縄	1	0	1	0	0
		海外	6	1	4	1	0
		計	39	8	10	6	15

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					2	300			2	300
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県										
宮城県										
福島県										
東京都			1	65			2	480	3	545
神奈川県					1	217			1	217
千葉県							2	82	2	82
埼玉県										
群馬県							2	82	2	82
栃木県										
茨城県										
新潟県										
長野県							1	90	1	90
山梨県					1	40			1	40
愛知県										
岐阜県			3	140					3	140
三重県										
静岡県					1	75	1	37	2	112
福井県										
石川県										
富山県										
滋賀県										
京都府	7	227					2	105	9	332
大阪府			1	80			1	26	2	106
奈良県										
和歌山県										
兵庫県							3	340	3	340
鳥取県										
島根県										
岡山県							1	10	1	10
広島県										
山口県										
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県										
大分県			1	158					1	158
宮崎県										
熊本県										
佐賀県										
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
中国			3	295	1	40			4	335
台湾	1	40							1	40
アジア			1	40					1	40
合 計	8	267	10	778	6	672	15	1,252	39	2,969

2 - 4 全国から見た名古屋の観光に関する評価 (名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む 18～69 歳の男女 1,000 名とした（名古屋市を除く）。

調査日時等

平成 23 年 2 月 19 日（土）～ 21 日（月）

サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた（下表参照）。

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男 性							女 性							合 計
	男性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 以上	女性 計	19歳 以下	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 以上	
東海	62	0	8	10	15	16	13	58	1	9	10	11	13	14	120
関東	178	4	19	39	35	37	44	163	5	23	33	34	29	39	341
近畿	87	3	15	22	17	14	16	77	2	8	10	14	19	24	164
北陸・甲信越	35	1	15	6	5	4	4	29	1	5	6	8	6	3	64
東北・北海道	52	3	7	16	11	9	6	62	2	8	18	12	11	11	114
中国・四国	40	1	6	6	8	9	10	47	1	12	10	5	10	9	87
九州・沖縄	46	2	15	9	5	8	7	64	2	17	18	11	10	6	110
合 計	500	14	85	108	96	97	100	500	14	82	105	95	98	106	1,000

注：東 海 - 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

関 東 - 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県

近 畿 - 滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

北 陸 - 福井県・石川県・富山県

甲信越 - 新潟県・長野県・山梨県

東 北 - 青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

中 国 - 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四 国 - 香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九 州 - 福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

名古屋への訪問状況

1) 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋に訪れたことがある割合は30.9%である。訪問回数としては、「1回」が12.4%と多く、以下「11回以上」(5.6%)、「2回」(5.4%)、「3～5回」(5.1%)と続いている。前回調査(平成20年7月実施)と比較すると、訪れた割合は前回(44.4%)より13.5ポイント減少しており、平成17年に愛・地球博が開催されたことが大きな要因である。

性別にみると、男性では訪れた割合は33.4%で、女性より5.0ポイント高い。

年齢別にみると、訪れた割合は30歳代(35.2%)と50歳代(33.9%)が相対的に高い。

地域別にみると、「東海」では8割が訪れており、うち「11回以上」(40.1%)が4割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは、「近畿」(34.7%)と「北陸・甲信越」(34.5%)で、以下、「関東」(27.3%)、「九州・沖縄」(16.3%)、「中国・四国」(14.9%)、「東北・北海道」(8.8%)と続いている。

訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

図 2-4-1 過去5年間の名古屋への訪問回数

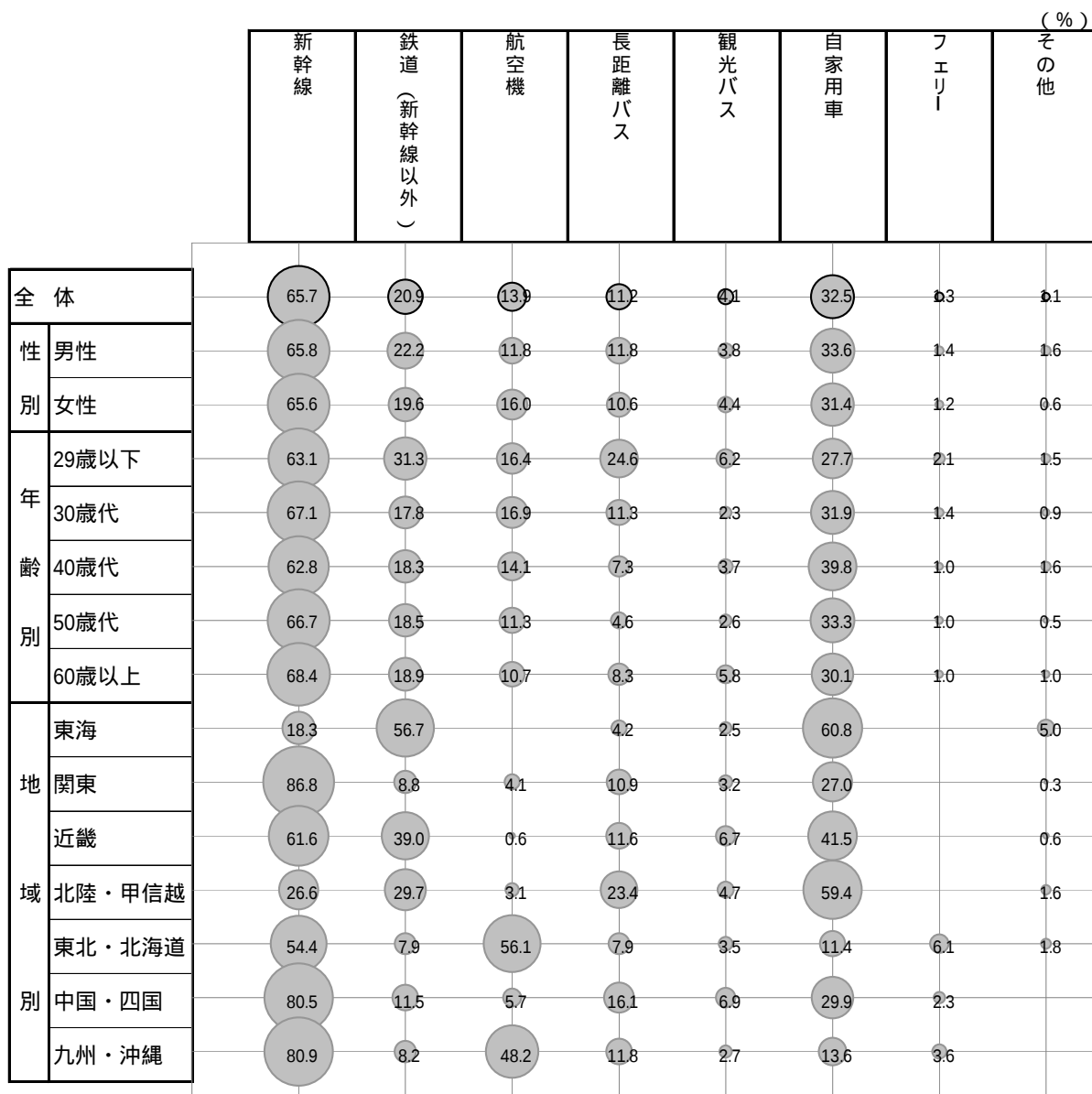


2) 名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が65.7%と最も多く、次いで「自家用車」が32.5%で、以下、「鉄道（新幹線以外）」（20.9%）、「航空機」（13.9%）、「長距離バス」（11.2%）となっている。前回調査と比較すると、順位は全く同じであるが、高速道路の整備や料金割引により「自家用車」（前回 27.7%）や「長距離バス」（同 8.7%）などの割合が増えている。

地域別にみると、「東海」では「自家用車」と「鉄道（新幹線以外）」の割合が高い。「関東」、「近畿」、「中国・四国」、「九州・沖縄」では「新幹線」、「北陸・甲信越」では「自家用車」の割合がそれぞれ最も高く、「東北・北海道」では「航空機」と「新幹線」の割合が高くなっている。「九州・沖縄」では九州新幹線の全線開通効果で「新幹線」の割合（前回 62.7%）が18.2ポイント増えている。

図 2-4-2 名古屋への交通機関（複数回答）



3) 名古屋への訪問目的

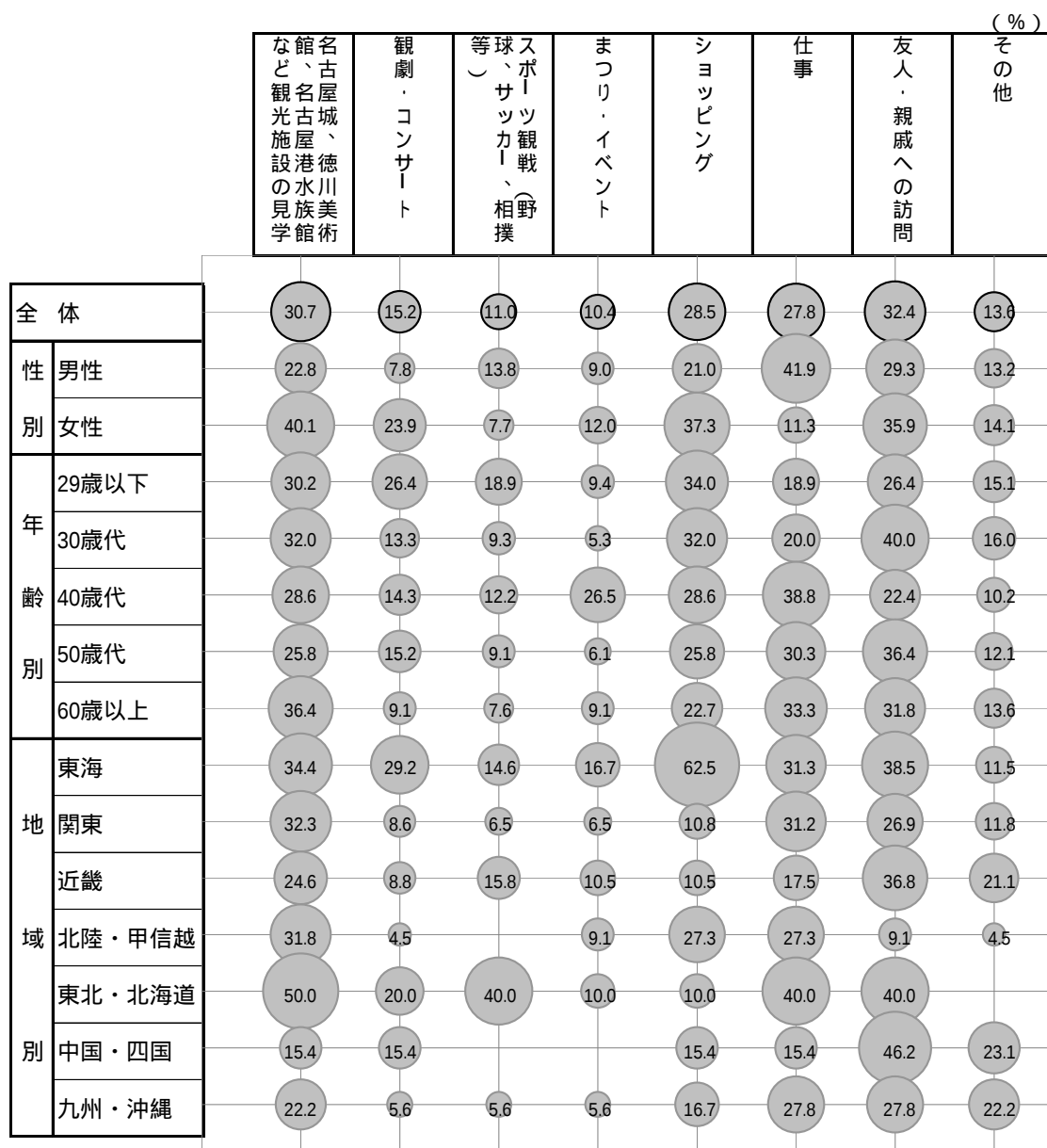
過去5年以内に名古屋を訪れた方(309人)の訪問目的としては、「友人・親戚への訪問」(32.4%)や「観光施設の見学」(30.7%)、「ショッピング」(28.5%)、「仕事」(27.8%)と多岐にわたっている。前回調査と比較すると上位2項目の割合に大きな変化はみられないが、「ショッピング」の割合(前回 19.6%)は8.9ポイント増えている。

性別にみると、男性は「仕事」(41.9%)が多く、女性は「観光施設の見学」(40.1%)や「ショッピング」(37.3%)、「友人・親戚への訪問」(35.9%)の割合が高い。

年齢別にみると、29歳以下では「ショッピング」、30歳代と50歳代では「友人・親戚への訪問」、40歳代では「仕事」、60歳以上では「観光施設の見学」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

地域別にみると、「東海」では「ショッピング」が62.5%と多い。

図 2-4-3 名古屋への訪問目的(複数回答)



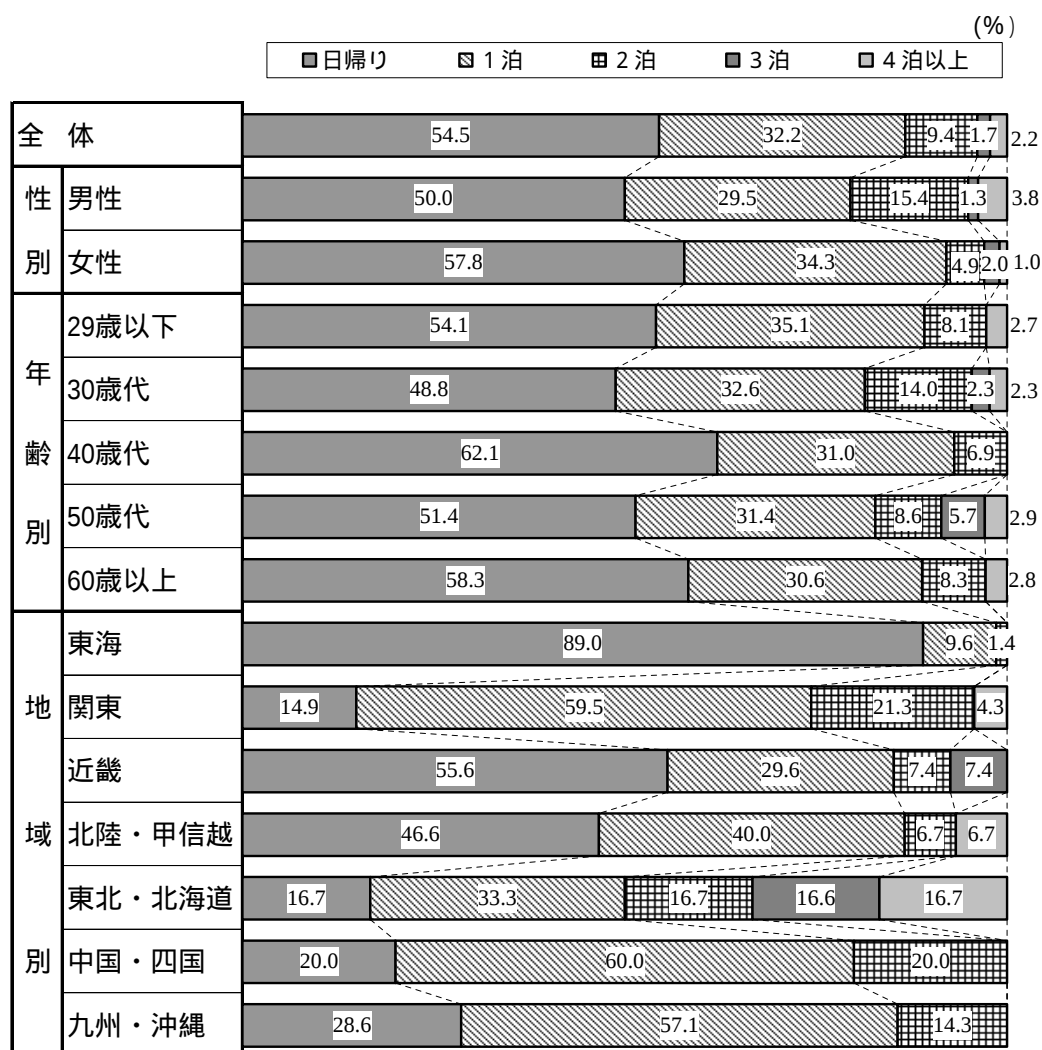
4) 名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋に訪れた方（前ページ 図 2-4-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 180 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」が 54.5%と過半数を占め、「1泊」が 32.2%、「2泊」が 9.4%となっている。前回調査と比較すると、「日帰り」の割合（前回 47.2%）が 7.3 ポイント増えている。

「日帰り」の割合は、女性や 40 歳代で高い。

地域別にみると、「東海」では「日帰り」が 9 割を占めている。一方、「近畿」と「北陸・甲信越」では日帰り、宿泊がほぼ半々で、「関東」と「東北・北海道」「中国・四国」では 8 割前後、「九州・沖縄」では 7 割が宿泊している。

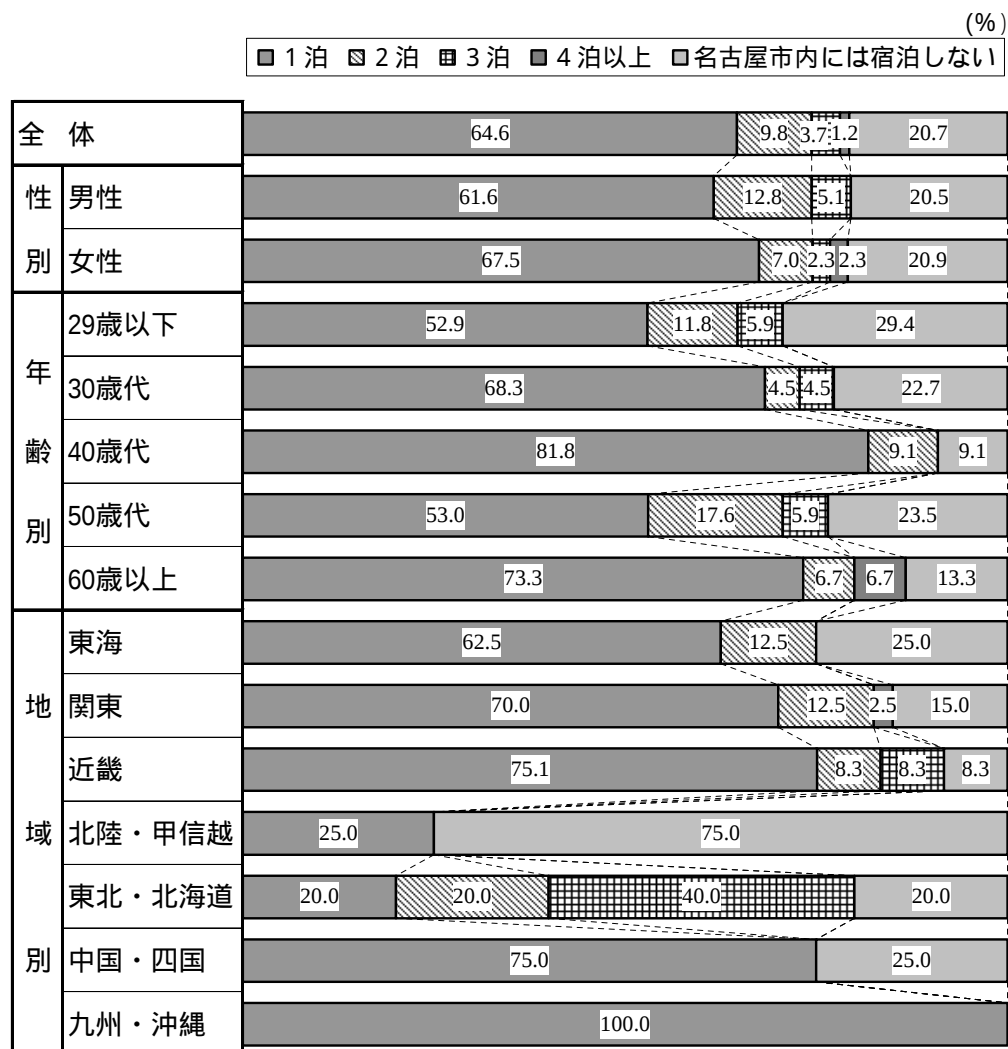
図 2-4-4 名古屋への訪問日程



5) 名古屋市内での宿泊数

観光等が目的で名古屋に訪れた方（180人）のうち、1泊以上の日程で名古屋に訪れた方（82人）の名古屋市内での宿泊数は、「1泊」が64.6%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は20.7%となっている。前回調査と比較すると「名古屋市内には宿泊しない」の割合（前回13.3%）が7.4ポイント増えているのが気になる。

図 2-4-5 名古屋市内での宿泊数



6) 名古屋への旅行形態

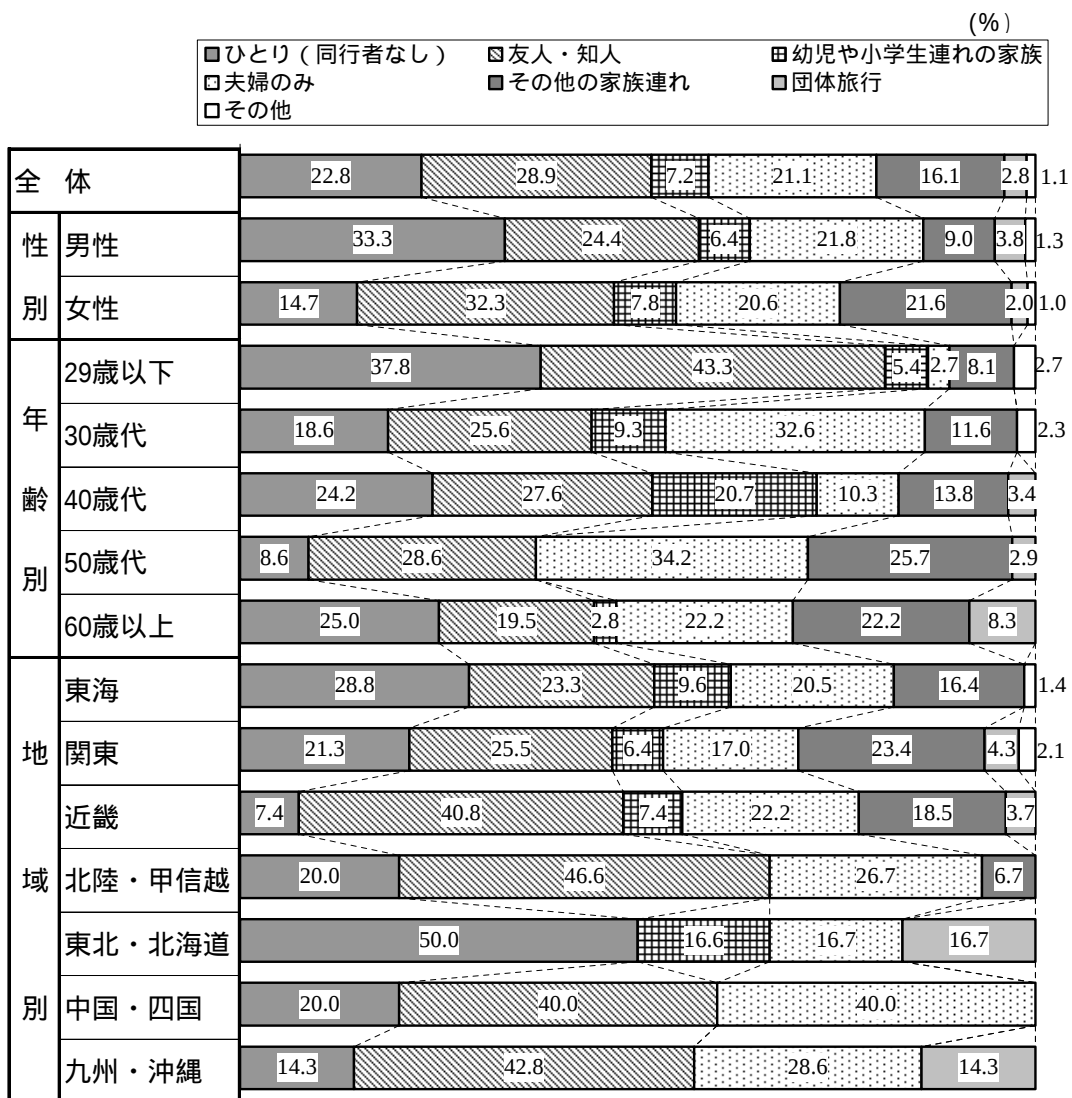
観光等が目的で名古屋を訪れた方（180人）の直近の訪問は、「友人・知人」が28.9%と最も多く、次いで「ひとり（同行者なし）」（22.8%）、「夫婦のみ」（21.1%）となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は44.4%である。前回調査と比べても大きな差異はみられない。

性別にみると、男性では「ひとり（同行者なし）」（33.3%）の割合が、女性では「友人・知人」（32.3%）の割合が最も高くなっている。

年齢別にみると、29歳以下と40歳代では「友人・知人」、30歳代と50歳代では「夫婦のみ」、60歳以上では「ひとり（同行者なし）」の割合がそれぞれ最も高い。また、家族連れの割合は50歳代では6割を占めている。

地域別にみると、「北陸・甲信越」と「九州・沖縄」、「近畿」では「友人・知人」の割合が4割を超える。一方、「東海」と「東北・北海道」では「ひとり（同行者なし）」が最も多い。

図 2-4-6 名古屋への旅行形態



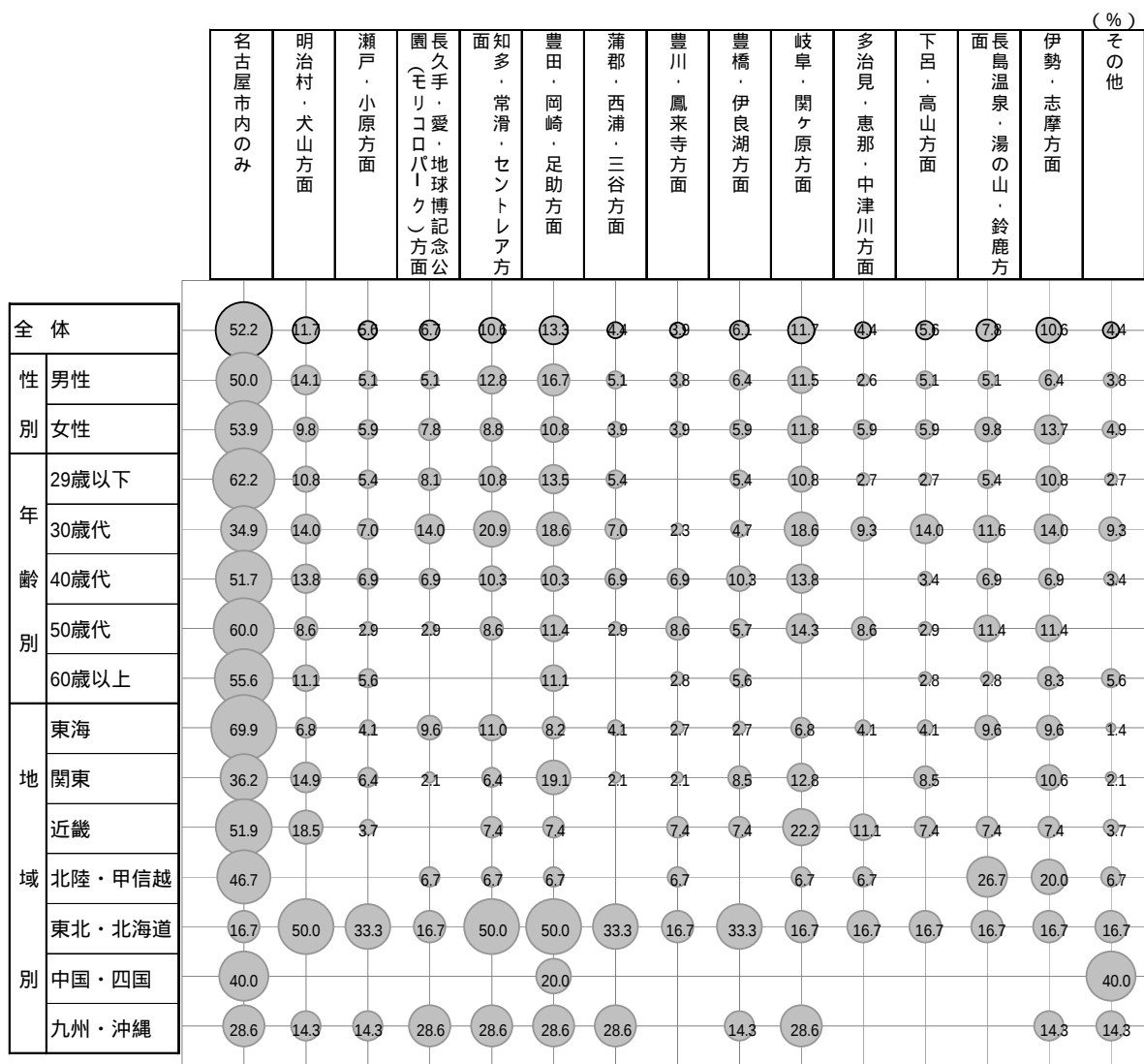
7) 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋を訪れた方（180人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は47.8%であった。訪問地としては、「豊田・岡崎・足助方面」（13.3%）が最も多く、「明治村・犬山方面」（11.7%）「岐阜・関ヶ原方面」（11.7%）「知多・常滑・セントレア方面」（10.6%）「伊勢・志摩方面」（10.6%）と続いている。前回調査と比較すると「名古屋市内のみ」（前回45.3%）が7ポイント増えている。日帰り（P67 図2-4-4）客が増えたためといえる。

名古屋市以外にも訪問した割合は、30歳代で65.1%と高く、「知多・常滑・セントレア方面」や「豊田・岡崎・足助方面」、「岐阜・関ヶ原方面」にもそれぞれ2割程度が訪問している。一方、29歳以下と50歳代では「名古屋市内のみ」が6割を占めている。

地域別にみると、「東北・北海道」、「九州・沖縄」、「関東」、「中国・四国」など遠方からの訪問者では、名古屋市以外にも訪問した割合が6～8割と高い。訪問地としては、「関東」では「豊田・岡崎・足助方面」、「近畿」では「岐阜・関ヶ原」、「北陸・甲信越」では「長島温泉・湯の山・鈴鹿方面」や「伊勢・志摩方面」が高くなっている。

図2-4-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）



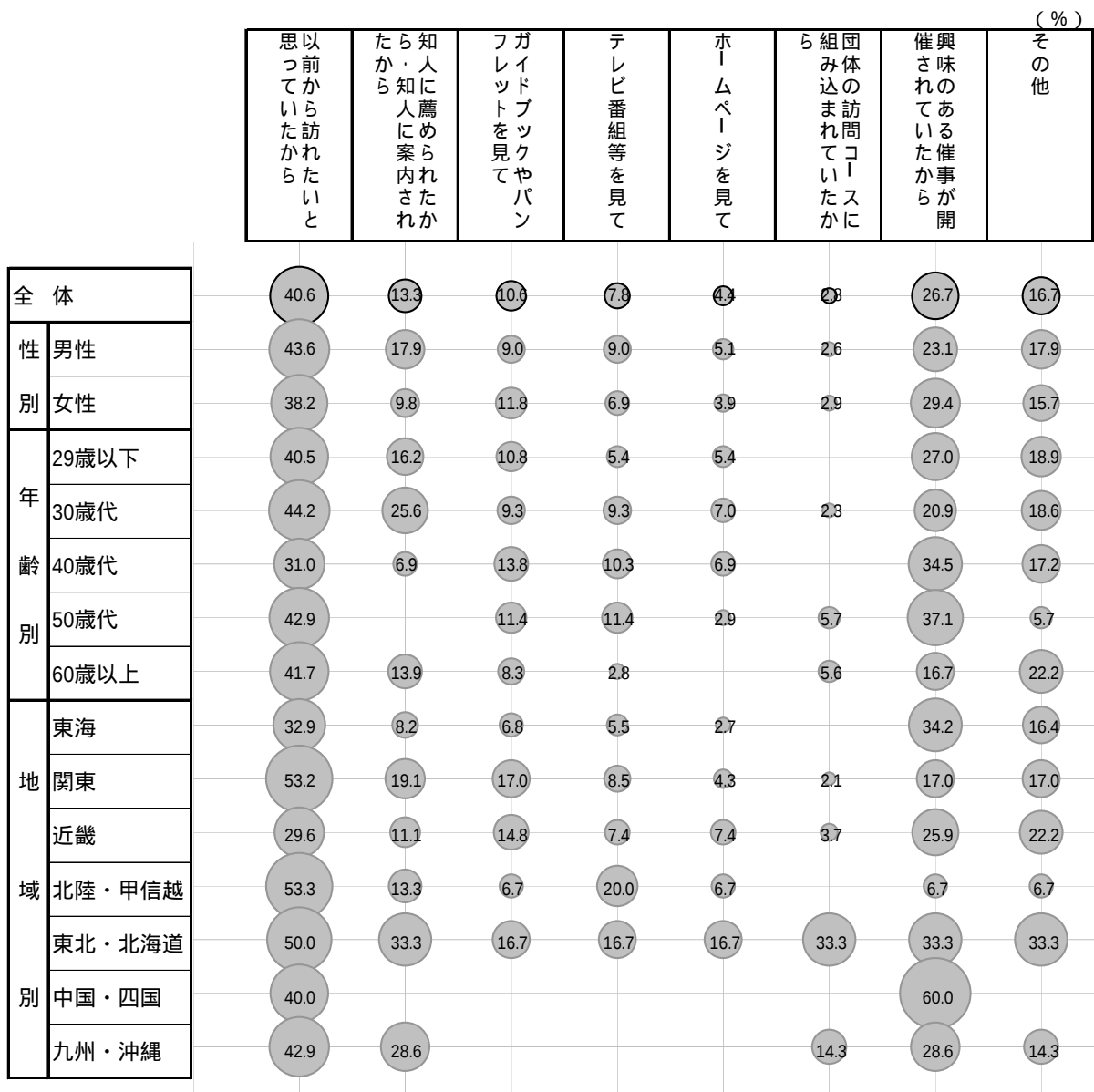
8) 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋に訪れた方(180人)のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が40.6%で最も多く、次いで「興味のある催事が開催されていたから」が26.7%で、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」(13.3%)と「ガイドブックやパンフレットを見て」(10.6%)は1割台である。前回調査と比べても、上位の項目や順位は同じである。

40歳代と「東海」・「中国・四国」地域からの方では「興味のある催事が開催されていたから」が最も多くなっている。

また、「ガイドブック・パンフレット」や「テレビ番組」と比べて「ホームページ」の割合はまだ低く、情報ソースとはなっているが、行動を起こす要因にまではなっていないようである。

図2-4-8 名古屋への訪問のきっかけ(複数回答)



名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

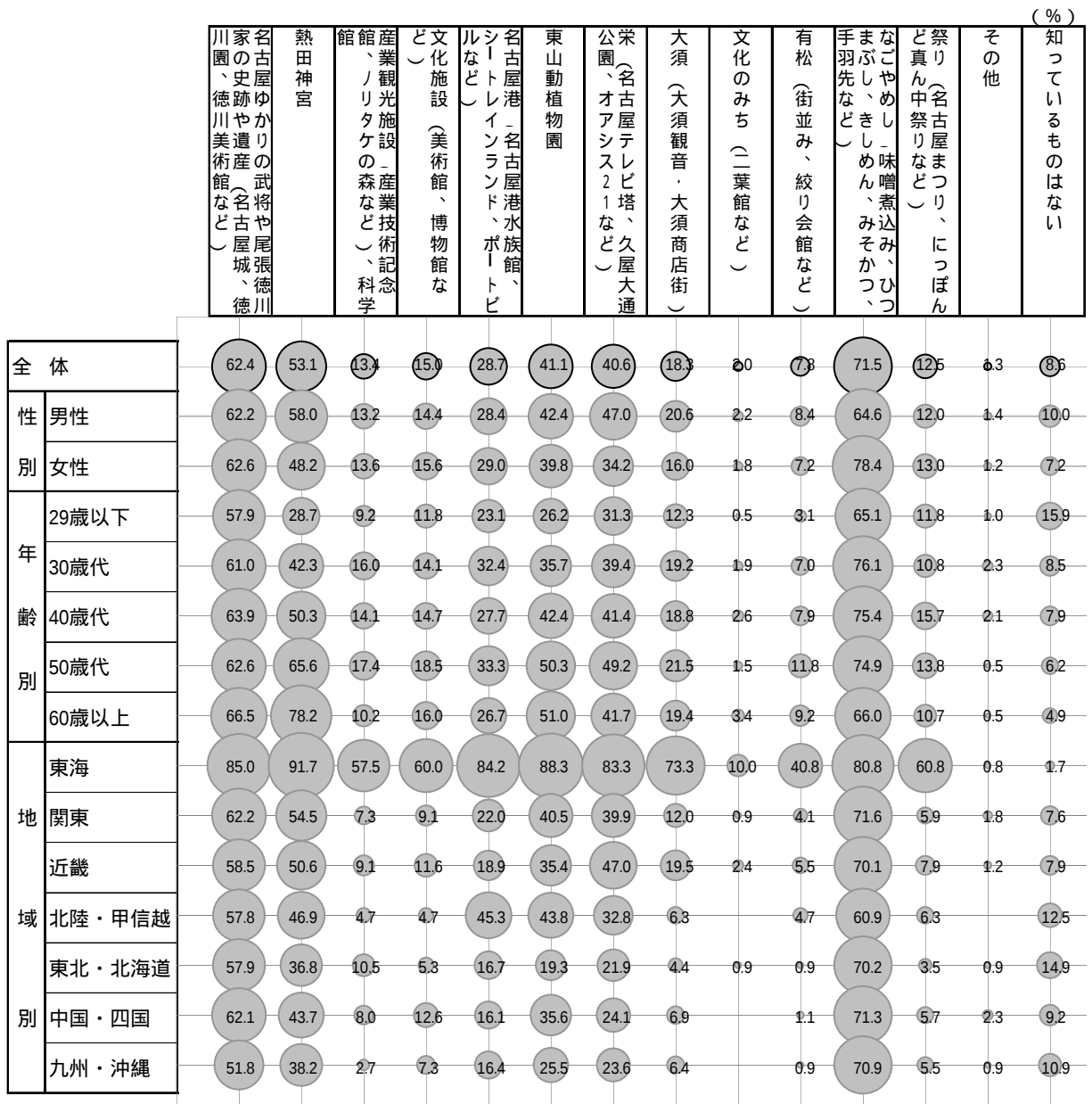
1) 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「なごやめし」(71.5%)の割合が最も高い。また、「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(62.4%)、「熱田神宮」(53.1%)の認知度も5~6割と高く、「東山動植物園」や「栄」の認知度も4割と比較的高い。前回調査と比べても、上位の順位は同じである。

60歳以上や「東海」では「熱田神宮」が最も高くなっている。

地域別に上位3項目以外をみると、「関東」で「東山動植物園」、「近畿」で「栄」、「北陸・甲信越」で「名古屋港」と「東山動植物園」がそれぞれ4割以上みられるものの、このほかの項目は、「東海」以外の地域では認知度は低い。

図2-4-9 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

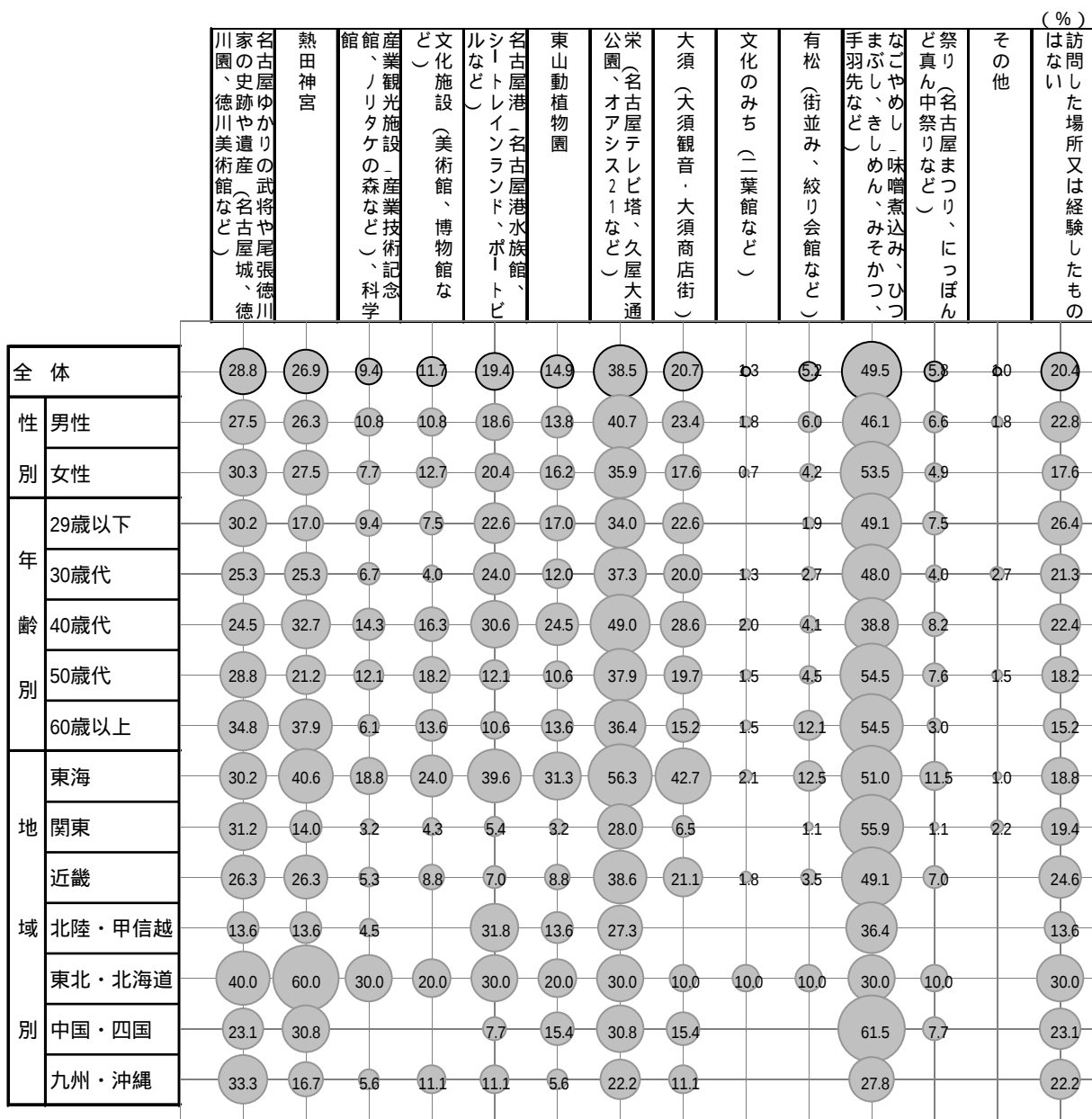


2) 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れた方(309人)が訪問した場所又は経験したものとしては、「なごやめし」が49.5%と最も高く、次いで「栄」が38.5%であり、以下、「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(28.8%)、「熱田神宮」(26.9%)、「大須」(20.7%)、「名古屋港」(19.4%)と続いており、「訪問した場所又は経験したものはなし」割合は20.4%である。前回調査と比較すると、「栄」や「史跡・遺産」、「熱田神宮」、「大須」はそれぞれ数ポイント増えている。

40歳代や「東海」では「栄」、「東北・北海道」では「熱田神宮」、「九州・沖縄」では「史跡・遺産」がそれぞれ最も多く、その他の階層では「なごやめし」が最も多くなっている。

図2-4-10 名古屋の観光資源の訪問・体験状況(複数回答)



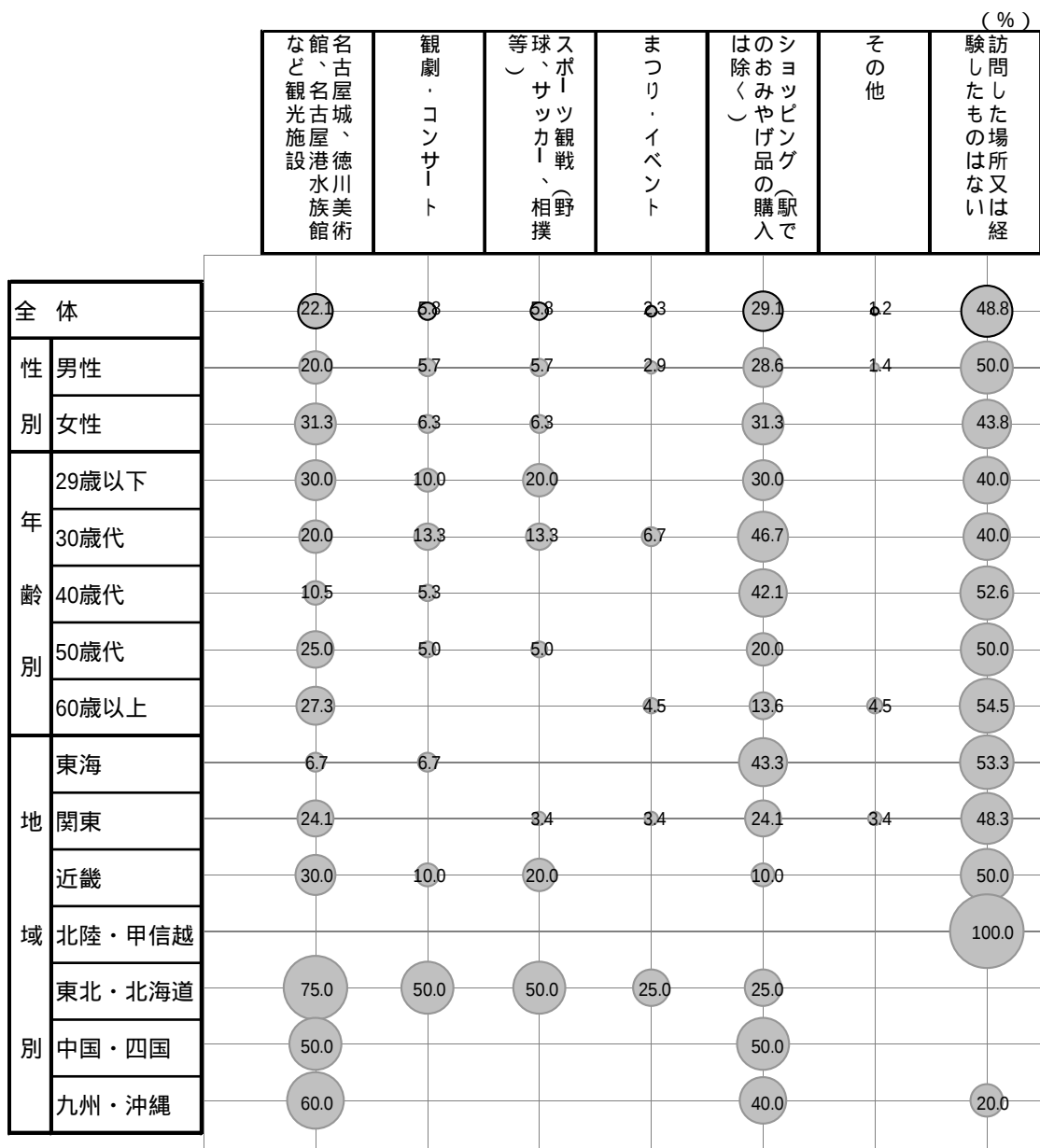
3) 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋を訪れた方(86人)の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがあ割合は51.2%と半数である。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く)」が29.1%、「観光施設」が22.1%となっている。

訪問した場所又は経験したものがあ割合は、女性や30歳代以下の若い世代では6割程度と高い。

地域別にみると、「東北・北海道」や「中国・四国」、「九州・沖縄」など遠方からの訪問者では、ほとんどが観光施設の訪問やショッピングをあわせて行っている。一方、サンプル数は6人と少ないが「北陸・甲信越」では全員が「ない」と回答しており、東海北陸自動車道全線開通により名古屋を近くに感じた裏返し行動とも考えられる。

図2-4-11 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況(複数回答)



(3) 名古屋に対する評価

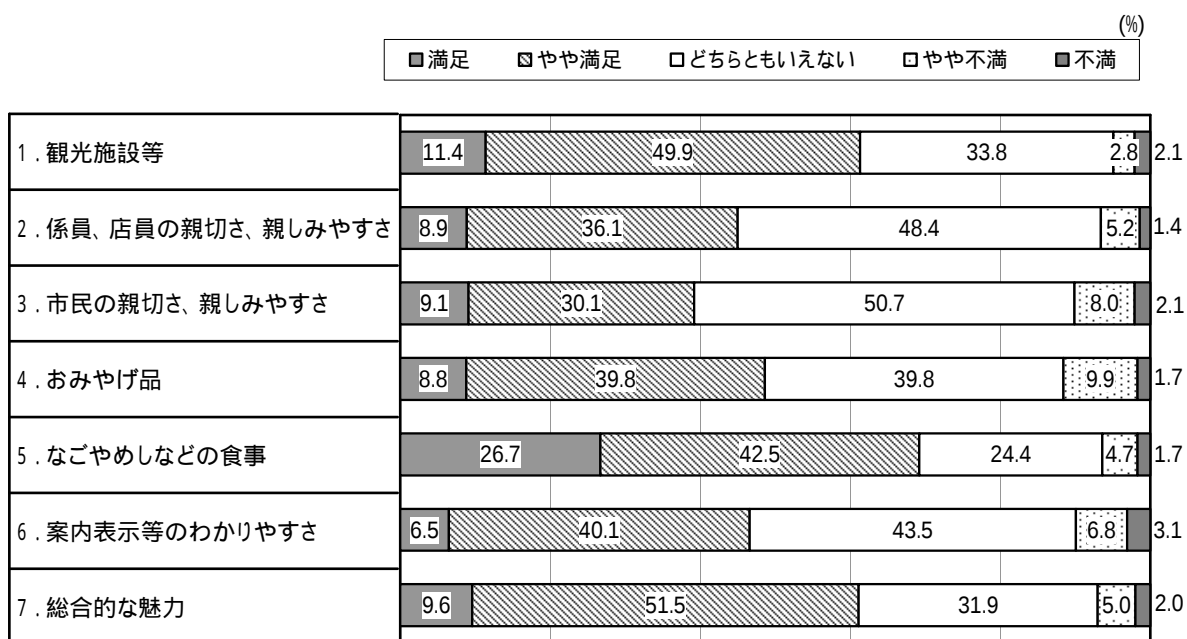
名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(309人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」(26.7%)と「やや満足」(42.5%)を合わせて69.2%と7割が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合が、次いで高いのは、「観光施設等」(61.3%)と「総合的な魅力」(61.1%)で6割に達している。「おみやげ品」(48.6%)と「案内表示等のわかりやすさ」(46.6%)については、半数程度が満足と感じている。「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」(45.0%)と「市民の親切さ、親しみやすさ」(39.2%)については、4割前後が満足と感じているものの、「どちらともいえない」がそれぞれ半数程度を占めている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、「観光施設等」については4.9%と少数であるが、「なごやめしなどの食事」(6.4%)、「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」(6.6%)、「総合的な魅力」(7.0%)については6~7%であり、「案内表示等のわかりやすさ」(9.9%)と「市民の親切さ、親しみやすさ」(10.1%)、「おみやげ品」(11.6%)については1割程度みられる。

前回調査と比較すると、満足と感じる割合は全項目とも増えており、特に「総合的な魅力」については前回(49.5%)より11.6ポイント増と評価は大幅に向上している。

図 2-4-12 名古屋訪問時の印象

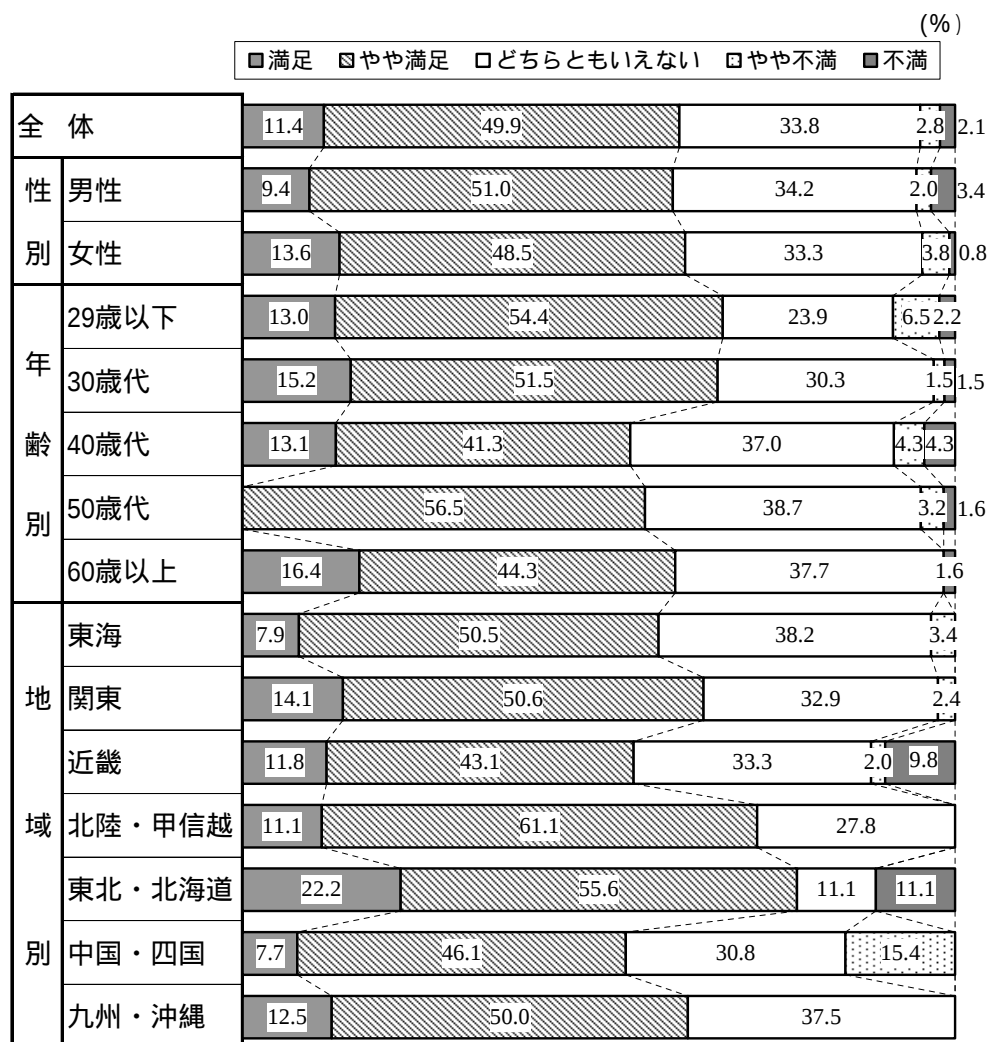


1) 観光施設等の評価

観光施設等については、「満足」(11.4%)と「やや満足」(49.9%)を合わせて61.3%と6割以上が満足と感じており、「やや不満」(2.8%)と「不満」(2.1%)を合わせ4.9%が不満と感じている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回53.4%)は7.9ポイント増え、不満と感じる割合(前回7.3%)は2.4ポイント減っており、評価はかなり向上している。

満足と感じる割合は、全ての階層で過半数を占めており、満足度は総じて高いものの、「近畿」「東北・北海道」「中国・四国」からの方では不満と感じる割合がそれぞれ1割を超えている。

図 2-4-13 観光施設等の評価



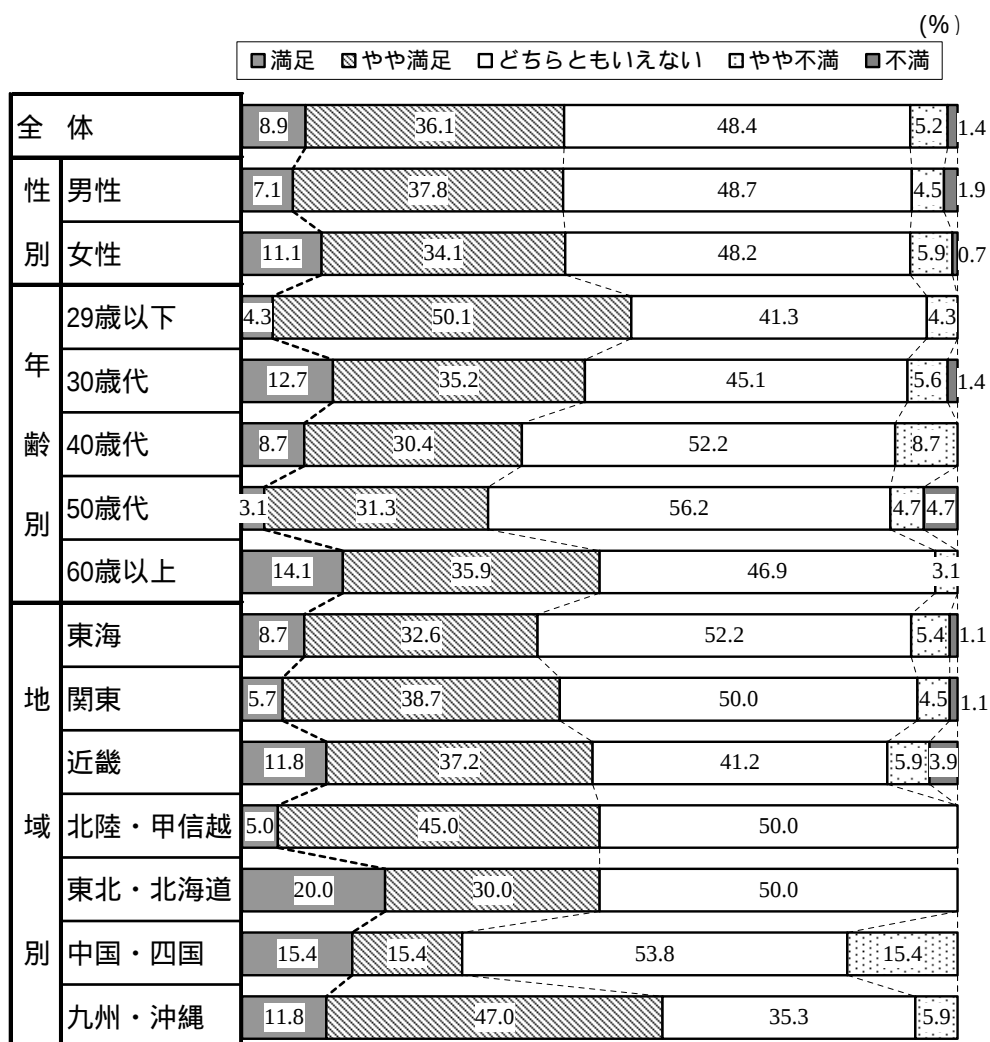
2) 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(8.9%)と「やや満足」(36.1%)を合わせ 45.0%が満足と感じており、「やや不満」(5.2%)と「不満」(1.4%)を合わせ 6.6%が不満と感じていて、「どちらともいえない」(48.4%)がほぼ半数を占めている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回 38.7%)は 6.3 ポイント増えており、満足度は向上している。

性別にみても大きな差異はみられず、年齢別にみると、50 歳代までは年代が若いほど満足と感じる割合は高くなっているが、60 歳以上では半数が満足と感じている。

地域別にみると、「九州・沖縄」では満足と感じる割合が高い。一方、「中国・四国」と「東海」では、満足度は相対的に低くなっている。

図 2-4-14 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価



3) 市民の親切さ、親しみやすさの評価

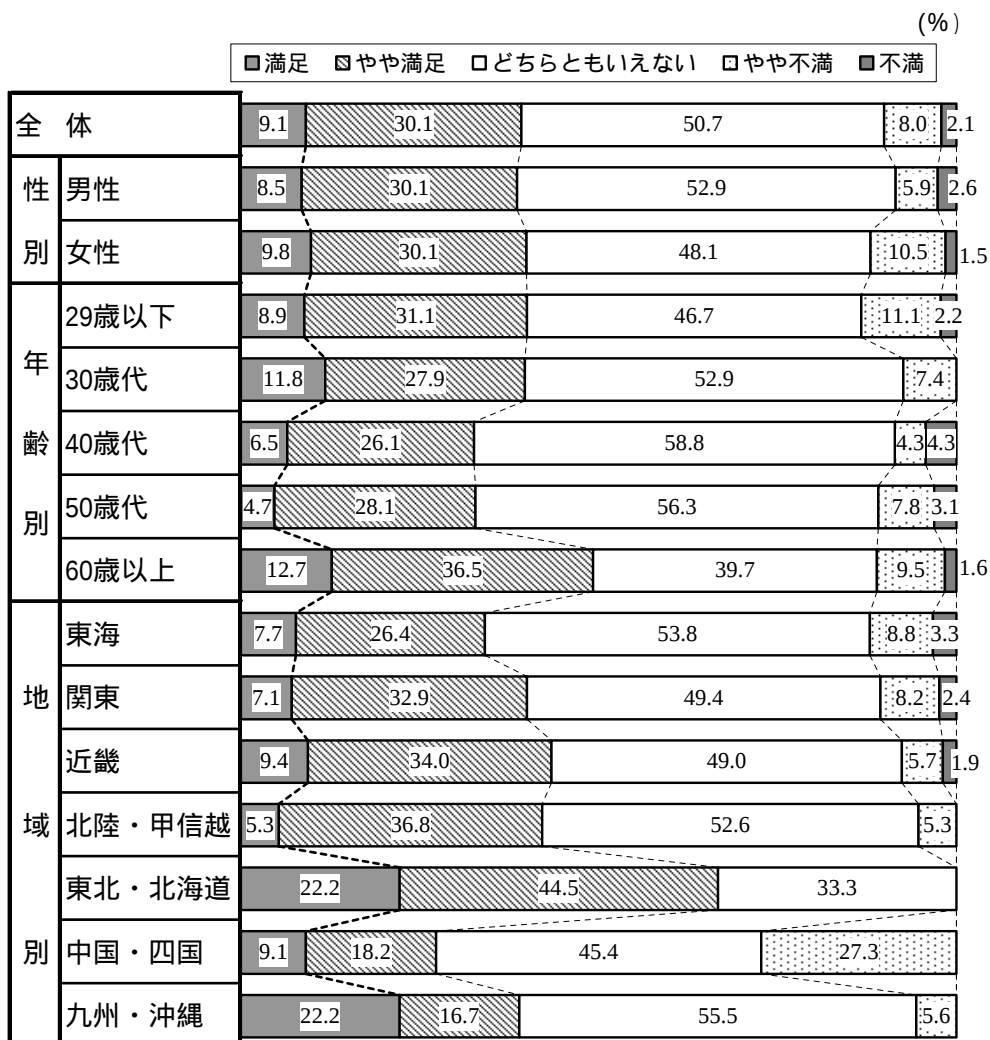
市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(9.1%)と「やや満足」(30.1%)を合わせ39.2%が満足と感じている。「どちらともいえない」が50.7%と半数を占めており、「やや不満」(8.0%)と「不満」(2.1%)を合わせ10.1%が不満と感じている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回33.2%)は6.0ポイント増えているものの、不満と感じる割合(前回8.3%)も1.8ポイント増えている。

性別にみると、満足と感じる割合には大きな差はみられないが、不満と感じる割合は女性で12%と多くなっている。

年齢別にみると、満足と感じる割合は60歳以上の高齢者では半数近くを占める。30～50歳代では「どちらともいえない」が過半数を占める。一方、29歳以下では不満と感じる割合が13%と多い。

地域別にみると、「東北・北海道」では満足度は高い。一方、「中国・四国」では満足と不満が同じ割合と満足度は低い。また、「東海」の満足度も相対的に低くなっている。

図 2-4-15 市民の親切さ、親しみやすさの評価



4) おみやげ品の評価

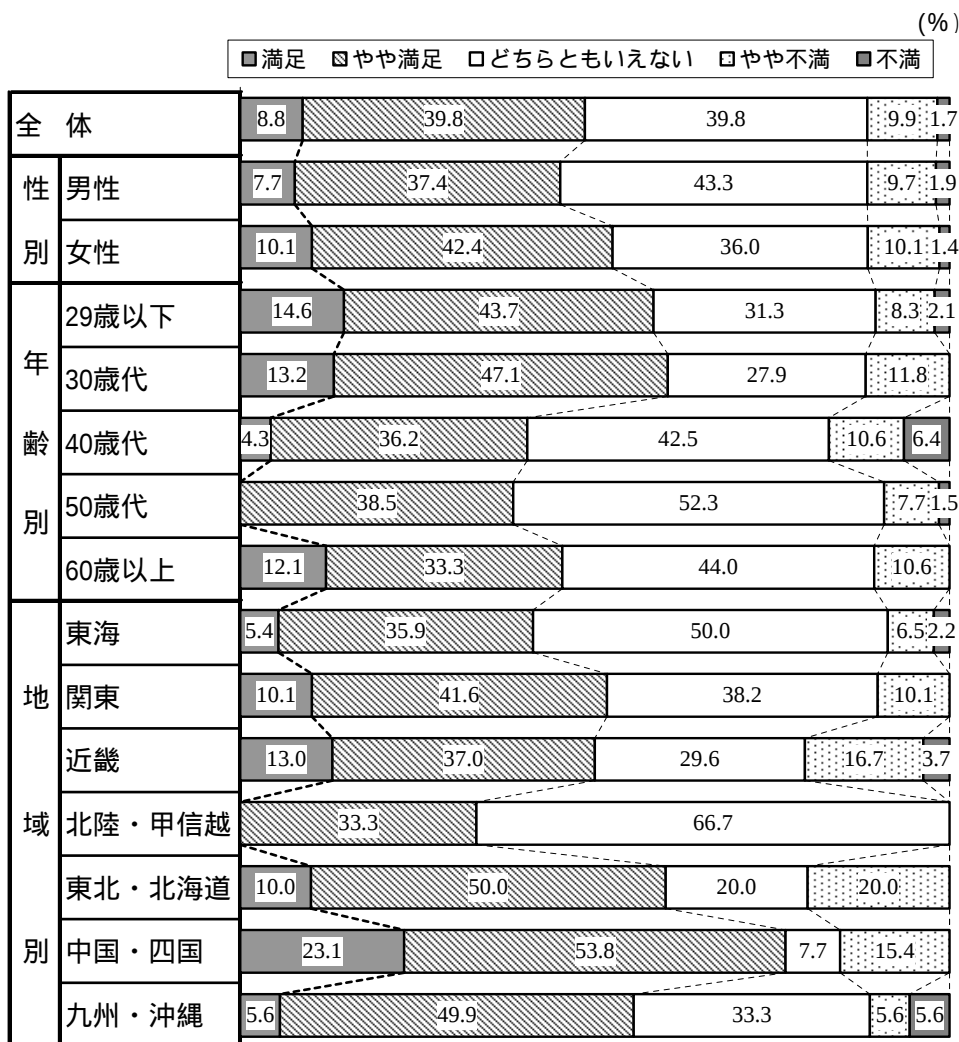
おみやげ品については、「満足」(8.8%)と「やや満足」(39.8%)を合わせ 48.6%と半数が満足と感じており、「やや不満」(9.9%)と「不満」(1.7%)を合わせた 11.6%が不満と感じている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回 42.5%)は 6.1 ポイント増え、評価は向上している。

性別にみると、女性の方が満足度は高く、満足と感じる割合が過半数を占めている。

年齢別にみると、30 歳代以下の若い世代では満足と感じる割合が 6 割程度を占めている。一方、40～50 歳代の中年層では満足と感じる割合は 4 割前後と低く、特に 40 歳代では 17%が不満と感じ、満足度は低い。

地域別にみると、満足と感じる割合は、遠方からの方で高い傾向がみられる。

図 2-4-16 おみやげ品の評価

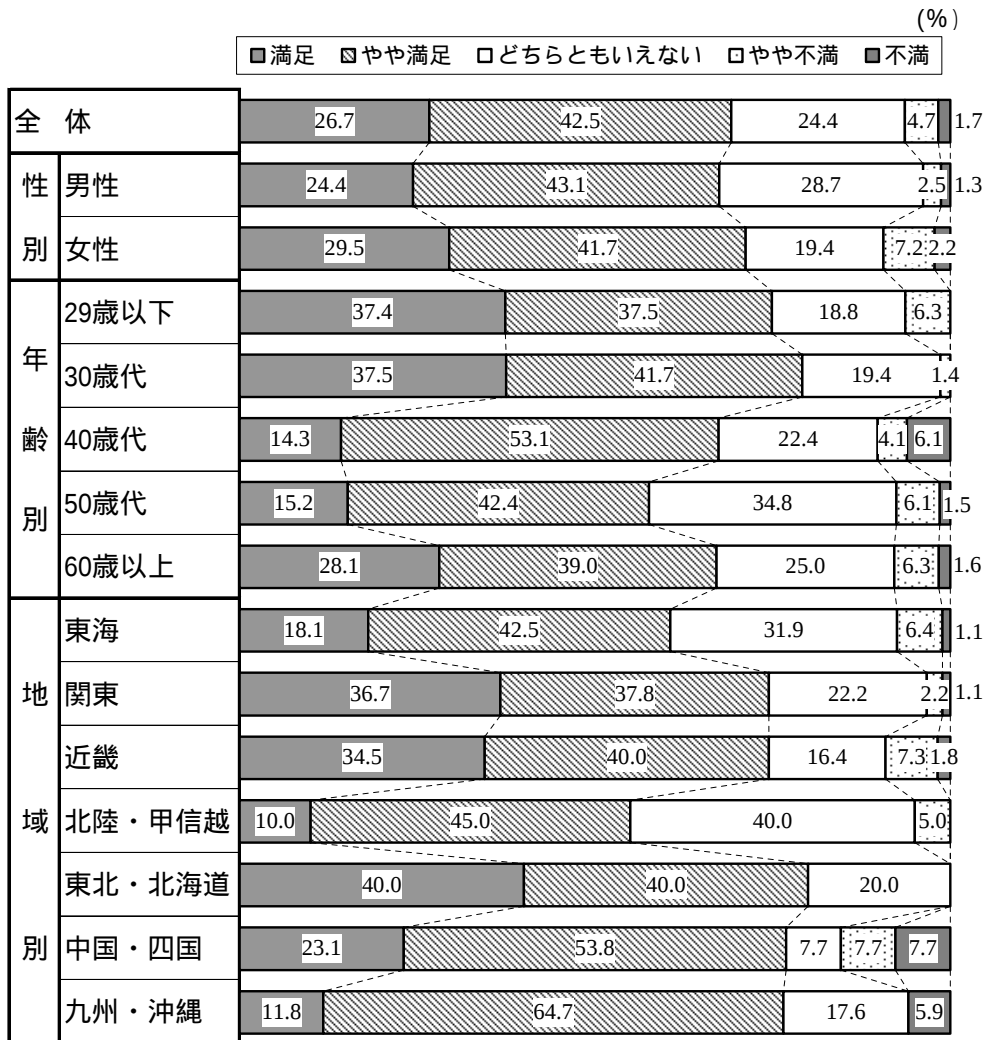


5) なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」が26.7%と3割弱みられ、「やや満足」(42.5%)を合わせて69.2%と7割が満足と感じている。一方、「やや不満」(4.7%)と「不満」(1.7%)を合わせ6.4%が不満と感じている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回66.9%)は2.3ポイントと微増であるものの、不満と感じる割合(前回9.2%)が2.8ポイント減っており、評価は更に向上している。

属性別にみても、総じて満足度は高く、特に30歳代以下の若い世代などでは「満足」の割合が4割程度を占め、特に満足度は高い。

図 2-4-17 なごやめしなどの食事の評価

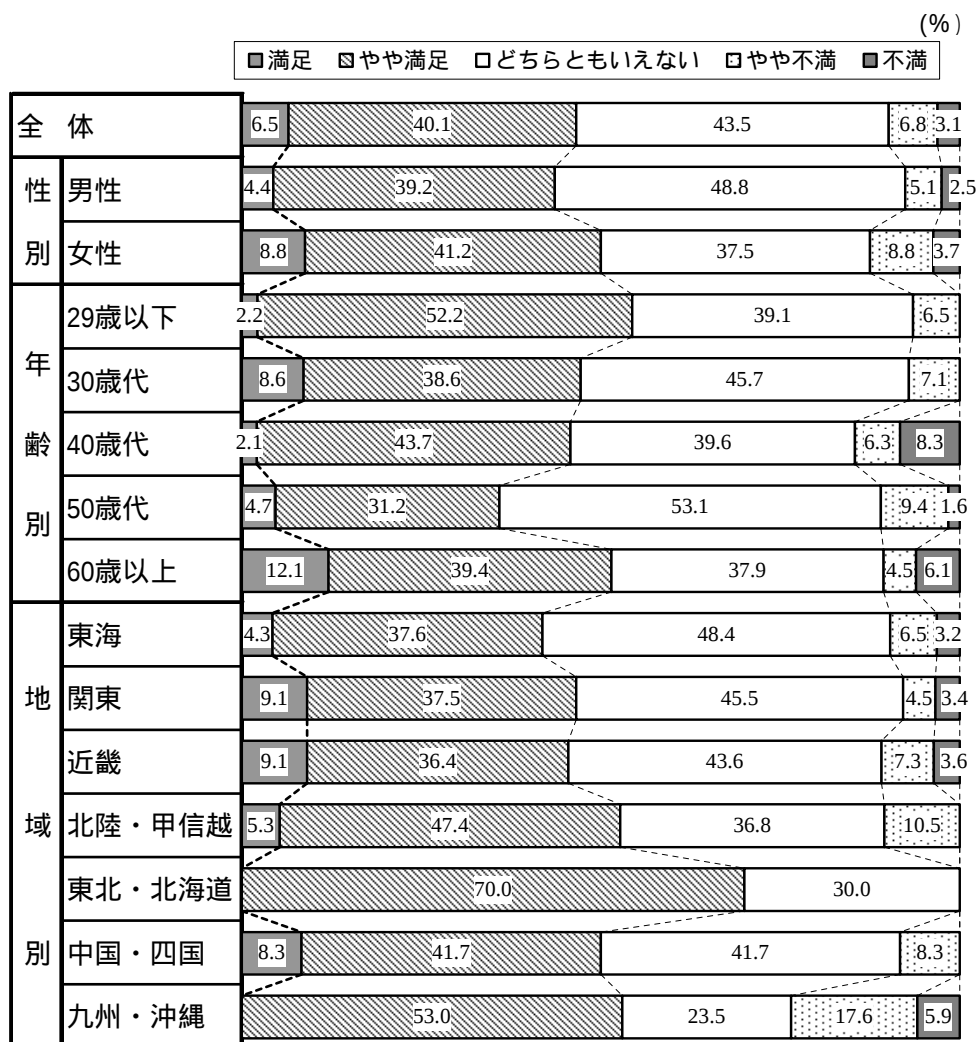


6) 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」(6.5%)と「やや満足」(40.1%)を合わせ46.6%と半数近くが満足と感じている。一方、「やや不満」(6.8%)と「不満」(3.1%)を合わせて9.9%が不満と感じている。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回36.7%)は9.9ポイント増と大幅に増えており、評価はかなり向上している。

満足度は29歳以下の若年層と60歳以上の高年齢層で高く、40～50歳代の中年層では相対的に低くなっている。また、「九州・沖縄」からの方では不満と感じる割合が多くなっている。

図 2-4-18 案内表示等のわかりやすさの評価

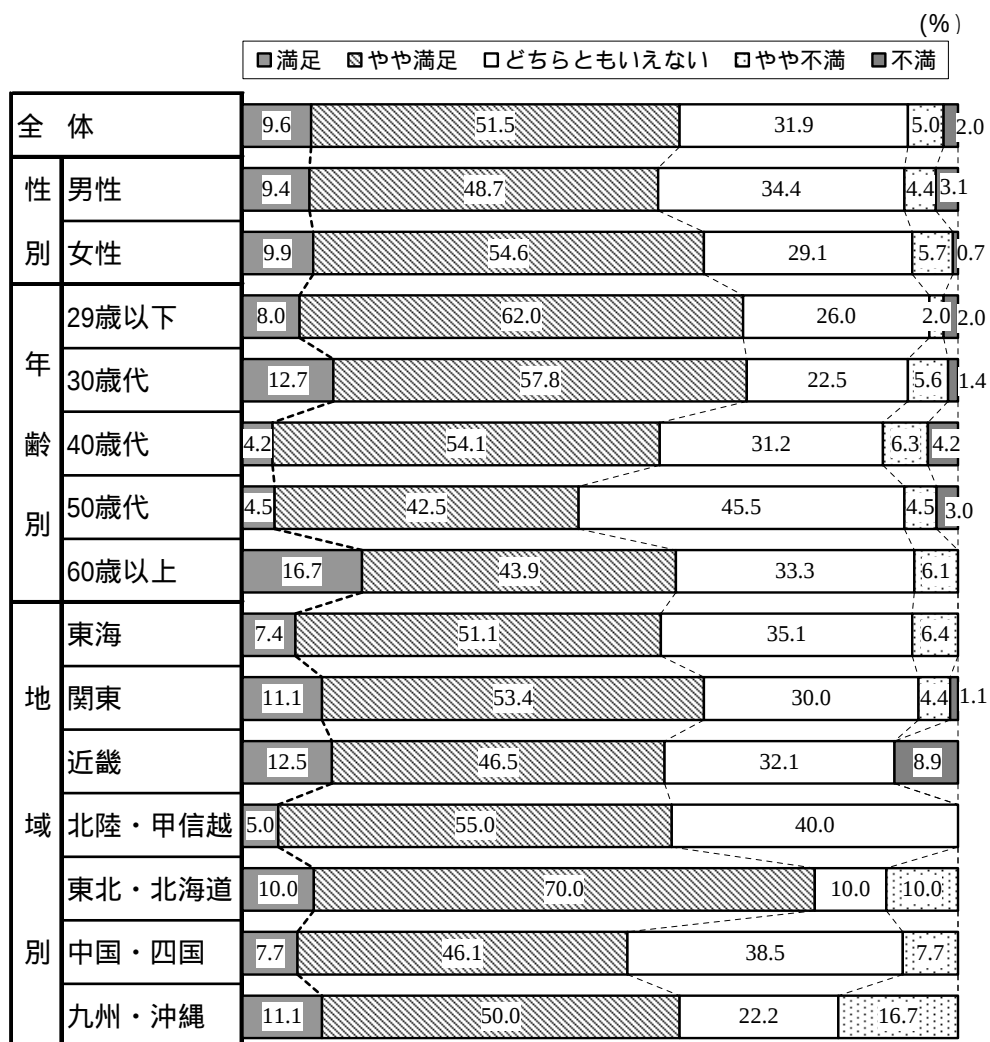


7) 総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」(9.6%)が1割で、「やや満足」(51.5%)が半数を占め、合わせて61.1%と満足と感じた割合は6割に達しており、「やや不満」(5.0%)と「不満」(2.0%)を合わせた不満と感じる割合は7.0%と1割に満たない。前回調査と比較すると、満足と感じる割合(前回49.5%)は、11.6ポイント増えており、評価はかなり向上している。

属性別にみても、総じて評価は高く、特に30歳代以下の若い世代などでは7割以上が満足と感じている。但し、50歳代では満足と感じる割合が、唯一半数に届いていない。

図 2-4-19 総合的な魅力



名古屋への今後の訪問について

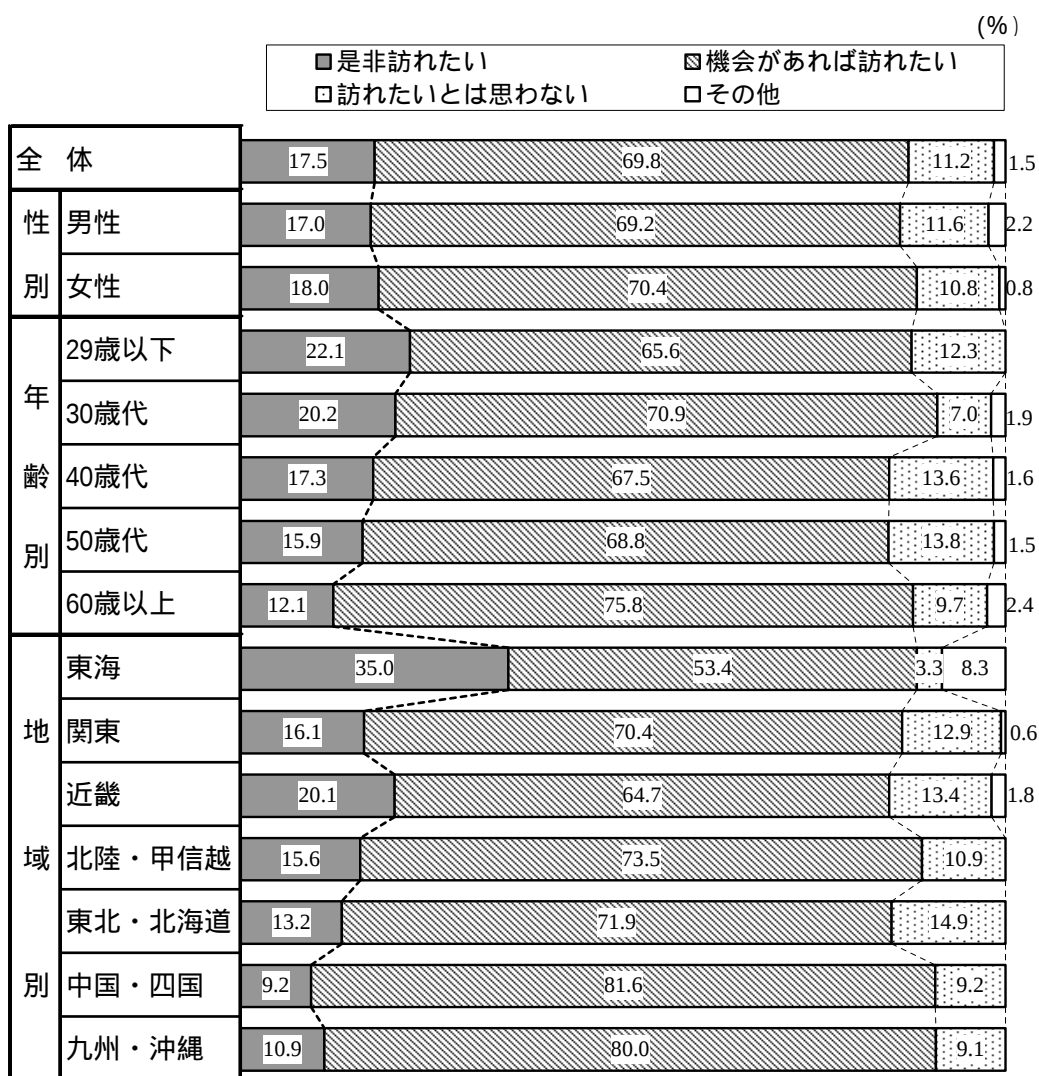
1) 名古屋への訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が17.5%で、「機会があれば訪れたい」が69.8%で、合わせて87.3%と9割近くが訪れたいと考えている。前回調査と比較すると、訪問意向の割合（前回89.8%）は2.5ポイント減っているものの、「是非訪れたい」という強い訪問意向の割合（前回15.2%）は2.3ポイント増えている。

全ての階層で9割前後が訪問意向を持っている。

「是非訪れたい」という強い訪問意向の割合は、年代が若いほど高く30歳代以下では2割を超えている。また、「東海」のほか「近畿」でも2割以上みられる。前回調査時（平成20年7月）にちょうど東海北陸自動車道が全線開通した「北陸・甲信越」では、前回（93.7%）ほど高くないものの、依然として訪問意向は高い。

図 2-4-20 名古屋への訪問意向

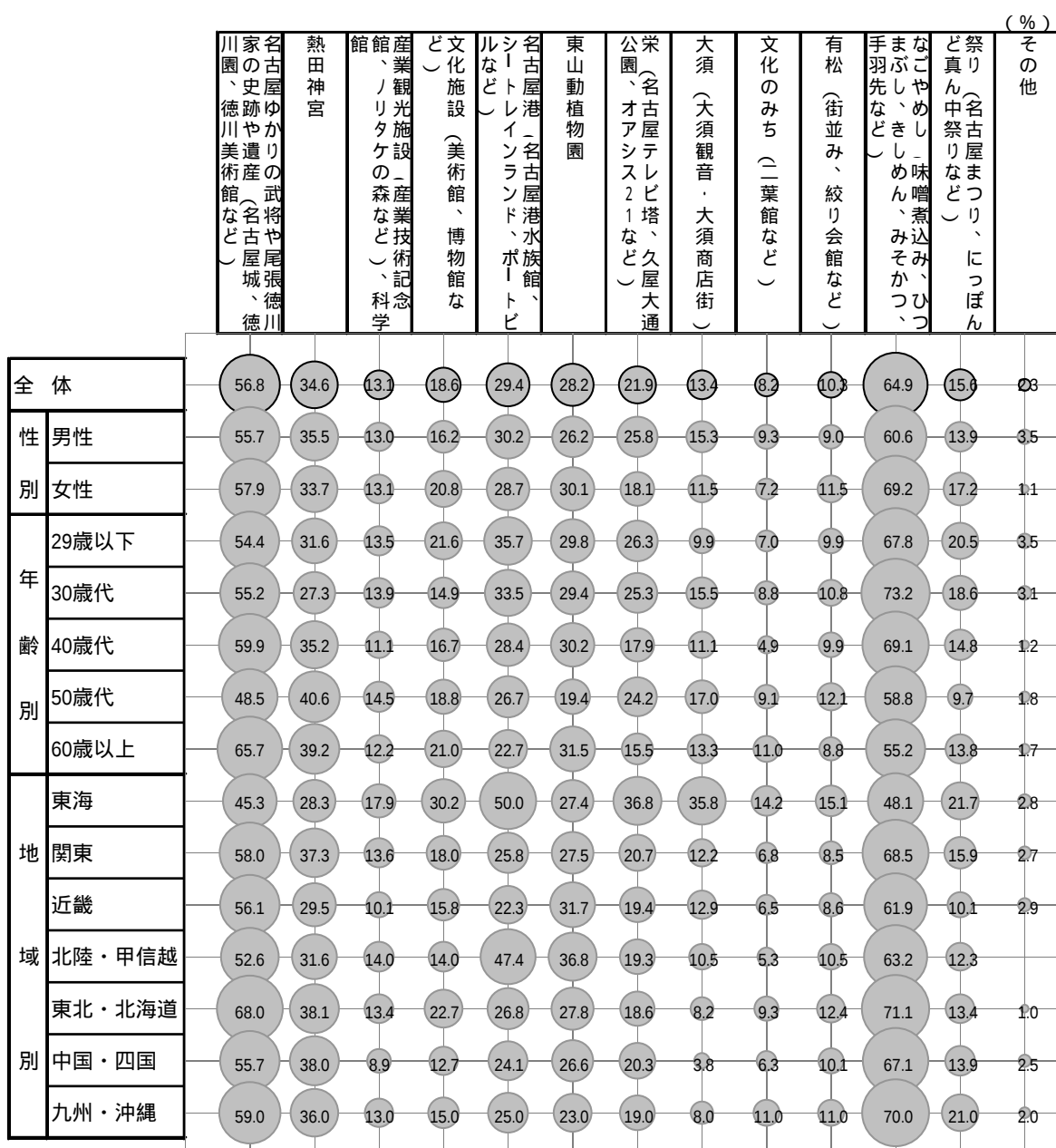


2) 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方(873人)が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」が64.9%と最も高く、次いで「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」が56.8%と多い。以下、「熱田神宮」(34.6%)、「名古屋港」(29.4%)、「東山動植物園」(28.2%)が3割前後、「栄」(21.9%)、「文化施設」(18.6%)が2割程度で続いている。前回調査と比較すると、近年の歴史ブームの影響か「史跡・遺産」は前回(47.6%)より9.2ポイント増加しており、特に40歳代以下の若い世代で増加が著しい。

60歳以上では「史跡・遺産」の割合が最も高いが、そのほかの階層では全て「なごやめし」が最も高くなっている。また、「東海」と「北陸・甲信越」では「名古屋港」の割合も半数程度みられる。

図 2-4-21 訪れたい名古屋の観光資源（複数回答）



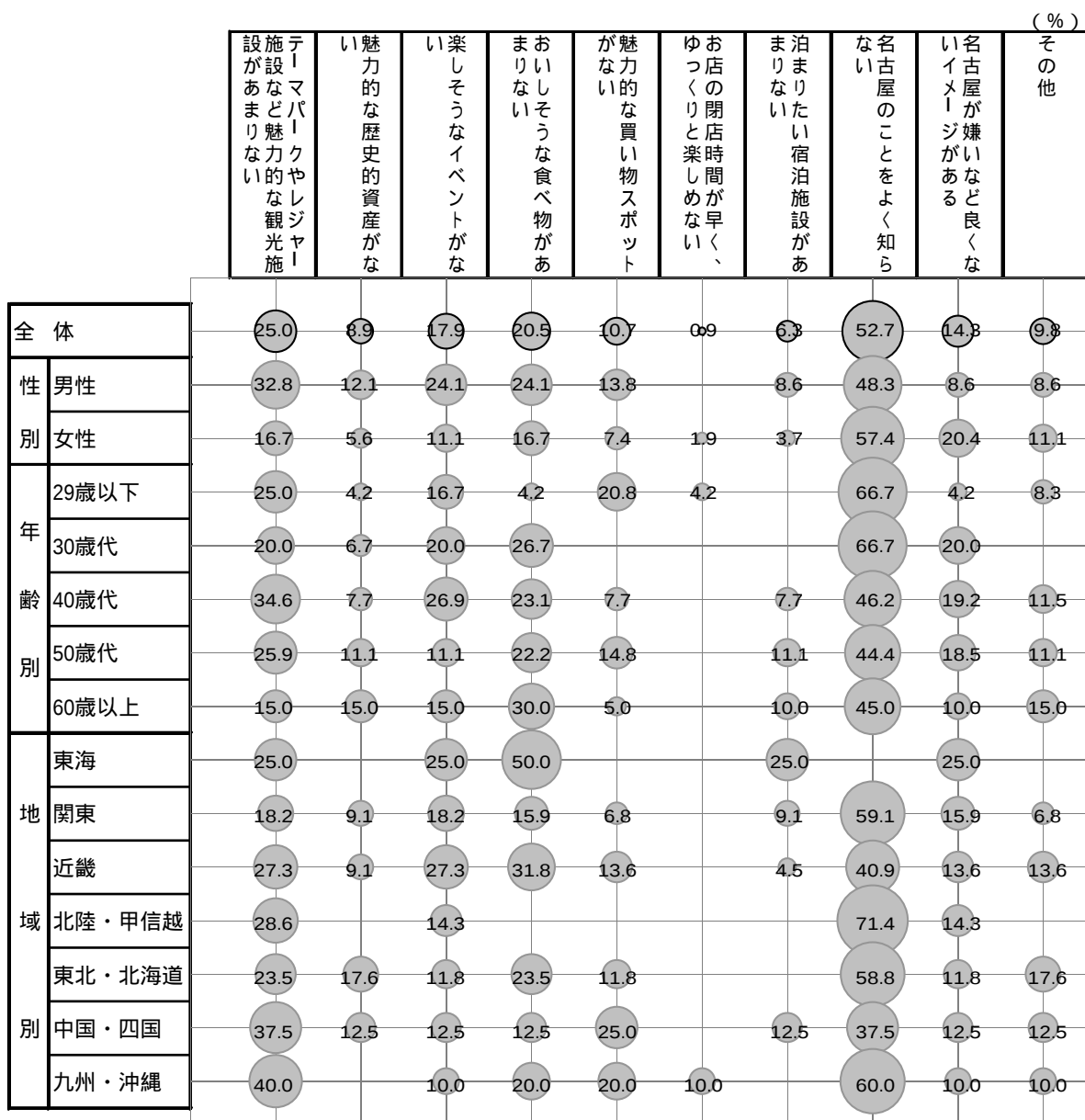
3) 訪れたいと思わない理由

名古屋を訪れたいと思わない方（112人）の理由としては、「名古屋のことをよく知らない」は52.7%と過半数が挙げている。そのほかの理由をみると、「テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設があまりない」（25.0%）や「おいしそうな食べ物があまりない」（20.5%）、「楽しそうなイベントがない」（17.9%）など訪問意向を起こさせる観光資源が少ないことを挙げている。

「名古屋が嫌いなど良くないイメージがある」は14.3%と少なく、名古屋への訪問意向を高めるためには、魅力ある観光資源の整備は無論、名古屋の観光資源の更なる周知を図ることが必要である。

地元「東海」以外の全ての階層で「名古屋のことをよく知らない」が最大の理由となっている。また、男性では観光資源の少なさを挙げる割合が、全般に女性より高い。

図 2-4-22 訪れたいと思わない理由（複数回答）



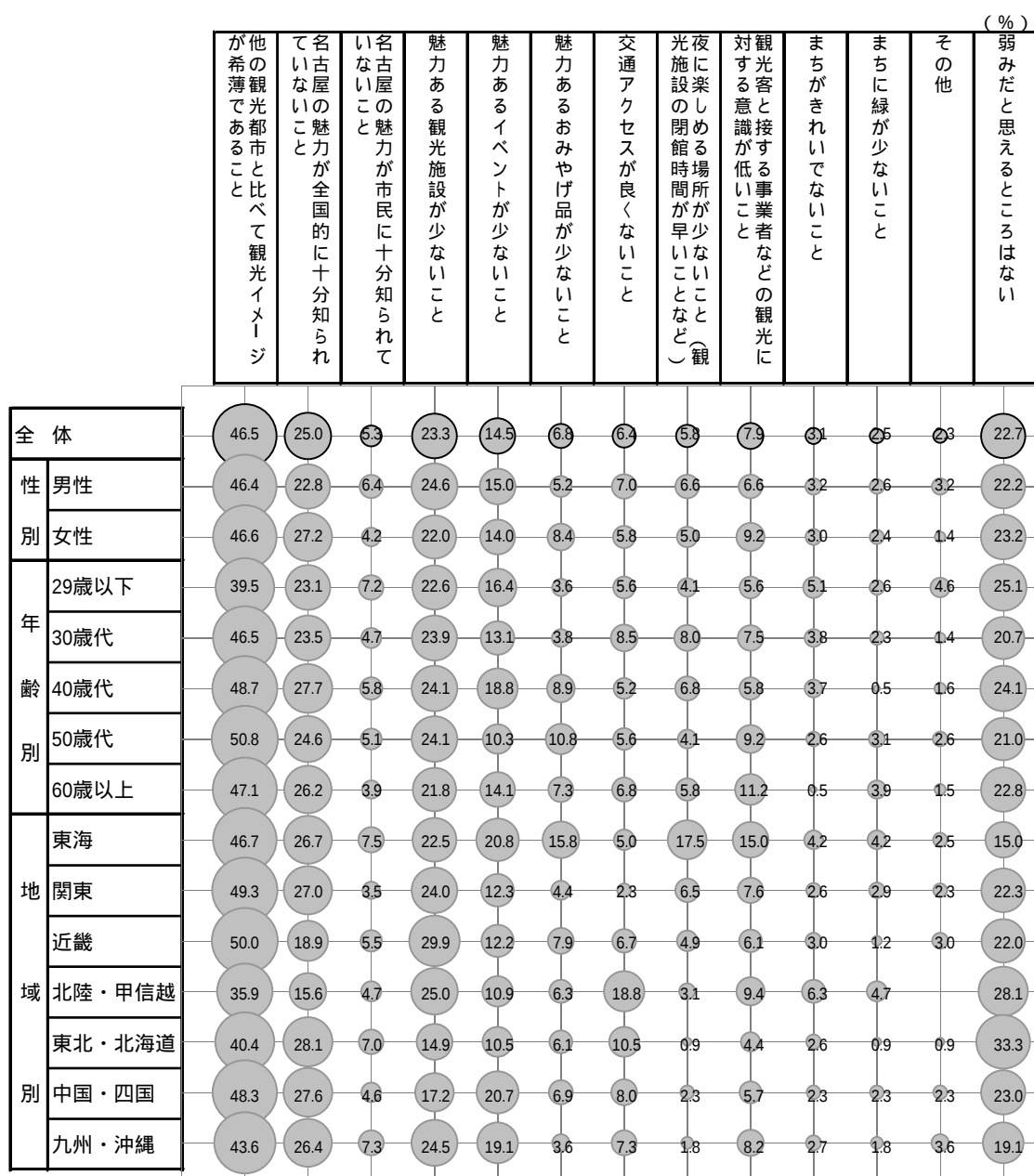
4) 名古屋の観光地としての弱み

名古屋の観光地としての弱みとしては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が46.5%と最も多く、次いで「名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと」が25.0%、「魅力ある観光施設が少ないこと」が23.3%となっており、「弱みだと思えるところはない」は22.7%である。前回調査と比較すると、前記3項目はそれぞれ減少し、「弱みだと思えるところはない」が前回(18.6%)より4.1ポイント増加しており、名古屋は観光地として定着しつつある。

全ての階層で、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が最も多い。

女性では「魅力ある観光施設が少ないこと」が前回(28.0%)より6ポイント減少しており、歴史に興味を抱く女性が増えたことにより、名古屋の史跡や遺産などの認知度が上がったためとも考えられる。

図2-4-23 名古屋の観光地としての弱み(3つまで回答)



(4) 観光振興について

「名古屋おもてなし武将隊」について

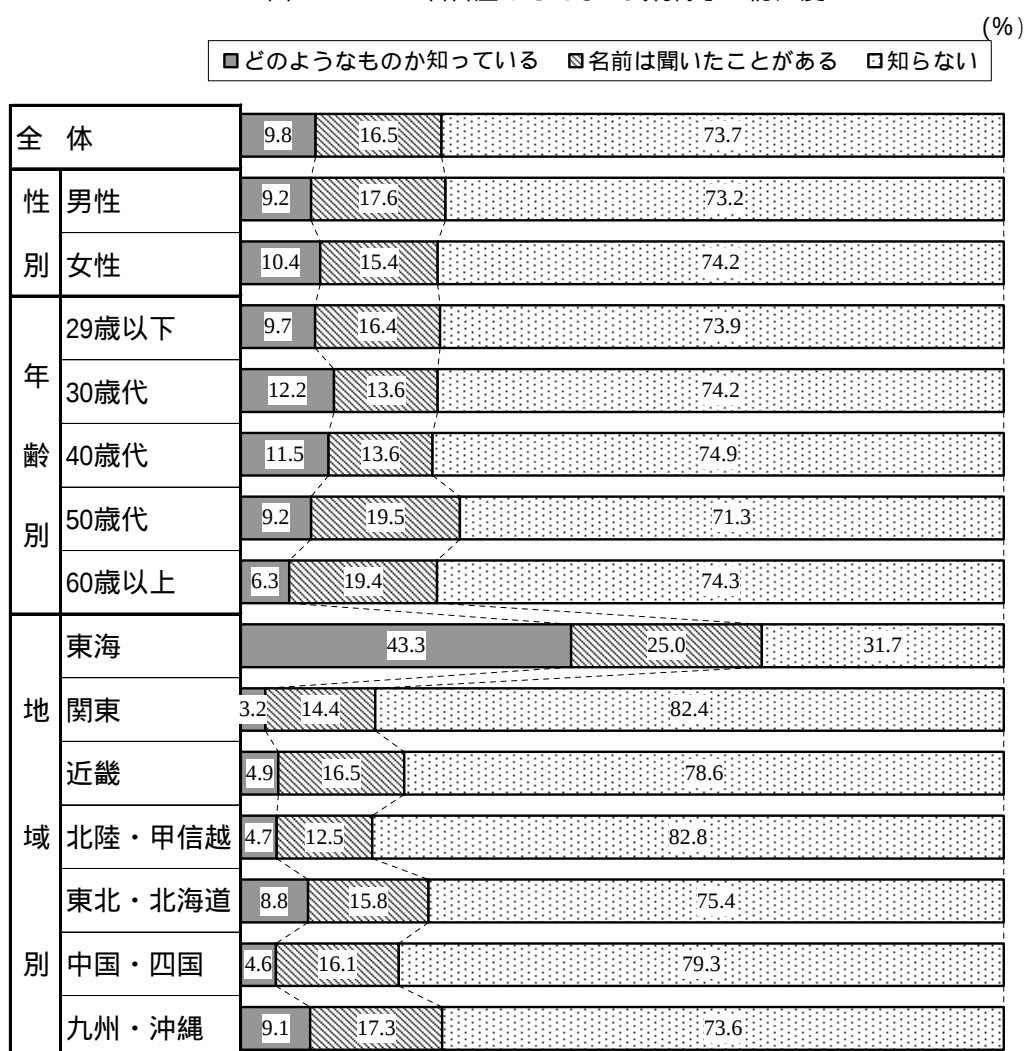
1) 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

平成 21 年 11 月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知状況としては、「どのようなものか知っている」は 9.8%であり、「名前は聞いたことがある」は 16.5%で、合わせて認知度は 26.3%となっている。

性別、年齢別にみても、大きな差異はみられない。

地域別にみると、認知度は「東海」では 68.3%と 7 割を占めるものの、そのほかの地域ではまだ低く、特に「関東」と「北陸・甲信越」では 2 割に達していない。

図 2-4-24 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度



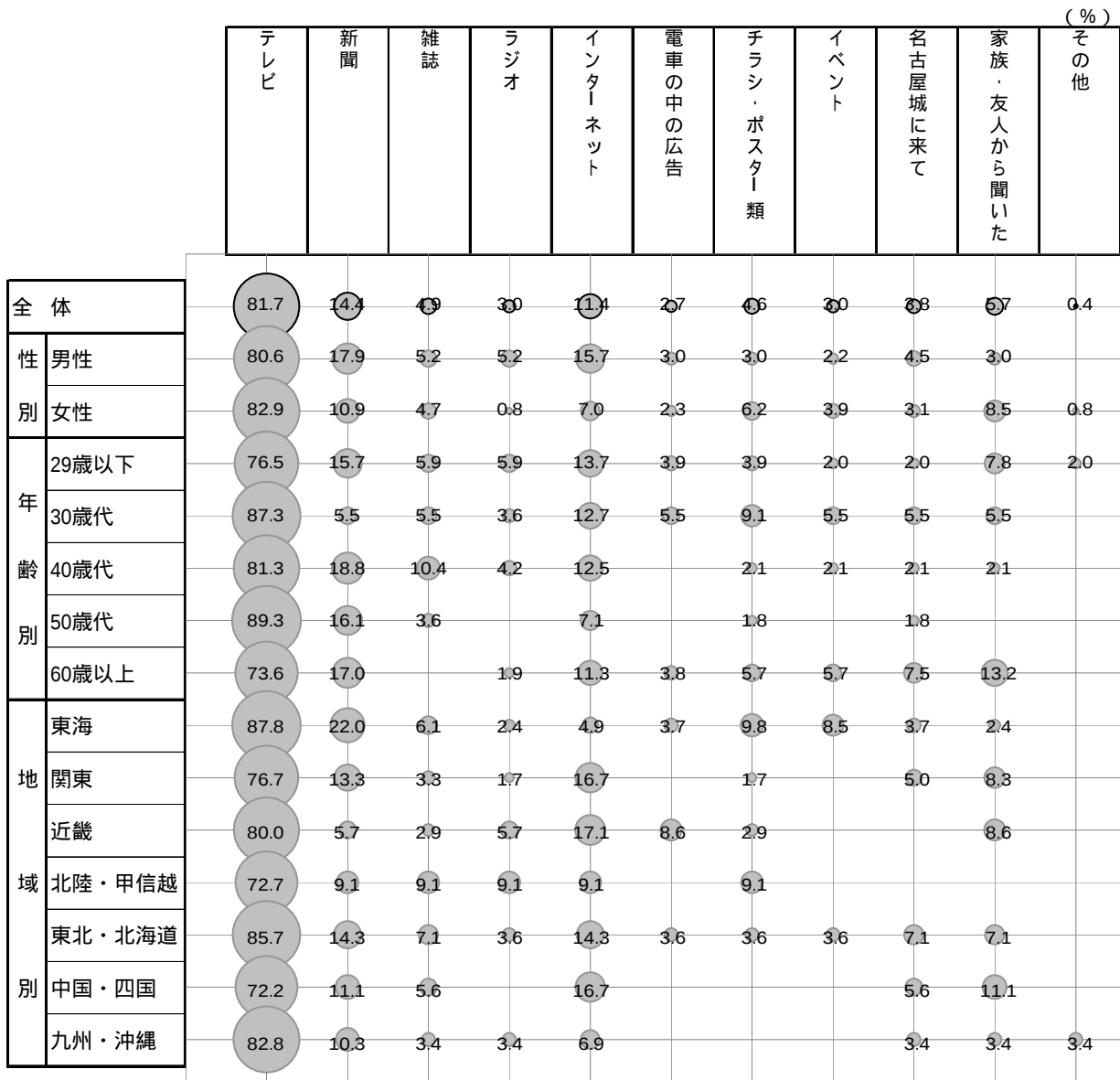
2)「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路

「名古屋おもてなし武将隊」を知っていた方(263人)が知ったきっかけとしては、「テレビ」が81.7%と圧倒的に高い。そのほかでは「新聞」(14.4%)と「インターネット」(11.4%)が1割台で、「家族・友人から聞いた」(5.7%)という口コミは1割以下である。

全ての階層で「テレビ」は圧倒的に高い。

男性や「関東」、「近畿」、「中国・四国」では「インターネット」がそれぞれ2割弱みられ、「東海」以外の地域では、重要な情報ソースとなっている。

図 2-4-25 「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路(複数回答)

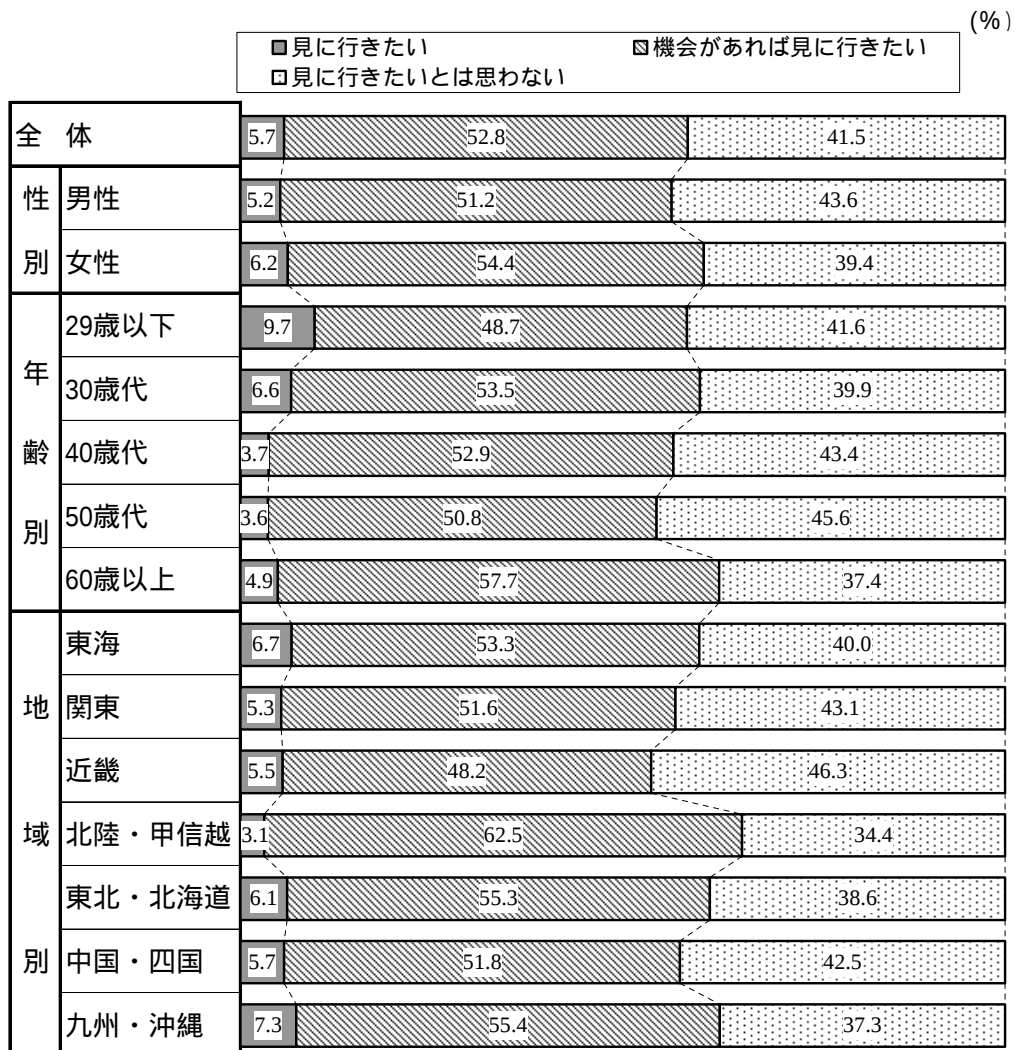


3)「名古屋おもてなし武将隊」観覧意向

「名古屋おもてなし武将隊」を名古屋に「見に行きたい」割合は 5.7%と少ないものの、「機会があれば見に行きたい」は 52.8%と半数を超え、合わせて 58.5%が観覧意向を持っている。前述の名古屋への訪問意向（P83 図 2-4-20）で訪問意向がなかった方（127 人）のうち、13 名が「機会があれば見に行きたい」と回答しており、この取組みが名古屋の観光振興に寄与することをあらわしているものの、観光振興に繋げるためには周知の徹底が必要といえる。

「見に行きたい」という強い観覧意向の割合は総じて低いものの、観覧意向は全ての階層で 6 割前後が持っている。

図 2-4-26 「名古屋おもてなし武将隊」観覧に名古屋への訪問意向



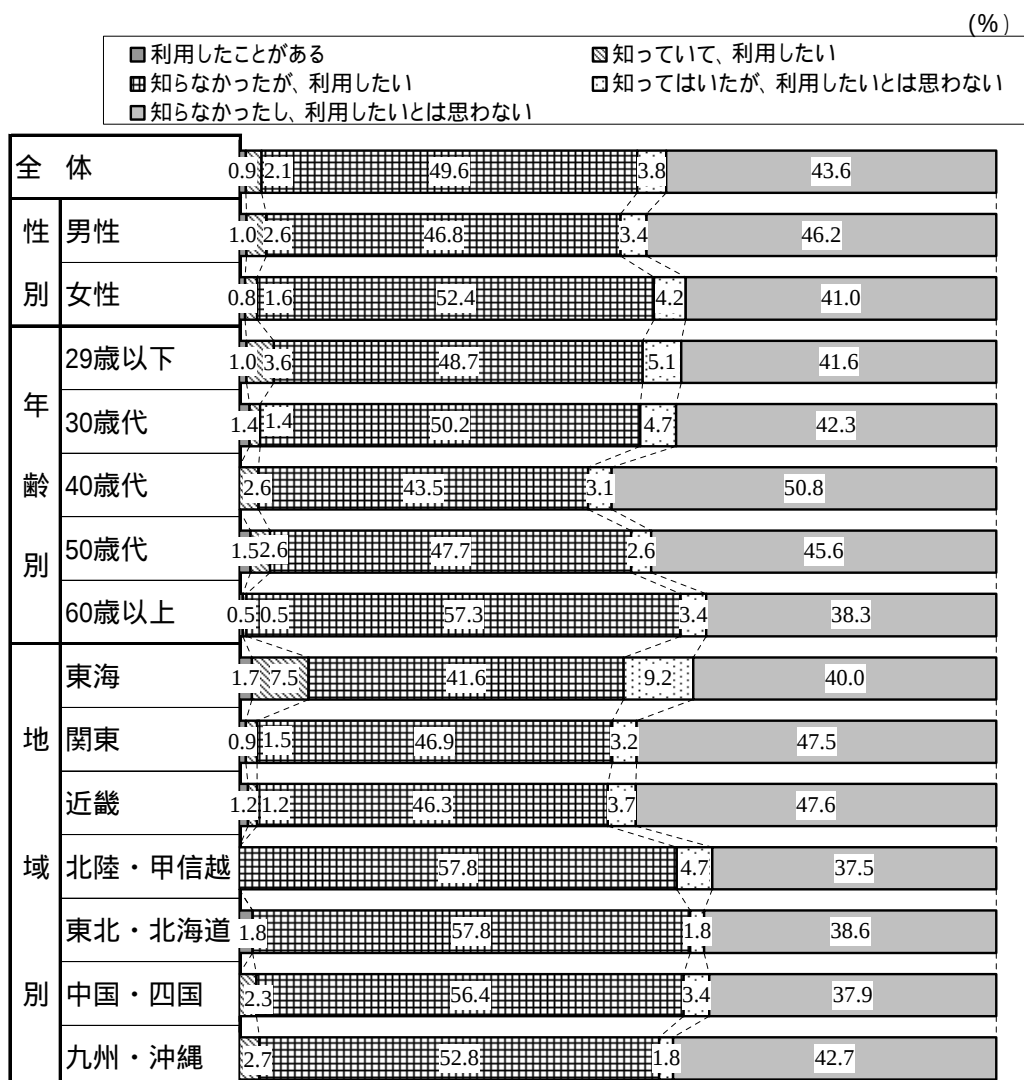
なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は0.9%と僅かである。「知っていて、利用したい」(2.1%)と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」(3.8%)を合わせた認知度は6.8%と1割に満たない。また、「知っていて、利用したい」と「知らなかったが、利用したい」(49.6%)を合わせた利用意向は52.6%と半数を超えている。前回調査と比較すると、認知度は前回(5.4%)より若干増えているが、利用意向は名古屋への交通手段として「自家用車」が増えた(P65 参照)ために前回(58.6%)より6.0ポイント減少している。

利用意向の割合としては、60歳以上や「北陸・甲信越」、「東北・北海道」、「中国・四国」ではそれぞれ6割程度と高くなっている。

認知度としては、29歳以下では9.7%と相対的にやや高いものの、「東海」でも18.4%と認知状況は、まだ低いレベルである。

図 2-4-27 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



名古屋城「本丸御殿」の復元

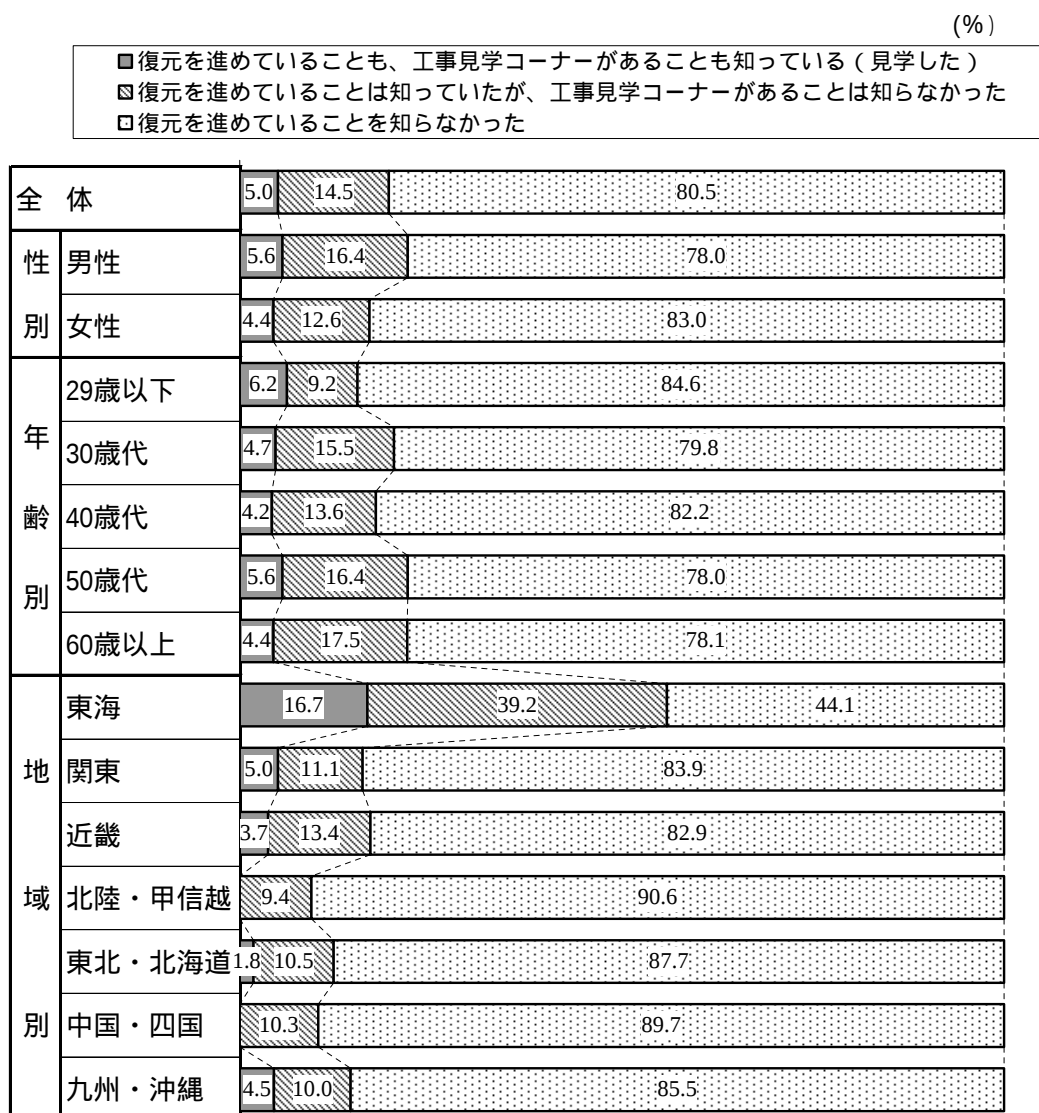
1) 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている」が 5.0%、「復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった」が 14.5%で、合わせて 19.5%が「本丸御殿」の復元を知っている。前回調査と比較すると、認知度は前回（15.0%）より 4.5 ポイント増えてはいるものの、天守閣の工事などと異なり全国的な知名度は低いといえる。

男性や 50 歳代以上で認知度は相対的に高いものの、性別・年齢別に顕著な差異はみられない。

地域別にみると、「東海」では「復元も、工事見学コーナーも知っていた」が 16.7%で、「復元は知っていたが、工事見学コーナーは知らなかった」と合わせて 55.9%が「本丸御殿」の復元を知っており、前回（42.4%）より認知度は 13.5 ポイント増えている。

図 2-4-28 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

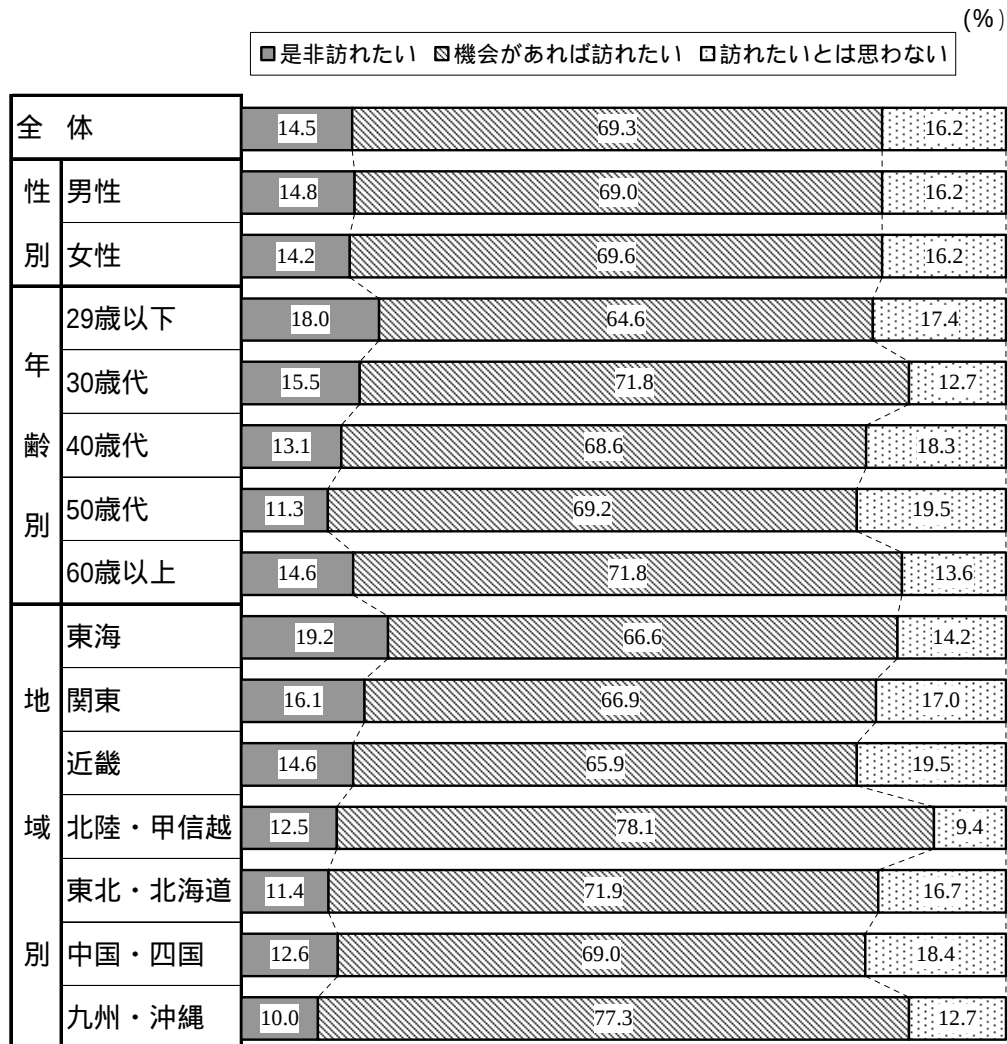


2) 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」は 14.5%、「機会があれば訪れたい」(69.3%) を合わせて 83.8% が訪問意向を持っている。前回調査と比較すると、訪問意向の割合(前回 86.0%)は 2.2 ポイント減ってはいるものの、依然として訪問意向は高い。前述の名古屋への訪問意向(P83 図 2-4-20)で訪問意向が無かった方(127 人)のうち、4 名が「是非訪れたい」、45 名が「機会があれば訪れたい」としており、この取組みが名古屋の観光振興に大きく貢献することを示唆している。

訪問意向の割合は総じて高く、特に「北陸・甲信越」では 9 割に達している。

図 2-4-29 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

名古屋市主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 22 年度における名古屋市主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,072 万人であり、平成 21 年度と比較すると施設数は 1 施設増加しているものの、入込客数は約 40 万人（1.9%）減少している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 671 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 218 万人）、名古屋港水族館（約 177 万人）、名古屋城（約 152 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 100 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、名古屋城、熱田神宮などの歴史に関する施設が増加している。これには、近年の歴史ブームに加え、名古屋おもてなし武将隊などによる名古屋開府 400 年事業に関するイベント、行・祭事が好評であったことが寄与している。

一方、昨年度の開館 10 周年記念展で入込客数が増加したことによる反動があった名古屋ポストン美術館、プラネタリウムなどのリニューアル建設工事による休館があった名古屋市科学館、あいちトリエンナーレ 2010 開催準備等のために年間開催日数が減少した愛知県美術館などの施設において入込客数が減少している。また、その他の減少理由として、記録的な猛暑や気温の寒暖差が大きかったことなどの天候不順による影響や、3 月の東日本大震災による影響もあった。

名古屋市主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東山動植物園、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋港水族館、シートレインランド、名古屋市科学館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月及び 10～11 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

平成 23 年 3 月に名古屋市科学館がリニューアルオープンとなり、世界最大のプラネタリウムなどが注目されており、平成 23 年度以降の集客が期待される 3 月の入込客数であった。同じく 3 月に新しく開館したりニア・鉄道館は、子供から年配者まで楽しめる展示内容が好評で、平成 23 年度以降の集客が期待される。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
名古屋城	1,096,137	1,196,500	1,246,279	1,352,344	1,517,727
東山動植物園	2,020,314	2,319,341	2,201,822	2,284,853	2,180,296
東山スカイタワー	259,886	289,767	298,801	305,625	299,008
テレビ塔	323,818	293,251	285,681	277,343	270,565
熱田神宮	6,235,956	6,512,112	6,417,500	6,652,665	6,713,174
名古屋港	195,639	643,632	586,788	526,306	464,479
名鉄海上観光船	25,117	-	-	-	-
名古屋市科学館	614,577	618,956	607,864	606,157	481,957
徳川美術館	251,863	219,494	239,506	218,048	210,408
名古屋市博物館	363,271	538,476	448,153	483,413	513,426
東谷山フルーツパーク	547,717	568,804	570,675	560,584	512,211
農業文化園・戸田川緑地	712,288	691,262	938,998	1,057,523	995,286
でんきの科学館	348,158	353,727	360,082	349,124	412,420
名古屋市美術館	347,052	374,303	474,264	380,365	463,085
名古屋港水族館	1,927,274	2,116,681	1,907,127	1,725,373	1,766,343
産業技術記念館	230,618	263,854	270,121	226,226	273,926
白鳥庭園	82,966	91,713	93,289	104,610	119,487
市政資料館	59,240	60,143	73,362	73,312	72,313
名古屋能楽堂	163,455	186,408	194,109	187,096	183,889
愛知県美術館	761,088	803,967	682,896	868,544	732,339
名古屋市農業センター	622,769	612,259	630,033	620,193	573,718
シートレイランド	707,572	731,388	690,717	638,597	623,193
有松・鳴海絞会館	185,820	179,689	213,812	177,211	177,631
ランの館	128,193	131,262	144,427	136,039	142,530
名古屋ボストン美術館	237,245	175,661	238,153	400,667	110,126
ノリタケの森	410,558	413,566	398,606	367,569	337,468
ブルーボネット	93,831	77,968	74,364	74,261	73,587
徳川園	254,727	249,227	256,921	258,143	242,024
文化のみち二葉館	35,436	35,792	33,716	40,325	38,056
イタリア村	1,690,100	1,272,200	66,500	-	-
ロボットミュージアム	422,173	333,508	-	-	-
スカイプロムナード	160,000	630,000	240,000	165,000	124,553
リニア・鉄道館	-	-	-	-	98,961
合 計	21,514,858	22,984,911	20,884,566	21,117,516	20,724,186

注 1：ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月、ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。

注 3：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 22 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		179,442	172,672	77,841	86,544	199,575	133,749	175,416	136,491
東山動植物園		291,241	369,010	114,221	65,880	207,363	123,848	261,177	266,355
東山スカイタワー		34,788	40,944	13,159	11,627	28,474	18,168	31,399	38,917
テレビ塔		19,555	31,502	15,513	19,704	35,653	22,649	22,090	20,695
熱田神宮		167,920	230,325	436,900	155,682	159,079	151,003	195,160	266,624
名古屋港		40,464	60,534	29,471	39,502	72,800	35,285	43,270	44,204
名古屋市科学館		35,424	47,506	45,753	88,028	176,189	0	24,277	0
徳川美術館		16,363	24,197	12,749	12,562	15,208	14,366	24,089	24,779
名古屋市博物館		22,584	52,382	28,989	65,969	93,130	19,086	48,908	65,430
東谷山フルーツパーク		143,937	72,075	19,646	14,700	22,215	28,006	60,276	35,308
農業文化園・戸田川緑地		111,236	207,084	57,349	81,353	82,200	68,417	105,619	85,808
でんきの科学館		28,521	31,807	22,215	35,132	80,207	23,966	28,877	25,822
名古屋市美術館		2,467	6,923	5,499	3,815	19,575	48,620	106,268	1,822
名古屋港水族館		112,799	184,957	107,098	173,235	383,090	160,670	145,007	107,228
産業技術記念館		18,866	32,569	25,878	25,140	34,854	20,206	25,019	25,826
白鳥庭園		9,848	13,206	4,206	2,570	2,931	7,377	14,140	32,608
市政資料館		6,432	6,062	5,337	4,365	5,009	5,612	7,766	7,773
名古屋能楽堂		14,497	15,048	13,758	16,322	15,961	13,598	17,314	22,729
愛知県美術館		62,452	54,347	46,903	53,189	22,512	56,857	171,151	36,356
名古屋市農業センター		44,705	54,839	24,517	21,758	23,777	26,839	62,916	29,592
シートレインランド		39,924	59,492	37,123	66,666	115,158	54,022	45,383	44,158
有松・鳴海校会館		5,551	12,208	105,633	5,961	6,446	6,212	8,375	7,869
ランの館		7,572	12,870	8,362	10,030	11,572	10,188	20,596	16,044
名古屋ボストン美術館		5,103	11,323	8,252	9,969	13,993	6,347	8,405	11,462
ノリタケの森		25,718	38,331	24,994	26,199	27,531	25,472	35,159	36,596
ブルーボネット		11,483	22,887	5,729	3,707	2,516	3,668	10,897	6,122
徳川園		32,778	31,123	14,494	9,353	14,228	14,055	20,135	38,893
文化のみち二葉館		2,905	3,687	3,060	2,408	1,981	2,756	4,431	4,107
スカイプロムナード		8,549	13,824	7,584	10,781	15,715	12,432	9,945	10,696
リニア・鉄道館		-	-	-	-	-	-	-	-
全 体		1,503,124	1,913,734	1,322,233	1,122,151	1,888,942	1,113,474	1,733,465	1,450,314

調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 18 年度に 2 施設（ロボットミュージアム、スカイプロムナード）を加え、平成 19 年度に 1 施設（名古屋海上観光船）を除き、平成 20 年度には、1 施設（ロボットミュージアム）を除き、平成 21 年度には、1 施設（イタリア村）を除き、平成 22 年度には、1 施設（リニア・鉄道館）を加え 30 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 22 年 12 月	平成 23 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		72,836	76,483	91,475	115,203	1,517,727	
東山動植物園		90,841	84,640	108,272	197,448	2,180,296	
東山スカイタワー		17,548	15,987	15,933	32,064	299,008	
テレビ塔		25,982	18,902	16,869	21,451	270,565	
熱田神宮		162,690	4,404,002	206,730	177,059	6,713,174	
名古屋港		23,443	23,779	21,518	30,209	464,479	
名古屋市科学館		0	0	0	64,780	481,957	平成 22 年 9 月、11 月、12 月、平成 23 年 1 月、2 月は休館
徳川美術館		7,692	10,584	22,597	25,222	210,408	
名古屋市博物館		26,483	35,553	38,456	16,456	513,426	
東谷山フルーツパーク		11,197	16,985	29,081	58,785	512,211	
農業文化園・戸田川緑地		40,045	42,226	44,867	69,082	995,286	
でんきの科学館		23,547	29,443	31,246	51,637	412,420	
名古屋市美術館		15,722	31,848	38,869	181,657	463,085	
名古屋港水族館		93,412	92,854	82,182	123,811	1,766,343	
産業技術記念館		15,589	14,822	17,424	17,733	273,926	
白鳥庭園		9,072	8,035	6,447	9,047	119,487	
市政資料館		4,842	4,145	5,196	9,774	72,313	
名古屋能楽堂		20,696	11,546	11,577	10,843	183,889	
愛知県美術館		42,426	41,408	92,945	51,793	732,339	
名古屋市農業センター		17,834	15,740	62,308	188,893	573,718	
シートレインランド		48,976	34,920	30,055	47,316	623,193	
有松・鳴海絞会館		3,643	3,598	5,681	6,454	177,631	
ランの館		20,856	7,527	8,460	8,453	142,530	
名古屋ボストン美術館		7,685	16,084	1,119	10,384	110,126	
ノリタケの森		23,792	17,653	26,673	29,350	337,468	
ブルーボネット		1,540	0	1,306	3,732	73,587	
徳川園		10,620	14,020	19,287	23,038	242,024	
文化のみち二葉館		1,923	1,926	5,324	3,548	38,056	
スカイプロムナード		13,735	7,131	5,801	8,360	124,553	
リニア・鉄道館		-	-	-	98,961	98,961	平成 23 年 3 月開館
全 体		854,667	5,081,841	1,047,698	1,692,543	20,724,186	

(2) 名古屋のまちの印象 (自由回答より)

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられました。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・ 観光に力を入れていると感じました。観光する上で割引などされているのはよいと思いました。
(女性 30 代)
- ・ 名古屋城が楽しいです。武将隊が素敵です。(女性 30 代)
- ・ 名古屋城の四季折々の花がきれい。(女性 70 歳以上)
- ・ 名古屋城のおもてなし武将隊を見に来ました。すごく楽しかったです。(女性 40 代)
- ・ お城のエレベーターは老人には助かる。(女性 60 代)
- ・ 熱田神宮ははじめてだけど、ずいぶん立派で大満足です。(女性 60 代)
- ・ 公共の施設(博物館等)に満足している。(男性 60 代)
- ・ 見所がたくさんあり、何回来ても楽しい。(男性 40 代)
- ・ 熱田神宮は落ち着いて良い所。(女性 50 代)
- ・ 熱田神宮は広くて建物もきれい。緑が多くてよい。(女性 60 代)
- ・ ノリタケの森は花等もとてもきれいに手入れされている。(男性 60 代)
- ・ ノリタケの森は町の中に有るのに、とても静かで落ち着けます。(女性 40 代)
- ・ ノリタケの森は都会の中に自然があり、とてもホッとします。(男性 20 代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊の活動がとてもよい。(男性 30 代)
- ・ 水族館が楽しかったです。(男性 10 代)
- ・ 徳川美術館がとてもよかった。(男性 50 代)
- ・ 水族館の年間パスポートがあるので、とてもよい。(男性 30 代)
- ・ 名古屋城のシャチホコがきれい。有松絞りがよい。(男性 70 歳以上)
- ・ 名古屋と言えば名古屋城。おもてなし武将隊。(男性 40 代)
- ・ 本丸御殿ができればまた来る。(男性 20 代)

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・ イベントなどが多くて大好きです。(女性 10 代)
- ・ 最近名古屋城のイベントとか観光地らしくなってきた。(女性 30 代)
- ・ いろいろなイベント、行事があって活気がある。(男性 60 代)
- ・ 伝統にこだわらず、いろいろな催しがあってよい。(女性 40 代)
- ・ 今年の名古屋まつりは山車が出たから良かった。(男性 60 代)
- ・ 開府 400 年でいつもよりにぎやかで非常によかった。(女性 50 代)
- ・ 名古屋おもてなし武将隊が楽しく元気でよいと思います。(男性 40 代)
- ・ 名古屋まつりは華やか。(女性 30 代)
- ・ 初めて名古屋まつりに来たが、素晴らしい。(女性 70 歳以上)

【風景、景観】

- ・ とても美しい町です。大好きです。(女性 50 代)
- ・ 市役所がお城みたい。(男性 20 代)
- ・ 自然が豊か、緑も多い。(女性 60 代)
- ・ 景観がきれい。道が広いので広々としている。圧迫感がない。(女性 50 代)
- ・ 緑が多くて静かでゆったりしている。(女性 50 代)

- ・ 自然があり、きれい。ゴミがない。(女性 30代)
- ・ 美しく、静かな街並みに思えました。(女性 60代)
- ・ 道が広く自転車で走りやすい。美観がけっこうある。(男性 20代)
- ・ 道が広くてきれい。街路樹の植樹がきれいにされている。(女性 60代)
- ・ 街中はきれいに整備されていて良い。交通機関も整備されていて良い。(男性 50代)
- ・ 大きい都市だが、緑が多くて、道路がきれい。(女性 40代)

【歴史との融合】

- ・ 歴史的なものがたくさんあるので、すべて回ってみたいです。何よりも住みたいです。(女性 20代)
- ・ 歴史の町やグルメを楽しみに来ました。(女性 60代)
- ・ 城下町だと思った。歴史を感じる。(女性 20代)
- ・ 歴史的な物がいろいろあっておもしろい。(男性 20代)
- ・ 食べ物等、独特の文化がある。歴史がある。(男性 40代)
- ・ 歴史的なものが多い。見る所がいっぱいある。(女性 50代)
- ・ 歴史が深い。(男性 40代)
- ・ 楽しい。食文化、歴史が関東とまったく違っていておもしろい。(女性 50代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ いつも新しい出会いがあって良いと思う。何度も来ることで気づくようになりました。(男性 70歳以上)
- ・ 最近、整備されてどんどん綺麗になって、とても良いと思います。(女性 30代)
- ・ 道路も広く、町並みもきれいで見る場所も多く、また来てみたいです。(女性 50代)
- ・ ゆったり落ち着いた感じ。駅周辺はすごくにぎわっていた。(男性 50代)
- ・ 都会と田舎が混在していて暮らしやすそう。(女性 30代)
- ・ 活気がある。もう少し見る所の時間を長くにとってゆっくり見たい。あわただしすぎた。(女性 60代)
- ・ にぎやかな所と静かな所があって良い。(女性 40代)
- ・ 田舎と都会が融合している町。(女性 30代)
- ・ 建物のデザインがよい。きれい。ゴミとかが少ない。食事もおいしかった。(女性 40代)
- ・ 便利で、お店も沢山あって、住んでみたいところ。(女性 30代)
- ・ 住みやすい所。便利(交通、買物)。施設の駐車場が広いので車での移動も楽。(男性 40代)
- ・ ホスピタリティーのある町。もてなしの心のある町。(女性 40代)
- ・ 公園がとても多くて、外を歩くのが楽しいです。(女性 20代)
- ・ ビジネス系の都会のイメージ。(女性 30代)
- ・ 田舎すぎず都会すぎず、住みやすい。(女性 30代)
- ・ 公園が多く住みやすい。(女性 40代)
- ・ 老後も名古屋がよい。(女性 40代)
- ・ 年寄りにはやさしい町です。(女性 70歳以上)
- ・ 住みやすい。公共交通が便利だし、道もわかりやすい。(女性 20代)
- ・ 広い公園が沢山あって良かった。(女性 30代)
- ・ とても開けていて、楽しそうな所が沢山あるのでおもしろそう。(男性 30代)
- ・ 最近おしゃれになってきている(白壁界隈とか長者町とか)。(女性 40代)
- ・ 名古屋の魅力がだんだん増えてきてうれしいです。(女性 60代)

- ・ ファッションな町、楽しい。(女性 60代)
- ・ いろいろ見る所があって楽しい。(男性 20代)
- ・ 住みやすそう。交通の便がよい。都心を離れば静かな感じがよい。(男性 20代)
- ・ 名古屋は元気な町。(女性 20代)
- ・ いろんな物もそろっているし、住みやすい気がする。(男性 20代)

【店舗、商店街】

- ・ 大須が楽しかった。(男性 70歳以上)
- ・ 名古屋には欲しいブランドの物が沢山あるので買物が楽しい。(女性 20代)
- ・ 都会。ショッピングスポットが沢山あった。(女性 20代)
- ・ 大須の雰囲気が好き。東京の秋葉原とよく似ている。(男性 20代)
- ・ 喫茶店が多い。(女性 20代)
- ・ いろんな物がそろっていて便利。(女性 40代)
- ・ 名古屋駅と栄に店が揃っていて買物しやすい。(女性 30代)
- ・ 買物をする場所がかたまっているので買物がしやすい。落ち着くくらいの都会さがよい。(女性 20代)
- ・ 名駅、栄、大須、店が沢山あって買物がしやすい。地下鉄もわかりやすいし集まりやすい。(女性 30代)
- ・ 程よく何でも揃っていて買物も充分できるし、車での移動も不自由がない。(男性 40代)
- ・ 名古屋の大須は店がいっぱいで楽しい。(女性 30代)
- ・ 栄町はショッピングが楽しい。(女性 40代)

【名古屋グルメ】

- ・ 名古屋グルメが多くて楽しい。(女性 30代)
- ・ 美味しい物が沢山ありました。また来たいです。(女性 20代)
- ・ 名古屋コーチン、味噌カツなど食べ物に興味がある。ゆっくりと全部食べたい。(女性 50代)
- ・ 味噌カツ、きしめんがおいしかった。(男性 20代)
- ・ 独特な食文化。全国的に有名な食べ物が手に入る。(男性 30代)
- ・ 食事がおいしかった。特にお魚が新鮮でおいしかった。(女性 50代)
- ・ 食べ物がおいしかった(手羽先・ホルモン)。(男性 50代)
- ・ 食が充実。地下街が充実。(女性 40代)
- ・ 名古屋グルメがいろいろあってよかった。(男性 20代)
- ・ 手羽先がおいしかった。(男性 30代)
- ・ 味噌カツというのうがおいしい。名古屋グルメに興味がある。(女性 30代)
- ・ 味噌煮込み、手羽先がおいしかった。(女性 20代)
- ・ 食べ物がおいしい(台湾ラーメン、味噌煮込み等)。(女性 30代)

【名古屋人、気質】

- ・ ホテルの従業員の対応が素晴らしかった。(女性 50代)
- ・ 親切な人が多い。道案内がよい。(女性 60代)
- ・ 名古屋の人が親切で良かった。(女性 40代)
- ・ 道を教えてもらったが非常に親切だった。(男性 20代)
- ・ おっとりしている。地下鉄で席を取り合わない。(女性 20代)
- ・ マナーも良く雰囲気が良い。(男性 30代)

【道路・道路交通】

- ・ 道が広く景色がよい。(女性 50代)
- ・ 道路が広くて走りやすい。(女性 50代)
- ・ よく訪れるのですが、名古屋は交通もよくいい所です。(男性 20代)
- ・ 看板が多くて、道がわかりやすかった。(女性 40代)
- ・ 道が広い。ゴミが少なくてきれい。(女性 30代)
- ・ 道が広い。道路の表示も見やすい。(男性 30代)
- ・ 道が広い。歩行者用の信号のカウントダウンが珍しい。他所でも普及するとよい。(女性 50代)
- ・ 道路がよく整備されている。(男性 60代)
- ・ 道にノリタケの森の案内プレートがはめこんであり、わかりやすい。(女性 40代)
- ・ 道路が広いし、緑も多くてよい。(女性 50代)
- ・ きちんと整備されていて、交通手段も便利。(女性 40代)
- ・ 交通の案内の表示とか看板とかもわかりやすいと思う。(男性 10代)
- ・ 交通が複雑だけど管理がしっかりしている。下調べしなくてもとりあえず行けば何とかなる。
(女性 20代)
- ・ レンタルサイクルしました。街中は走りやすくてとてもよいです。乗り捨てられる場所が増える
とさらによいです。(女性 40代)

【公共交通】

- ・ 公共交通が便利で移動しやすい。(女性 20代)
- ・ 観光地を巡るバスができて便利になった。(女性 60代)
- ・ フリーパスがあるので、毎日あちこち出かけられる。(女性 70歳以上)
- ・ 交通が便利(地下鉄一日券)である。博物館などイベントがあってよい。(男性 50代)
- ・ 名城線がつながったから便利になった。ドニチエコきっぷで入場料割引になるから嬉しい。
(女性 20代)
- ・ 電車の乗り継ぎがわかりやすかった。(女性 20代)
- ・ 地下鉄、バスが充実していて満足。(女性 30代)
- ・ 車より公共交通の方が便利。(女性 50代)
- ・ 都会的で地下鉄が環状線になっていて、新しくなったと感じた。ドニチエコきっぷは非常に便利で
安価で、移動するのに負担を感じなかった。話題の多い名古屋ですが、良い印象であった。
(女性 40代)

【その他】

- ・ 市長の顔も見れてよかった。(男性 70歳以上)
- ・ 市長さん勢いがある。(男性 20代)

不満な点、要望

【公共交通】

- ・ メーグルの本数を多くしてほしい。(男性 20代)
- ・ 電車の本数が少ない。間隔が長い。(女性 40代)
- ・ 地下鉄の乗換えが不便、歩きすぎる。歩道橋、壁に落書きが多い。(男性 30代)
- ・ 名古屋内で西に行くほど公共交通が不便。余りにも混雑していたので疲れた。(女性 30代)
- ・ 名鉄電車の料金をもっと安くしてほしい。そうするともっと名古屋に来れる。(女性 70歳以上)

- ・ 以前観光した時、バスが少なく、市内を観光しづらい気がしました。バスの利用がわかりやすいともっといいと思います。(男性 20代)
- ・ JR 駅のお手洗いが少ない。(女性 50代)
- ・ 公共交通機関の整備。メーグルの本数が多いとよい。(男性 40代)
- ・ 市バスの本数が少なすぎる。(女性 60代)
- ・ 駅のコインロッカーの数を増やしてもらえるとありがたい。(女性 20代)
- ・ 地下鉄のエレベーターを多くつけてほしい。(女性 30代)
- ・ 地下鉄の案内がわかりにくい。(女性 50代)
- ・ 地下鉄の階段の長さが長すぎる。スロープがない。出入口が遠い。(女性 50代)
- ・ 地下鉄、水族館の照明を明るく。(女性 30代)
- ・ 地下鉄の車内のマナーが悪い。通路が右側と左側と違う。(男性 70歳以上)
- ・ 市バスでいろいろな所へ行く時、ルートをわかりやすく表示してほしい。(女性 50代)
- ・ 地下鉄料金を安くしてほしい。(女性 40代)
- ・ 地下鉄から上がる所が階段なのでベビーカーの人が困っていた。(女性 50代)
- ・ メーグルバスがもっと広い範囲、熱田神宮、大須観音あたりまで行ってほしい。(男性 70歳以上)
- ・ あおなみ線が高い。(女性 30代)
- ・ 地下鉄今池から名古屋ドームまで直通があるとよい。(女性 30代)
- ・ 名古屋は交通が地下鉄ばかりで景色がない。千葉の様にモノレールがあると楽しい。(男性 40代)
- ・ 市バスの運転が雑。(女性 20代)

【道路、道路交通】

- ・ 一方通行が多い。(男性 60代)
- ・ 車が多く運転マナーが悪い。(男性 30代)
- ・ 路駐が多くて、車で走りにくい。(女性 30代)
- ・ 交通マナーが悪いのが気になる。(女性 40代)
- ・ 道路がもう少し整備されれば渋滞が解消されるのでは。(男性 30代)
- ・ 歩道がまだ整備しきれていない。(男性 20代)
- ・ 名古屋高速が高い。駐車場が高い。(女性 50代)
- ・ 道が混んでいる。路駐多い。(女性 50代)
- ・ いつも名古屋に来ると駐車場に困る、少ない。(女性 30代)
- ・ 車の運転が荒い。(男性 20代)
- ・ 駐車違反の車が多い。駐車場が少ない。(女性 50代)
- ・ 街中の道が混んでいる。名古屋高速料金が安い。(男性 40代)
- ・ 道路工事が多い。(男性 20代)
- ・ 信号の待ち時間が長い。(男性 20代)
- ・ 一方通行が多いので、不便を感じる時がある。(女性 30代)
- ・ 中心部の路上駐車がが多い。(男性 20代)
- ・ 道路のアスファルトに割れ目があり、少し気になった。(女性 20代)
- ・ 駐車場が少ない。(男性 20代)
- ・ バスレーンがあって走りにくい。スクランブル交差点が危ない、人が信号無視する(広いスクランブルではなくて、狭い道路にあるスクランブル)。(男性 50代)
- ・ 道が広くて、信号待ちが長い。右折左折など走りにくい。(男性 50代)
- ・ エコの自転車が走行しやすい道路や駐輪場を増やしてほしい。(男性 40代)

- ・ 車に頼らなくても観光地へ行けるルートがあるとよい。(男性 20代)
- ・ 名古屋高速がごちゃごちゃしていて判りにくい。(男性 40代)
- ・ 名駅、栄等の道がごちゃごちゃして判りにくい。(男性 20代)
- ・ 車で来るのに不便である(駐車場)。(男性 30代)
- ・ 二輪車の駐車場を確保してほしい。(男性 30代)
- ・ 車の走るペースが速い。駐車場が高い。車で名古屋へ来る人へのアピールが足りない。京都は最大 1000 円位の大きな駐車場が何ヶ所があるので、そこに停めて公共交通で移動できるが、名古屋はない?(男性 40代)
- ・ 大型バスが夜、駐車できる場所がほしい。(男性 50代)

【案内、表示】

- ・ 徒歩での移動の際、案内板が少なくわかりづらかった。(女性 20代)
- ・ 名古屋城の入口付近に、名古屋のいろいろなイベントがある時に案内板があると便利だと思う。観光客には喜ばれると思う。(女性 30代)
- ・ J Rから名鉄への案内が少ない、わかりにくい。(女性 30代)
- ・ 地下鉄、J R、全て案内が不足している。熱田神宮も神社に関する説明が何もなかった。大変がっかりした。(男性 70歳以上)
- ・ 案内表示の統一性。地下鉄などの乗り物の案内がわかりづらい。(男性 40代)
- ・ 駅の表示、案内が詳しく書かれていないので迷う事が多かった。(女性 20代)
- ・ 案内がもう少し丁寧だとよい。もっとバリアフリーを進めてほしい。(男性 60代)
- ・ 市内の外国語表示が少ないと思う。(女性 30代)
- ・ 町のシンボルマークの案内がもっとわかるように。他県から人を案内する時に、目玉の観光スポットがない。(女性 50代)
- ・ 外国の人に対して、案内がわかりにくい。(男性 40代)
- ・ 水族館の駐車場の案内が判りにくい。駐車場から水族館までにあるトイレが子どもと一緒に入りにくい(ベビーカーがあるので)。(女性 30代)
- ・ 熱田神宮の駐車場がわからなくて、コインパーキングに停めた。(女性 20代)

【宣伝、告知】

- ・ どこを観てよいかわからないので、いつも名古屋城しか観ていませんので、いろいろ紹介していただきたいと思います。(女性 50代)
- ・ 観光のおすすめプラン等があると助かる。中国からの友達を案内しているので。(女性 30代)
- ・ 観光地がいっぱいあるのにもったいない、PR不足。(女性 40代)
- ・ 駅の近くにこんな素敵な森があるなんて。もっとPRした方がいいです(ノリタケの森)。(女性 40代)
- ・ 物づくりの館を見るのが好き。せっかくいい施設があるので、もっと全国にアピールして観光客が増えると名古屋が活性化すると思う。マナカで観光施設の割引があるとよい。(女性 30代)
- ・ 水族館の入場料が高いので、もっと年間パスポートの宣伝をするとよいと思う。テレビの影響力は大きいです。(女性 30代)
- ・ 三英傑をもっと観光につなげて、宣伝するとよい。(男性 50代)
- ・ 名古屋まつりの宣伝をもっとしてほしい。(女性 60代)
- ・ 名駅北側の昭和町のよい所をもっと宣伝してほしい。(女性 50代)

- ・ 転勤族ですが、名古屋は観光施設や歴史施設の公開が下手だと思う。期待して来たが、ちょっとガッカリです。(女性 60代)
- ・ 名古屋をドラマや小説の題材にして広まるとよい。(男性 30代)

【観光資源】

- ・ 工事をしていたら値段を少し下げてほしい。(男性 60代)
- ・ 名古屋まつりの日に名古屋城が無料開放だったように、平日も無料開放をしてほしい。日数も多くしてほしい。(女性 40代)
- ・ 武将隊との交流イベントを増やしてほしいです。(女性 40代)
- ・ 名古屋城の入場料について、他県からの高齢者に割引かない。遠くから来ている者こそ割引があってもよいのでは。(男性 20代)
- ・ 名古屋の人と他府県民との入場料の差が大きすぎる。(男性 60代)
- ・ 入場料が市外より来た者の高齢者の割引がないのが不満です。(女性 70歳以上)
- ・ 熱田神宮には参道に店がないので、インパクトが薄い。(男性 30代)
- ・ 神宮前の歩道橋が汚い。タバコの吸い殻、落ち葉等、掃除してください。(男性 60代)
- ・ 名古屋には観光地がない。見る所がない。名古屋城も熱田神宮も大した事はなかった。(男性 60代)
- ・ 今日七里の渡しを見てきたが、誰もいなく、ちょっと淋しい。観光地が少ないからもっと宣伝した方がよい。名古屋に行ってどこ見に行くのと言われる。(女性 60代)
- ・ 熱田神宮、ハトのフンが多くて落葉も落ちている。京都のお寺の方がきれいに手入れされていると思った。(女性 40代)
- ・ 観光の目玉、インパクトに欠ける。(男性 20代)
- ・ 名古屋港を発展させてほしい。(男性 40代)
- ・ 港の周辺のにぎわいが寂しい。イタリア村の跡に何かできたらいいと思います。(女性 30代)
- ・ 港周辺に楽しめる施設を作ってください。(男性 30代)
- ・ 水族館の料金を安くしてほしいです。(男性 20代)
- ・ 他の県の人におすすめするポイントがない。(男性 20代)
- ・ 他県から来た人にも老人割引を考えてほしい。(男性 70歳以上)
- ・ もっと観光できる場所を作った方がよい。他所に比べて少ない。(女性 20代)
- ・ 二葉館内は順路表示があるとよい。時間が無駄なく観光できる。館内をぐるぐる回ってしまった。(男性 60代)

【名古屋まつり】

- ・ まつり時の分別ゴミの捨て場が少ない。(男性 50代)
- ・ 山車の伝統を守ってほしい。(男性 60代)
- ・ 観客の盛り上がりには欠ける。(男性 70歳以上)
- ・ 思ったより混んでいないのでびっくりした。(女性 40代)
- ・ 身体障害者用の席がない。夜の山車はないのか。名古屋まつりだけが見ていなかったのだからあまりサービス精神が見られない。(男性 60代)
- ・ イベントの後のゴミの始末をしっかりしてほしい。植え込みの中のゴミが何かある時はきれいにされているが、何もないと目立つ。(女性 60代)
- ・ 保守的。中央分離帯があるために分かれてしまう、一体感がなくなる。(男性 60代)

【まちづくり、町並み】

- ・ マンションができすぎてイヤ。(女性 70 歳以上)
- ・ 最近名古屋は活気が出てきたが、有松の町並み保存等でも、風情があったのが少なくなった。歴史は買えないから大切にしたい。(女性 70 歳以上)
- ・ 思っていたよりきれいな街。残念なのは堀川が汚かった。(男性 40 代)
- ・ 緑、公園が少ない。(男性 70 歳以上)
- ・ デザインが統一されていない街並み。インフォメーションが不親切。観光イメージが統一されていないので、名古屋のイメージがつかめない。(女性 20 代)
- ・ バリアフリー（エレベーター、エスカレーター）の設置をもっと進めてほしい。(男性 30 代)
- ・ 小さい子どもが自由に遊べる所がもっとあるとよい。(女性 30 代)
- ・ ビルが多い。もう少し自然が残っていたほうがいい。(男性 60 代)
- ・ 町のゴミがなくなればとてもよい。(男性 10 代)
- ・ 公園が汚いので子育てによいように清掃してほしい。児童館の充実整備、近隣の町に比べて施設が古く、数も少ない。(女性 30 代)
- ・ 治安がよくない。(女性 50 代)
- ・ 今年 4 月に名古屋に転居したが、家庭ゴミの出し方にびっくり。道路に大量に出して汚い。(女性 20 代)
- ・ 市民の憩いの場のような、お金のかからない休憩所的な場所があるとよい。(女性 40 代)
- ・ 車イスを押しているのもっとバリアフリーを増やしてほしい。(男性 30 代)
- ・ ゴミとかが多い。(女性 30 代)
- ・ 公園の手入れが行き届いていない。ゴミが多い、側溝とか。(女性 60 代)
- ・ 名駅が淋しかった。もっと栄えていると思った。(男性 20 代)

【店舗、商店】

- ・ 地下街が歩きにくい、人の歩きがバラバラ。(女性 30 代)
- ・ 同じ店がいっぱいあった。(男性 20 代)
- ・ デパートの駐車場代が高い。(女性 40 代)
- ・ 名古屋の食べ物全体が濃い。(女性 30 代)
- ・ 東京にしかないお店がもっと名古屋に来るといい。(女性 40 代)
- ・ 夜がはやいので、もう少し遅くまでお店がやっているといい。町はきれいになった。(女性 50 代)

【人、マナー】

- ・ 名古屋弁が汚い。言葉遣いをきれいにしてほしい。(男性 70 歳以上)
- ・ 赤信号で渡るのビックリ。(男性 30 代)
- ・ 言葉が早口でこわい。(男性 20 代)
- ・ 何でも味噌をかけるイメージ。派手。(男性 20 代)
- ・ 歩きタバコが減ってうれしいが、まだしている人がいて少し嫌です。(女性 20 代)
- ・ 運転が荒い、マナーが悪い。(男性 60 代)

【その他】

- ・ コインロッカーが少ない。もっと設置してほしい。(女性 20 代)
- ・ 小中学校が古くてトイレが汚いのでなんとかしてほしい。(女性 40 代)

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか（出発地はどちらですか）。1つに○印をつけてください。

1	名古屋市内	2	名古屋を除く愛知県	3	岐阜県	4	三重県
5	静岡県	6	その他の都道府県（具体的に）				

問2 今回、名古屋を訪れた（今回の名古屋への旅行）主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1	観光施設の見学	2	ショッピング（非日常の買物。ウインドショッピングを含む）
3	観劇・コンサート	4	イベント（参加・鑑賞）
5	飲食	6	その他の娯楽行為（具体的に）
7	商用・公用	8	帰省・冠婚葬祭
9	大会・学会・国際会議への出席・参加	10	その他（具体的に）

問3 問2で「1」から「6」を選んで方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものをすべてに○印をつけてください。

1	雑誌・新聞をみて	2	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3	テレビやラジオ番組の情報から	4	インターネットホームページの情報から
5	友人・知人に薦められたから	6	前に来たことがあり良かったから
7	駅や電車内のポスター・広告	8	特になし
9	その他（		）

問4 今回の訪問（今日のお出かけ）で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1	名古屋城	2	産業技術記念館（トヨタテクノミュージアム）
3	ノリタケの森	4	徳川美術館
5	徳川園	6	熱田神宮
7	白鳥庭園	8	東山動植物園
9	東山スカイタワー	10	テレビ塔
11	名古屋美術館	12	愛知県美術館
13	名古屋ポストン美術館	14	名古屋市科学館
15	でんきの科学館	16	名古屋博物館
17	ランの館	18	名古屋港水族館
19	名古屋港	20	シートレインランド
21	有松・鳴海絞会館	22	ミッドランドスクエアなどの高層建築物
23	その他（		）

問5 今回の名古屋訪問（名古屋への旅行）はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

1	パッケージ旅行	2	パッケージ旅行ではない
---	---------	---	-------------

問6 今回の名古屋訪問（今回の名古屋への旅行）における1人あたりのご予算をお教えください。

①1人あたりのご旅行の予算（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1	5,000円未満	2	5,000～10,000円未満	3	10,000～30,000円未満
4	30,000～50,000円未満	5	50,000円以上		

②現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金（パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。）は、1人あたりいくらほどになりますか。

	およそ（		）円くらい
--	------	--	-------

③市内での交通費（都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます）。1つに○印をつけてください。

1	交通費はかからない	2	1,000円未満	3	1,000～3,000円未満
4	3,000～5,000円未満	5	5,000円以上	6	バック旅行のため不明

④市内でのおみやげ代。1つに○印をつけてください。

1	購入予定なし	2	2,000円未満	3	2,000～5,000円未満
4	5,000～10,000円未満	5	10,000円以上		

⑤市内での食事代（パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額）。1つに○印をつけてください。

1	お弁当持参で飲み物類を購入する程度	2	2,000円未満
3	2,000～5,000円未満	4	5,000～10,000円未満
5	10,000～30,000円未満	6	30,000円以上

⑥市内での宿泊代（市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額）。1つに○印をつけてください。

1	5,000円未満	2	5,000～15,000円未満	3	15,000～30,000円未満
4	30,000円以上	5	バック旅行のため不明		
6	友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない	7	名古屋市内には宿泊しない		

問7 今回の訪問（旅行）で、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	大変満足	2	ほぼ満足	3	普通	4	やや不満	5	不満
---	------	---	------	---	----	---	------	---	----

問 8 名古屋市に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	はじめて	2	2回目	3	3回目	4	4～9回目	5	10回目以上
---	------	---	-----	---	-----	---	-------	---	--------

問 9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

1	J R	2	名鉄電車	3	近鉄電車	4	自家用車
5	航空機	6	路線バス	7	観光バス	8	その他（ ）

問 10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・刈谷バーク方面	3	明治村・犬山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セトア方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（ ）				

問 11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）		
2	産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）	3	レジャー施設（動植物園・水族館等）
4	都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）	5	グルメ・なごやめし
6	お祭り・イベント	7	コンサートや観劇などの鑑賞
8	スポーツ観戦（野球・サッカー等）	9	その他（具体的に ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に ）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------	----	------

問 12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	日帰り	2	2日間	3	3日間	4	4日間	5	5日以上
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	------

問 13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	1泊	2	2泊	3	3泊	4	4泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問 14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別		②年齢					
1	男	1	10～19 歳	2	20～29 歳	3	30～39 歳
2	女	4	40～49 歳	5	50～59 歳	6	60～69 歳
		7	70 歳以上				

問 15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

1	ひとり（同行者なし）	2	友人・知人
3	幼児や小学生連れの家族	4	夫婦
5	家族（「3」・「4」以外）	6	団体旅行
7	修学旅行	8	その他（ ）

〔自由意見〕 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございます。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成22年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1	ホテル	2	旅館	3	簡易宿所	4	下宿
---	-----	---	----	---	------	---	----

問2 貴施設の平成23年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和室		洋室		合計	
室数	収容人数	室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成22年4月から平成23年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	22年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

	22年11月	12月	23年1月	2月	3月	合計	
①実人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	
②延人数	人	人	人	人	人	人	
うち外国人	人	人	人	人	人	人	

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	米国	人		人
香港	人	英国	人		人
台湾	人	ドイツ	人		人
韓国	人	フランス	人		人
タイ	人	オーストラリア	人		人
シンガポール	人	カナダ	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 平成22年度、受入れた。

2 平成22年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。

3 実績はないが受入れ可能。

4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成22年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成22年4月1日から平成23年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成22年度に修学旅行団体を受入れたなかった理由についてご記入ください。

[

]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内(愛知万博後)に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋に訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋に訪れたことがない方も、名古屋に訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	観光・娯楽、ショッピングが目的で訪れた直近の名古屋訪問についてQ4～Q8をお聞きます。その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。	SA
1		日帰り	
2		1泊	
3		2泊	
4		3泊	
5		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
5		名古屋市内には宿泊しない	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
1		ひとり(同行者なし)	
2		友人・知人	
3		幼児や小学生連れの家族	
4		夫婦のみ	
5		家族(「3」、「4」以外)	
6		団体旅行	
7		修学旅行	
8		その他	FA付

Q7	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。	MA
1		名古屋市内のみ	
2		明治村・犬山方面	
3		瀬戸・小原方面	
4		長久手・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)方面	
5		知多・常滑・セントレア方面	
6		豊田・岡崎・足助方面	
7		清洲・西浦・三谷方面	
8		豊川・鳳来寺方面	
9		豊橋・伊良湖方面	
10		岐阜・関ヶ原方面	
11		多治見・恵那・中津川方面	
12		下呂・高山方面	
13		長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	
14		伊勢・志摩方面	FA付
15		その他	MA
Q8	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。	
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	FA付
8		その他	
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事が目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きます。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経路したものは何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く。)	FA付
6		その他	
7		訪問した場所又は経路したものはない	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものを答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		産業観光施設(産業技術記念館、リタケの森など)、科学館	
4		文化施設(美術館、博物館など)	
5		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
6		東山動植物園	
7		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
8		大須(大須観音・大須商店街)	
9		文化のみち(二葉館など)	
10		有松(街並み、絞り会館など)	
11		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、ぎしめん、みそかつ、手羽先など)	
12		祭り(名古屋まつり、にっぽんど真ん中祭りなど)	
13		その他	FA付
14		知っているものはない	

Q11	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したもののぞお答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		産業観光施設(産業技術記念館、ノリタケの森など)、科学館	
4		文化施設(美術館、博物館など)	
5		名古屋港(名古屋港水族館、シートルейンランド、ポートビルなど)	
6		東山動物園	
7		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
8		大須(大須観音・大須商店街)	
9		文化のみち(二葉館など)	
10		有松(街並み、絞り会館など)	
11		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
12		祭り(名古屋まつり、にっぽんど真ん中祭りなど)	
13		その他	FA付
14		訪問した場所又は経験したものはない	
Q12	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた感想(良かった点、悪かった点など)について自由に記入してください。	FA
Q13	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋に訪れた時に、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SAマトリクス
Q13M001		観光施設等	
Q13M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q13M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q13M004		おみやげ品	
Q13M005		なごやめしなどの食事	
Q13M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q13M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない・分からない	
Q14	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付
Q15	必須回答: Q14 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		産業観光施設(産業技術記念館、ノリタケの森など)、科学館	
4		文化施設(美術館、博物館など)	
5		名古屋港(名古屋港水族館、シートルейンランド、ポートビルなど)	
6		東山動物園	
7		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
8		大須(大須観音・大須商店街)	
9		文化のみち(二葉館など)	
10		有松(街並み、絞り会館など)	
11		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
12		祭り(名古屋まつり、にっぽんど真ん中祭りなど)	
13		その他	FA付

Q16	必須回答: Q14 = 3	名古屋を訪れたいと思わない理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。	
1		テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設があまりない	3A
2		歴史的な歴史資産がない	
3		楽しいイベントがない	
4		おいしい食べ物や物があるかない	
5		魅力的な買い物スポットがない	
6		お店の閉店時間が早く、ゆっくりと楽しめない	
7		泊まりたい宿泊施設があまりない	
8		名古屋のことをよく知らない	
9		名古屋が嫌いなど良くないイメージがある	
10		その他	FA付
Q17	必須回答	名古屋の観光地としての弱みは何だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
2		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
3		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	
4		魅力ある観光施設が少ないこと	
5		魅力あるイベントが少ないこと	
6		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
7		交通アクセスが良くないこと	
8		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	
9		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
10		まちがきれいでないこと	
11		まちに緑が少ないこと	
12		その他	FA付
13		弱みだと思えるところはない	
Q18	必須回答	名古屋ゆかりの武将にちなんで、平成21年11月に結成された「名古屋おもてなし武将隊」をご存知ですか？	SA
1		どのようなものか知っている	
2		名前は聞いたことがある	
3		知らない	
Q19	必須回答: Q18 = 1,2	「名古屋おもてなし武将隊」を知ったきっかけは何ですか？	MA
1		テレビ	
2		新聞	
3		雑誌	
4		ラジオ	
5		インターネット	
6		電車の中の広告	
7		チラシ、ポスター類	
8		イベント	
9		名古屋城に来て	
10		家族・友人から聞いた	
11		その他	FA付

Q20	必須回答	「名古屋おもてなし武将隊」は、名古屋城で観光客をお迎えし、おもてなしや演武（パフォーマンス）を行っています。「名古屋おもてなし武将隊」を見に名古屋へ行きたいと思いませんか？あてはまるものをお選びください。	SA
1		見に行きたい	
2		機会があれば見に行きたい	
3		見に行きたいとは思わない	
Q21	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いませんか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいしたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	
Q22	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋市は、「ものづくりの技・文化・自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、現在は工事見学コーナーを設けるなど公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		復元を進めていることも、工事 見学コーナーがあることも知っている（見学した）	
2		復元を進めていることは知っていたが、工事 見学コーナーがあることは知らなかった	
3		復元を進めていることを知らなかった	
Q23	必須回答	名古屋城「本丸御殿」が復元されれば訪れてみたいと思いますか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
Q24	必須回答	「名古屋」のイメージを一言でお願いします。	FA
Q25	必須回答	名古屋の観光に対するご意見・ご感想や、名古屋を訪れたいくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組みたいと思うことがありましたら、ご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域（都道府県）をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	
F4	必須回答	お住まいの、市区町村をお答えください。	FA

※調査票の条件欄について
「Q1＝1」は、「Q1で選択肢『1』を選択している人が対象」を意味します。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成22年度)

平成23年10月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 三協調査設計株式会社

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。